臺灣日日新報　夕刊
一月二十五日
一部定價金三錢

重光公使官邸に怪漢放火を企つ

蒲團に石油を注ぎ逃走

抗日會員の仕業

（上海二十四日發電通）上海の形勢益々險惡なので佛租界の重光公使官邸は嚴重警戒中のところ二十四日午後七時半一怪漢が大膽不敵にも警戒の眼を竊み本館に忍び入り蒲團に石油を注ぎ中庭ベランダに於て火を放つて逃走した、幸に直ちに發見され大事に至らなかつたが邸內檢査の結果落ちてゐる抗日會員の徽章發見され抗日會一味の仕業なる事が判明した（號外再錄）

村井上海總領事けふ吳上海市長と會見

日蓮僧侶殺傷事件の回答督促

誠意なければ最後的手段

【上海二十四日發電通】村井總領事は二十五日正午吳市長を訪問し日蓮僧侶殺傷事件に關する回答の嚴重督促を試み回答あれば折返し最後的要求を出す筈だが支那側は表面强氣を裝ひ反日會解散拒否の態度を示してゐるが結局は我要求全部を容れるべく自衞權發動の必要なかるべしと總領事館では成行を樂觀してゐる

我要求を容るる模樣

反日會解散の三週間猶豫と上海に軍隊を入れるを條件に

【上海二十五日發電通】村井總領事は二十五日吳上海市長と會見し不祥事件その他の抗議要求に對する回答を促すと共に我要求を容れられざる場合執るべき强硬態度を明示する筈であるが支那側は我態度强硬と見てか要求の一、二、三各項は容認するが四項反日會の即時解散は實行に時を要するを以て三週間の猶豫期間を求め且つ反日會その他反動團體を解散せしめて秩序を維持するには上海に三箇師團の兵を入れる必要があると我諒解を求むるに決した 非公式に判明したが我方は斯る長期の猶豫及び軍隊の移動要求は斷然拒絕する意見に決定した

上海に特別戒嚴令

鐵條網を張り對日戰備

【上海二十四日發電通】支那側は我軍の支那側進出に對抗すべく既報同濟路外東寶光路吟桂路、東橫濱路及び寶樂安路等一帶の租界境の支那町に鐵條網を張廻し土嚢を積み武裝軍警を配置し特別戒嚴令を布き夜に入つて交通遮斷した我陸戰隊も支那町境の要所要所にヘルメット著劍の武裝兵をもつて支那側の態度を監視してゐる

我軍の機宜の處置に工部局でも大贊成

鮫島司令官理事長と會見して協議

【上海二十四日發電通】鮫島陸戰隊指揮官は鮫島市參事會員（三井支店長）同伴昨夜工部局理事長フエッセンデン氏と會見し[illegible]協議したが、[illegible]フエッセンデン氏は工部局[illegible]としては日本の方針に全く贊成である、最近の支那側の態度は特別法院における言語道斷な處置やその他總て成つて居らず愛想を盡かしてゐる譯で、この際日本が斷然たる態度に出られた事は機宜の措置として全く贊成である、就ては工部局としても租界の警察力及び各國義勇隊等工部局の有する武力を動員して日本側と協力し日本側の期待に添ふ積りだと言明したので鮫島指揮官は租界內における武力行爲は工部局の有する武力を使用するに同意を表した[illegible]

吳、闞兩氏會見

【北平二十四日發電通】[illegible]

昨夕閻錫山は[illegible]到著し吳[illegible]長と會見を遂げた[illegible]は一兩日中北平に來ると

對日國交斷絶の宣布は中止

强硬派も大勢順應

【上海二十四日發電通】外交部長陳友仁以下對日强硬派は總辭職して蔣介石、汪兆銘等自重派がこれに代り對日外交に當ることに決定したが日本の强硬態度を見て讓步的に出て來るものの如く馮玉祥、孫科、李文範、李宗仁等强硬派も大勢に順應し强硬論を放棄した、この爲め陳友仁の提唱した對日國交斷絶宣布は中止するに決定した

福島大尉離臺

[illegible]を得て永らく療養中であつた前臺灣軍[illegible]福島大尉は其後經過良好に向つたので二十五日午前十一時五十分臺北驛發列車にて基隆に向ひ[illegible]丸で離臺したが臺北驛頭には[illegible]始め在北將校將校夫人連の盛んな見送りがあつた

陳外交部長の辭職は確定的

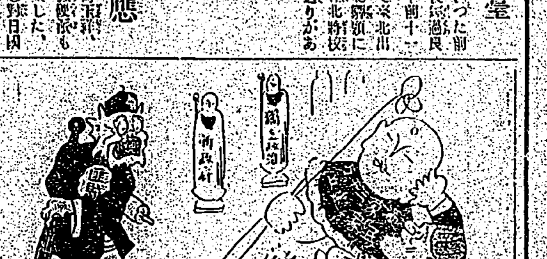
【上海二十四日發電通】外交部長陳友仁は對日國交斷絶と經濟絶交の第十六條制裁規定の適用要求を中央政治會議が承認しなかつた爲め辭職の決意を固めその旨言明した 陳友仁は二十四日午後六時南京から著滬する孫科と最後的意見の交換を行ふ筈であるが妥協の餘地なくその辭職は確定的である

國府要人會議

廿五日未明まで續開

南京防備に就ても協議

【上海二十五日發電通】蔣介石、汪兆銘以下の要人は昨夜より今朝まで日支間の危機に付き會議の結果對策を決定したので本日中央執行委員緊急會議を開き之を確定することとなつたと發表した會議は今未明に及んだが右會議には南京衞戍司令谷正倫が呼ばれた所より見て對日外交の外南京の防備に付き討議されたものと見られる目下日本軍南京を占領すべしとの謠言傳へられ不安全市を蔽ひ在留邦人に對する危險增大しつつある



一千萬圓現送を藏相が認可

更に追加現送か

【東京二十三日發電通】高橋藏相は二十三日正金銀行に對し弗資未決濟分の辨濟として一千萬圓の現送を認可したが更に二十六日二千萬圓追加現送を許す筈で同殘りの正金要求額千九百萬圓は千五百萬圓乃至六百萬圓に止められる模樣である

若槻、永井兩氏

レコード吹込み

【東京二十五日發電通】民政黨の若槻總裁、永井幹事長は二十四日午後八時コロンビヤレコードで總選擧演說を吹込み[illegible]に配付することとなつた

松井、永野兩全權

ゼネバ到著

【ゼネバ二十四日發聯合】十一月二十五日東京出發箱根丸で海路渡歐の途に上つた松井、永野兩全權一行は二十四日午後七時ゼネバに到著した

朝日丸より（來航）天候快晴、二十六日正午港外著の豫定、石川昌次、三谷俊夫、野井松之助、松岡健太郎其他の諸氏乘船（二十五日發無電）

人事

▲竹下康國氏（陸軍少將）二十四日南部方面巡視の途に向つた

▲楠本宗南州知事　二十五日夜行にて歸任

▲石川昌次氏（臺東製糖社長）二十六日來臺の筈

▲重松[illegible]氏（臺東製糖專務）二十四日來北（吾妻）

▲津田毅彥氏（三五公司支配人）二十五日南部より來北（鐵道ホテル）

▲錦織[illegible]氏（花王石鹼本舖支店長）[illegible]商會大阪支店長　二十五日內地へ

▲齋藤俊彥氏（本社記者）川端町三〇六番地ノ十八號に轉居

上海支那街では敵對の準備を開始

【上海二十三日發電通】陸戰隊本部に接續した支那町同濟路附近一帶は支那側軍隊の手で埋められ鐵條網も張られる等我軍に對する敵對準備が本日午後から初められたが爲め同方面居住邦人は租界內に引揚げ開始した本社記者が撮影せんとせる所ピストルを擬した支那兵現はれ突き飛ばして退去を要求する等事態愈よ險惡化しつつある

その日その日

○上海事件が、日支間に重大事態を發生させる導火線にならぬと誰が斷言できやう

○雙方とも極度にイキリ立つてゐる現狀では形勢は惡化の一方だ、後には二つの途しか殘らない――[illegible]を待つか、日支とも危機を救ふべく自制し外交手段によつて問題を解決するか、二つに一つ

○[illegible]は中支に移つた。南京政府の神經衰弱症も一層高じるだらう

○陳友仁外交部、[illegible]に强く出る外他に行きる途がないとする[illegible]か愚策でもある

○錦西の兵匪が地引網にかかつた、近來の大漁だらう

○歐留に於ける日支の立役者が雙方とも變り、佐藤尚武君に顏惠慶君、新手の取組みだ

○[illegible]炎の江木さん、際どい所を[illegible]破れる「君子前言」の[illegible]劍が今更ながら味はれる

○林支那領事が歸假して、上海事件を不良學生の仕業だと言ひ、其取締ができぬと兜を脫ぐ

○お說の通り其取締一つできぬで日支の國交もこんなにコヂれた御同慶の至り

○新長官來假と共に[illegible]を[illegible]し[illegible]にやることを念ふ、拜見じやう

◇無絃琴◇

某方面から傳へて來る所によると前田光[illegible]說が相變らず有力だといふ、勿論これは一部の人の一方的觀察ではあるが其のいふ所は[illegible]▲前の臺北高校の校長下村虎六郎君は從來文夫君の[illegible]

支那はどうなる

現在の狀勢からの觀察（三）

鷲山生

張學良の焦心苦慮

張學良の孤立無援の[illegible]に在ることは前述の如くであるが更に財政難の甚だしきものは益々彼れの焦慮をはげしくして居る有樣である何となれば支那の軍隊に於ては金の切れ目は即ち縁の切れ目であつて、部下の[illegible]からである。現在張學良の[illegible]軍費を合して[illegible]

◇七百萬元

[illegible]ると稱せられて居るのに其の收入は四百萬元に過ぎない[illegible]

支出百萬元と言はれてゐる但し中央の百萬元は三ヶ月不渡りである……過般北平に財政整理委員會を開き北支四省の財政問題を議した由で有るけれども、無い袖は振れず名案も浮かばなかつた事と思ふ。[illegible]

◇下野せる

したとの事である。[illegible]東北は自立の[illegible]

舊派軍閥の推戴運動

め[illegible]を利用せんとし[illegible]しありとの事である此れと言ひ彼れと言ひ何れも[illegible]もの感がある

支那時局の混沌たるに乘じ[illegible]のは安福派であつて頻りに[illegible]を擁戴すべく各方面に

◇暗中飛躍

つつ有るも如何せん[illegible]

◇各將領を

[illegible]時局會議を開催したる結果遂に[illegible]

怪女（70）

今井泰三作
京極佳夕畫

[illegible]で日本帝展[illegible]入り[illegible]「大成」誌上に[illegible]石に內田夕暗時代からの[illegible]に久方振りに[illegible]した武藏野の[illegible]やしには特殊の[illegible]が動いたと見

た「ひさご」[illegible]のなかに何ぞしつけ[illegible]「おほやけの[illegible]去りてやや久し落ち[illegible]の道の[illegible]」などとやつてゐる。

降りには夜もかなり更けてゐましたが、行く時に星が出てゐたのに、雨がだらだらと降り出しました。

私達は一本の番傘を借りて、二人ではいつて來ました。英子が行きの時のやうに歩いて歸らうといふので、私達は大學前の本郷の通りを肩を並べて歩いて行きました。

英子のうちの前まで送つて行くと、中は[illegible]まつてゐると見えて燈火の影が見えませんでした。[illegible]田さん達も既に寢に就いてゐたのでせう。

「[illegible]つてらつしやいな。そして今夜は泊つてらつしやいよ。」

英子は門の屋根の下に立つて言ふのでした。

「まだ大丈夫です。電車がありますから。」

私は雨の中で答へるのでした。

「電車があつたつて可いぢやありませんか。泊つてらつしやいね。いいでせう？」

「いいえ、今夜は歸ります。」

「何うしてですの？いいぢやありませんか、わたしの言ふ事だつてたまには聞いて下さるものよ。それにわたしあの人達とは違つた部屋に寢るのですから。」

「また改めて來ます。けふは歸らして下さい。」

「然うですわねえ……」

彼女は燈を[illegible]らすやうにして私の顏をみつめてゐました。頭の上の傘をぱたぱた打つ雨の音がわびしく聞えてゐます。門の[illegible]燈の影が雨に濡れた地の上に落ちて、[illegible]のやうにチラチラ光つてゐます。

「[illegible]に[illegible]む[illegible]だつてありますわ。」

「そんな事は何うでもいいんです。僕はただ歸りたいんです……」

「可けない、可けない……何うしても[illegible]つてらつしやらなければ厭！」

彼女は門の下のたたきの上で地團駄を踏んで見せました。

「さよなら……」

私は自分を勵ますやうにして、その場をプイと去りました。傘を後ろに傾けて、彼女の方から見えないやうにしました。そして尻を端折つて急ぎ足に歩き出しました。

それが彼女との交渉の最後でした。

それから一年半ばかりのあひだ長い間彼女の消息を聞きませんでした。が、ふと彼女がいつぞや長唄の會で會つた柚澤と猛烈な戀をしたといふ噂を聞きました。それは婦人記者のS女史が語つてゐましたが、S女史は柚澤とは知り合なので、偶然柚澤が來てゐた時英子も其處に來合せてゐたといふのです。そして長唄の會の記憶を辿つて、二人の間に新しい交渉が開始されたのでした。

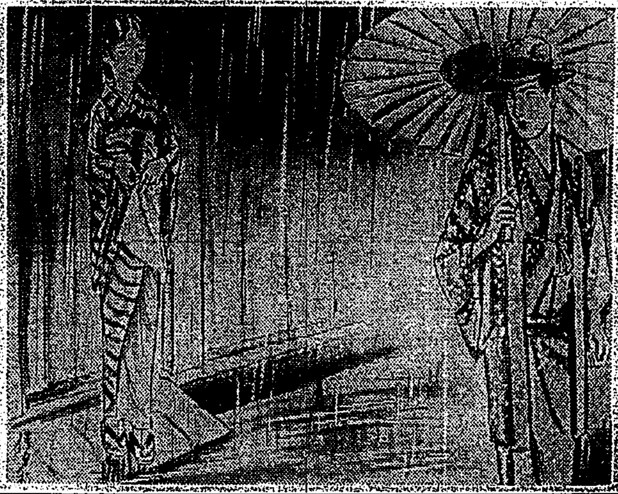
柚澤も英子に[illegible]打ち込んだ樣子で、それが爲めに結婚して間もない妻までも離緣して、彼女を家に引き入れたと聞きました。それに子供まで出來たといふ事です。子供が出來たといふ事が私には不思議に思はれました。石女だと言つてゐた彼女に、子供が出來たといふ事です。

と、私の勤めが變つて、ある地方新聞の支局に居りますと、英子が突然思ひがけなく一人の女の子を連れて私をたづねて來ました。身なりも銘紗づくめの、立派な奧さんになつてゐました。彼女は柚澤との顛末をかい摘んで私に說明しました。そして最後に附け加へました。

「わたしもやつぱり性には勝てませんでしたわ……」

私は此の告白を意外の氣持で聞きました。彼女はやつぱり彼女かも知れない[illegible]にしてゐた通り、[illegible]着だとそのまま思ひ通してゐたとでも思つてゐるでせうか？私は此では可笑しかつたが、さあらぬ態で、極めて社交的な態度をもつて取りこした上彼女を歸しました。

それにしても意外に幸福な家庭婦人らしい彼女の話でありました。私は柚澤と彼女の幸福を祈りました。（完）



銘酒 白鹿

品質日本一
ヤマサ醤油
御家庭向きの贈物
宮內省御用達　ヤマサ醤油株式會社

上海全市を搖がす大音響！
運搬中の火藥が爆發
船多數沈沒して慘狀を極む

【上海二十四日發電通】二十四日午後四時三十分頃上海全市を搖がす大音響起り同時に郊外南に當り夥しく黑煙上り日本軍の行動開始と見て大混亂を起したが公安局發表に依れば爆發は上海上流高昌廟の支那火藥庫から出した火藥を支那汽船に積込み、更に小蒸汽に積み龍華の支那警備司令部に運搬の途中小蒸汽からの火の粉が飛び爆發したもので現場には多數の船が沈沒し慘狀を極めてゐる

支那人二十三名慘死
重輕傷、倒潰家屋も多數

【上海二十四日發電通】本日の爆發で二十三名(皆支那人)慘死を遂げた外重輕傷多數あるが二キロ四方の窓硝子破壞し倒潰家屋も數戶を出した

支那軍一萬
龍華に到著

【上海二十四日發電通】支那側は[illegible]で內一萬は既に龍華に到著し上海南京から二萬の軍を上海へ輸送中の周圍に配備された

北京リーダーは
飽までも廢刊
我公使館の決意

【北平二十四日發電通】北京リーダー紙の連日不穩記事掲載に對し我が公使館當局は憤激して同紙を廢刊せしむる決意を以て張學良に嚴重抗議中同紙は中央政府の排日機關で學良獨りで處罰し得ぬ事情あるも公使館は飽くまで廢刊を主張し居り場合に依り學良に迫り期限付回答を求める模樣である

支那の軍事行動
暴露

【上海二十五日發電通】爆發は日本軍が高昌廟の火藥庫を占領するとの流言を支那側が勝手に傳へ本日午後にかけて之を龍華の警備司令部に運び我軍に對抗せんとして間違ひを起したもので少くも支那の軍事行動が暴露した

水神氏は居留民葬

【上海二十四日發電通】上海排日運行の犧牲として斃れた水神氏の葬儀に付き午後一時より官民合同の時局委員會において協議の結果居留民葬として盛且つ嚴肅に執行するに決したが全居留民は貴き犧牲に報ゆるため排日絕滅の目的を飽くまで貫徹すべく官民一致の結束を固めてゐる

我總領事館の
襲撃を決議
上海の學生團

【上海二十四日發電通】支那學生は二十四日閘北の江南學校に參集して先日橫死した支那巡捕追悼會を開き日本總領事館襲撃を決議した、領事館は之を探知し警戒を行つて居るが[illegible]行りなく口先だけの強がりと見られて居る

愛國第一號機
兵匪を襲撃
溝幇子北方へ向ふ

【溝幇子二十四日發電通】愛國第一號機は二十四日朝奉天飛行場を出發し溝幇子方面に向つたが同機は討伐隊に追はれ北鎭の北方閭巫閭山脈中の大虐殺[illegible]、光山、梁布山方面に逃込んだ匪賊隊に對し鮮かな操縱に依つて空中より猛爆し多大の損害を與へ今猶逃げる敵を追擊中

外國領事團の長官訪問

（右より米國領事、[illegible]領事、英國領事、和蘭領事、[illegible]）

平塚長官初登廳
府內高等官在北官衙長に
挨拶を述べ所信を披瀝

平塚長官は二十五日午前十時官邸を出で官房各課長及び各局長の出迎を受けて初の登府入りをなした角田會計課長代理の案內で先づ公室に入り、それより直ちに會議室に到り府內高等官、在北官衙長に對して一場の挨拶を述べ臺灣統治に關する自己の所信を披瀝する所あり、之に對して幣原帝大總長は一同を代表して答辭を述べ、同十時四十分終了、それより長官は同じく角田會計課長代理の案內で府內を一巡して各局各課を巡視して十一時公室に歸つたが、新長官の登廳に依つて深閑にとざされてゐたやうな府內も急に雨が霽れたやうに明るくなつたやうで各局各課とも既に活氣を呈し退屈してゐた役人も幾分緊張して來たかの感があつた

外國領事團が
平塚長官を訪問
總務長官の挨拶に對し
領事團から祝辭

外國領事團は二十六日午前十一時平塚新長官を官邸に訪問、新任の祝辭を述べ挨拶をなした、領事團は[illegible]英國領事、米國總領事エー・オーヴイエンス、[illegible]ケツチヤム、[illegible]アンダーソン[illegible]

首席の[illegible]領事は

私は昨日本國より歸任したものでありますが只今閣下から[illegible]挨拶がありまして[illegible]

[illegible]閣下には隨分お世話になつたと行届いたる言葉を述べ領事團は同十一時二十分辭去したが、新長官の人柄の上品さ、應對の物柔かさ、そして挨拶の行届いてゐることに對して領事團は何れも滿足し口々に「近來にない良い印象を受けた」と賞讚の言葉を吐いてゐた

公室に[illegible]

苦力頭連の
獻金

【基隆電話】金瓜石瑞芳の苦力頭六名は同地鄉軍分會に左の通り飛行機獻納資金獻納を申出た

黃仁祥百圓、賴深淵五十圓、林長富同上、游阿秋同上、謝赤皮同上、呂阿火三十圓

賣上金を盜み
豪遊

[illegible]頭目に働いて窃盜團長として主人の信用を得たのを奇貨として昭和五年九月頃より最近に至るまで主人の目を掠めて貴金屬類の[illegible]數十回(價格約二千餘圓)に亘り詐欺橫領し其日の樣に大稻埕新町の妓樓で大盡氣取りで遊蕩を續けてゐるのを北署三河內、隅刑事に發見され身分不相應な散財として北署で取調べた結果始めて前記詐欺橫領事實を自白するに至つたものであると

阿片密賣犯
基隆署で逮捕

[illegible]

愛婦臺灣支部
長就任式

平塚新長官夫人の愛婦臺灣支部長の就任の挨拶は二十五日午前十時半より支部樓上にて小栗副長、幣原、穎田、河村、小寺、竹內、村上、大島、望月、中間、白勢各評議員出席の上行はれたが先づ小栗副長の案內にて支部會議室に入り一同に就任の挨拶をなし三浦主事の事務報告をうけ後同支部經營になる職業學校、臺北幼稚園の初巡視をなし十一時三十分歸邸した

撫順へ進擊し來る
匪賊團一千餘名
我警官隊、支那警官隊が討伐を開始

【撫順二十四日發電通】撫順大[illegible]湖方面に蠢動し撫順に向け進擊中の匪賊團一千は今朝に至り隊を分ち一隊三百名は撫順東北方一里半の新大和に襲來し又一隊三百名は撫順の東千金寨[illegible]子に肉薄して來た又盤山方面はその主力五百名が目下撫順市中で我警官隊支那巡警隊は午前十一時同地に急行討伐を開始した

蕃人警手の慰問金

新竹州鬼澤駐在所の秋山三郎といふ蕃人警手から仁禮討伐隊長宛に[illegible]の辛苦に對して感謝の意を表し[illegible]同封してあつた

村井旅團の精銳部隊
敵匪に大損害を與ふ

【打虎山二十四日發電通】打虎山より白土廠門に至る十里に亘る鐵線を敷いた村井旅團長の指揮する精銳部隊〇〇〇〇名は今早朝一〇〇〇名は午前九時白土廠門東南地點で五百の敵匪と交戰敵に多大の損害を與へ之を擊退し[illegible]に進出した[illegible]

故水戶夫妻の
遺骨安著
鄉里から謝電

故水戶[illegible]夫妻の遺骨は故鄉[illegible]部氏に守られ鄉里福島縣相馬郡新地村の實家に歸つたが水戶家より二十五日本社宛左の謝電があつた

安著す御配慮を謝す

寶石類を
巧に詐取

二十四日夜南署吉澤刑事部長、[illegible]刑事に自宅より拘引狀を執行され留置された、同人は昭和五年四月東京市下谷區西黑門町三番地寶石商池澤光枝方に大連の富豪といふ觸れ込みで訪づれ奉天陸軍大將や政府要路の大官は皆自分の友人であるが如く大法螺を吹いて主人を信用せしめヒスイ、ダイヤ十三個價格六千餘圓を詐取し滿洲に高飛びし奉天[illegible]町に寶石商〇〇商會といふ大看板をかかげ支那人相手にここでも約一萬圓の詐欺を働らき懲役二年(執行猶豫三ケ年)に處せられ渡臺したものであるが同人は名古屋、京都、熊本等內地主要都市の貴金屬寶石商との間に巧に喰ひ込み[illegible]の外にも相當大仕事をしてゐる模樣で南署でも本年最初の大捕物として緊張裡に取調べ續行中である

軟式野球
準決勝戰

市內軟式野球聯盟準決勝戰は二十四日午前十時半から新公園において開始左の成績をもつて庚戌・會計の兩組決勝三十日午後二時から同所において決勝戰を行ふ筈

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
庚戌	1	1	3	0	0	2	0	0	A	7A
專賣	1	1	0	2	0	0	1	0	0	5

バツテリー
庚戌　井井・田端
專賣　磯井・辻

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
會計	2	1	0	0	0	2	1	2	A	8A
州	0	1	0	0	0	3	0	0	0	4

バツテリー
會計　中村・永井
州　松木・清水

劉氏の個展閉會

廿二日より本社三階講堂において開催された劉[illegible]氏の歸臺記念展覽會は三日間の中に三千餘名の入場者を集めて二十四日盛況裡に閉會したが開會中來場した小澤、[illegible]畫伯は何れもその天分の豐かなるに驚歎を[illegible]めてゐた、劉君の渡歐は三月頃出發五ケ年間パリに滯在する豫定である

阿部新軍司令官
けふ赴任の途につく
神戶から蓬萊丸に乘船

【大阪二十五日發電通】新臺灣軍司令官阿部信行中將は二十六日午前八時滯在中なりし大阪ホテルを沿道に堵列した在阪各部隊の見送りを受け大阪驛發九時三十五分發列車で官民多數の歡送裡に神戶に向つた同正午神戶出帆の蓬萊丸で赴任の途についた(號外再錄)

阿部軍司令官
廿八日著任

阿部新任軍司令官は二十八日午後二時五十五分臺北驛着列車にて著北するが著任儀式は左の如くである

步兵第一聯隊儀仗隊(一中隊)は驛前廣場東側に西面橫隊、堵列部隊(一大隊)表町通北端十字路附近を右翼として街路に西面橫隊、山砲隊(一中隊)樺山町北側空地に堵列、堵列部隊に參加せざる部隊の准士官以下は堵列部隊の左方博物館に至る間に軍司令部、守備隊司令部、步兵隊、山砲隊、衞戍病院の順序にて整列、軍司令官は驛前より乘馬にて軍務局、各部隊長を隨へ儀仗及堵列の儀式を受ける

午後三時三十分官邸[illegible]北各長官の伺候[illegible]

平塚長官
軍部に挨拶

平塚總務長官は二十五日午前十一時半軍司令部を訪問小杉參謀長以下各部長に著任の挨拶をなした

二月四日
新竹初巡視

【新竹電話】阿部軍司令官は二月四日新竹初巡視の豫定であると

新竹信組總會

【新竹電話】新竹信用組合第十九回通常總會は二十四日午後一時四十分から新竹公會堂に於て李[illegible]課長、稻田產業主事その他關係員及び來賓多數列席の下に開會先づ[illegible]同起立するや新原組合長[illegible]開會の辭を述べ議事に移り[illegible]大明氏監事報告、清水[illegible]理事の事業報告あり二、三の組合員より未收、損害保證金、役員退職慰勞金、組合員新加入、信用評定貸付金回收等につき質問[illegible]務理事から一々これに答へ午後四時過結局承認事項三件を原案通り承認次いで決議事項に入り借入金最高限度三十萬圓及び一組合員の貸付金最高限度一萬圓とする件を一旦付議したが組合員貸付限度を下げよと議論を[illegible]し暫時休憩の後再開結局借入金は原案通り、組合員貸付金は七千圓に決定續いて常任監事を置くとの定款改正並に方針を決定して監事五名、信用評定委員二十名の改選に移り[illegible]監事五名は重任し評定委員のみ選擧を行ひ宮木金助氏外十九名當選午後七時半極めて平穩裡に閉會した

豐漁丸の遭難者
無事生存か
廣東領事から
督府へ照會來る

【高雄電話】高雄市哨船町宮崎秋[illegible]所有發動機船豐漁丸は一月五日[illegible]港を出帆後機關に故障を生じ漂流中八日八尖[illegible]が發見して乘組員七名のうち二名だけ救助したが船は曳航が出來ぬのでそのまま放棄し其後搜索船を出したが發見出來なかつたことは當時報道したが去る十四日廣東領事より督府へ[illegible]との通知を寄せて來たので[illegible]

明大招聘と
收支決算
不足は本社負擔

明治大學より今春にかけ本社は明治[illegible]

[illegible]は臺北及地方における總收入金一萬二千七百三十七圓六十錢にして之れに要したる支出は選手招聘費、試合旅費、參加チーム及審判員旅費、會場設備費其他委員の雜費、諸雜費等を合せて金壹萬[illegible]拾四圓七拾九錢となり差引金[illegible]拾九錢の不足額は本社に於て負擔する事となつた

閩書圖で惡口言つたのは數高のある內地人學生です(第三次女學生)▲臺北總督府文部政務次官大口嘉六とあり野村嘉六の誤りではないか(好意生)▲當局[illegible]通學生の風紀を調べて貰ひたい(第三者)▲臺北驛から[illegible]等で我らの旅費ですか(ちよ生)▲高口三階上男女相抱いて狂ふの狀は何だ(不器識生)▲青山ふみる樣拾ひ物して表町交番へ屆けました(拾得者)本町二丁目の共同便所は不潔極まる(散步生)▲二十二日夜新高某の開業[illegible]會で下駄を替へた方は(北一五八)▲[illegible]

天氣概況(二十五日)

島內は基隆は小雨、北部及澎湖島は曇り、中南部は淡曇りで附近海上も割合に靜かとなつて居ります

▲天氣豫報(二十六日)
第一區(北乃至東の風曇り後晴)
第二區(北乃至東の風沿岸地方は弱く晴)
第三區(北乃至東の風沿海地方は弱く晴)
臺北地方　東の風曇り

潮汐　基隆(廿六日)　淡水(廿六日)　[illegible]

各地氣溫(廿四日)　最高　最低　[illegible]

商況　二十五日

米況　正米市況　[illegible]

糖況　[illegible]

大阪現物　[illegible]

大阪定期　[illegible]

株況　大阪短期　[illegible]

東京期米　[illegible]

神戶期米　[illegible]

大阪期米　[illegible]

銀塊　[illegible]

絲況　大阪綿絲　[illegible]

婦人每日新聞
愛讀者に
婦人每日新聞社は大阪の本社を始め全國各地に亘り愛讀者大會の大懇親を行ふことになりました就ては婦人每日新聞愛讀者に限り婦人每日新聞一ケ月の購讀料金六十錢を特に金五十錢に割引提供することと致します、申込所は臺灣日日新報本社に各地同社支局、取次販賣店でありますよ(婦人每日新聞社)

一九三二年の
婦人每日新聞の
新運動
一、實際生活の合理化

肺結核新藥
フアゴール
東京帝國大學教授 醫學博士 高岡[illegible]先生 醫學博士 下山[illegible]先生 協力創製
肺結核患者の特効として最も適當なるものにして、盜汗及咯痰の量を輕減し、結核菌の出現を減少させ食慾及榮養を亢進せしめ、體重を增加し病大病症を輕快治癒せしむ。
適應症 肺尖加答兒、肺結核、肋膜炎、肺炎
▼粉末錠劑の二種あり
▼各地藥店にて販賣す
▼試驗成績提供呈す
一手販賣元 東京市日本橋區本町 友田合資會社

小兒のせきに
チミツシン
普通の咳嗽は勿論のこと、あの頑固な百日咳には特に良効がある。寢る前に一匙を服ませて置けば夜中に咳き込むことなく良く安眠を得せしめる。蜜の如く甘いから喜んで服み、與へ過ぎても害にならない。
一瓶一圓八十錢 [illegible]
株式會社 田邊元三郎商店 東京日本橋區本町

風ならキツト治る
感冒藥
バンコー
發賣元 臺北市京町[illegible]藥局

新築落成
御料理紀州庵本店
[illegible]

福祿壽[illegible]

[illegible]
朝倉哲雄　植田末能　植田早苗　佐藤才[illegible]　太田吾一　長谷川[illegible]　陳紹[illegible]　寺尾[illegible]　猪股力兵衞　林朝[illegible]　林邦光

殘月譜（81）

志乃田迪司作
清水三重三畫

騙り名（八）

「や、意外の御災難でしたな」

老同心に中開きをしてくれた武士は、くだけた調子で心易く話しかけた。

「は、忝けない！實は下郎の不埒さに、切り捨てやうと白刃を拔いた所へ、あの捕手に會ひまして——」

「いや、どうも、間の惡い時に短氣を起されたものだ」

老同心が目配して、捕手を引きまとめ、他の方角へ去つて行くのを見送つて。

「さ、參らうでは御座らぬか」

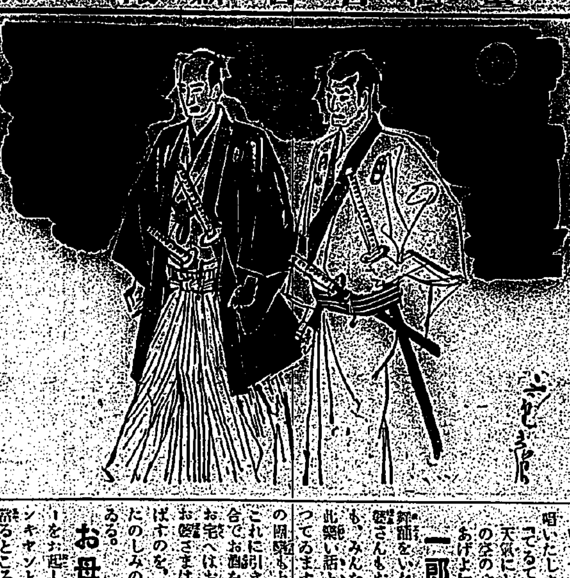
「はつ」

恒之助は得體の知れぬ心地で其の武士を見上げた。

「蠣殼町の中邸へ參らるるかの？」

恒之助、答へに窮した。

「それとも、夜更けて御座るに依つて、濱町の藩邸へでも罷り越さ



れますかの？」

「は……」

恒之助、弱つた、姫路藩士とは喧嘩の出まかせなのだから。

「拙者は上邸へ歸るもので御座るが、いつそ夜更けの上邸へ參られては如何で御座る、夜更けの宗藩邸御門も風流ですぞ、はははは」

「はーー」

恒之助は、とより他に返事が出來なかつた。

「が、貴殿、なか〳〵の使ひ手でいらつしやる」

「いいえ、お恥かしい」

「いや、感服致した」

「今晩は、誠に危難を御救ひ下さつて——」

「いや〳〵、同藩の誼、何でも御座らぬ」

さう云つて居る武士の眼は鋭く恒之助の顔を射た。

「尚武の御家、貴殿のやうな方が多いのは何としても嬉しいことだ」

「いや」

恒之助、赤面した。

いつ、姫路藩、誰方か？と恒之助は訊ねたかつたが、同藩中にもかくれない大身らしい物腰、うか、と恒之助に云ひ出せぬ氣がした。

いつしか、恒之助は足を、其の武士の行く方へ、江戸城大手前だ所にある酒井侯上邸の方へと向けて居た。

何とか云つて、恒之助は此の場をのがれたかつた。金剛院に殘して來た倅れが、今頃は又しても。

「と、さま！おちつこ」

と、かわいい片言で、せかんでは居やせぬか知ら。

「矢張、夜更けの街を、ぶら〳〵致すも、いい氣分のもので御座るな」

對手の武士は、いい心持さうに歩いて居る。

恒之助は氣が氣で、ならなくなつた。

「貴子は、こちらへ御連れで御座るか？」

不意の質問だ。

「は、實は先年亡ひまして、子供一人、こちらへ連れて參つて居ります」

「ふむ、そりや御不便で御座るな」

と武士は云つて、惡戯さうに

「孫郎にかたな？」

と恒之助の顔を覗き込んだ。

「姓名！」

恒之助、姫路藩士でないことを白状しやうとした時。

「面白い緣で御座るな、同藩中に同姓同名は珍らしい、拙者、酒木六郎右衛門、今後宜しく御懇ひ申す」

「えつ！」

恒之助、驚いて、思はず刀の柄に手を掛けた。

童話と童謡と舞踊（九）

童話は作るに非ず出來るもの

童話家富田淑雄
舞踊家富田俊子
夫妻の共述

そこで話が元に戻りまして、然らば、子供の舞踊はどんなものかと申しますと、童心に立脚したるところの童謡の歌詞歌曲の肉體的表情運動でありまして

型として は大體二樣に分類することが出來ると思ひます、即ち一は西洋風のダンス式を加味した立體的なものと、他の一は日本風のをどり式を加味した曲線的なものであります。又、その振付の型にも二通りありまして、一つは全然客觀的な描寫をせるもの、他の一つは全然主觀的な表現をするものとでありますが、新らしいこれからの舞踊の傾向は、どうしても、前者でなく、後者の型即ち、どこまでも自己がその表現の中へ感情移入を行つて、主觀的に個性と實感から描き出さねばなりません。從來の子供の舞踊は、あやつり人形の動作であり、形の上の變化運動であつたのに反し

新しい舞 踊の進むべき道は、成るべく形の上の動きを省いて、心持の上の動きを、アクション、モーション、ポーズに依つて出さうと苦心してゐるのであります。ここにペエチ女史の所謂、日本舞踊のデリカシイを出さうとする苦心があるのであります

日本の舞踊界に溢れた三つの傾向は、まことに私どもの指針を示した新しい羅針盤でありまして、私ども、器樂と協力して、家庭に童話を取り入れ、童謡を取り入れ、舞踊をとり入れたいと思ひます。

樂しい晩餐が濟んで

一家族は 團欒の世界を作ります。お父樣は一郎さんや花子さんにアラビヤン、ナイトのお話をなさいます。お話が濟んでからお母さんがピアノで伴奏をなさいますと、花子さんが童謡を獨唱いたします。

「てるてる坊主てる坊主、あした天氣にしておくれ、いつかの夢の空のやうに、晴れたら金の鈴あげよ」

一郎さん が元氣よく舞踊をいたします。お爺さんもお婆さんもお鍋さんも三毛猫もポチも、みんなみんなニコニコとして此樂しい話と唄と踊の夕の觀客となつてゐます。そこまで行けば家庭の團欒も上乘なものでありますが、これに引きかへて、お父さまは待合でお酒をしたたかお召し上つてお宅へはお歸りがない。お爺さまお婆さまは、お母さまをお苛め遊ばすのを、寺參りと共にこよなきたのしみの日課の一つとなさつてゐる。

お母さま はヒステリーをお起し遊ばして、お鍋にキャンキャンとお當り遊ばす、お鍋は當るところがないので茶碗にお當り遊ばす。茶碗は壞れて犬にお當り遊ばすと、犬は怒つて猫に、猫は鼠に、鼠は赤ちゃんにお當り遊ばすので、赤ちゃんは晝は日ねもす夜は夜もすがら泣きの涙でオギャーオギャー。この樣な陰慘な家庭に、どこに慰安があり、藝術があり、そして何處に幸福と感謝がありませう。思へば寒

▽　△

私は次の一句を皆樣に申上げたいと思ひます「童話も童謡も舞踊もそれらは『作る』ものではなくて、『出來る』ものである。生活さへ純眞であるならば尊い童話は自然と

生れて來 る。リンゴを見よ、初めは青く小さく弱い併し時が來れば赤く大きくなつて、熟すれば幹をはなれてやがてポタリと地上へ落ちるではないか、私達のリンゴはまだ青いでも、ナイーブな心とシンプルな心とインノセントな心とシンプルな心とを以て、自己の心をみつめて行く中には、きつと赤く甘く大きく、やがては成熟する秋が來るであらう」それから

もう一句 「アンゼラスの鐘が鳴る、赤い夕日が落ちて行く。寂しい野道に、一、今日も一日生きてゐたことを[illegible]民の心

その心が私どもの心であり、その姿が私どもの姿であり、生活であり、而して私どもの宗教であり哲學であり人生である。そしてもう一句、「朝日と共に目を醒まし、小鳥と共に遊び踊るのは子供等である。夕日と共に靜かに眠り、またたく星を夢にみるのは子供らである。落ちた椿の花を絲に通して首飾となし、お伽ばなしのお姫樣になりすますのも子供等なら、小雨そぼふるお背戸に立つて、賣られ行く小牛を見て、獨り泣くのも子供等である。されど、されど、やがて彼等が青年となり、乙女となつたとき、もう再び目の光を見ない、小鳥の聲を聞かない、そしてお伽の國を失ひ、涙の泉を失ふ」

殉教血史

日本廿六聖人
映寫會

日活昨秋の巨大作、國際宗教映畫としてファンの血を湧かしてゐる「日本廿六聖人」が臺灣日日新報社主催、臺灣放送協會後援の下に二月五日より臺北世界館に上映されることになつた。該映畫はキリスト教の我が國殉教史として世界的に著名、レオン・パジェス博士の原著「日本廿六聖人殉教血史」を基として東京上智大學教授ホイヴェルス博士の編したる原作に日活の池田監督が渾身の努力を傾注して製作した超世的大映畫である。入場料は一等一圓五十錢、二等一圓の由であるが何卒[illegible]、新高堂、稻田商店等で前賣券を取扱つてゐる

映畫の鑑賞

映畫的に觀ること……

飯島正

それは單に映畫ファンと云はれてゐる人達ばかりではない、映畫常設館に幾何かの入場料を拂つて映畫を見に行く人々には、みな何等かの意味において、映畫を鑑賞してゐるのである

しかし、さういふ人たちは、何といふさまざまな角度から、映畫を鑑賞することであらう！

×　×

例へば——

Aといふ青年は、まるで戀人に會ふやうに花形女優に會ひに來る

Bといふ少女は、まるで戀人に會ふやうに花形男優に會ひに來る

Cといふ若い男は、映畫にイデオロギーを測定し

Dといふ若い娘は、戀に破れた朋輩のひとと一緒に泣きたがる

Eといふ中年の良人は、レヴィウ映畫に、レッグ・ショウのみを見

Fといふ中年の奥樣は、ウイリアム・ポウエルだとかコンラッド・ネイゲルなどの出てゐる映畫しか見に來ない

Gといふ文學青年は自分の知つてゐる小説がどう映畫化されてゐるかといふことを知るために映畫を見

Hといふ新劇青年は、自分の知つてゐる芝居がどう映畫化されてゐるかといふことをしらべに來る

また、自分の泣き方を改良し格闘の極意を知りたいと思つてくる男優……エトセトラ！

——さうして各々は各々なりに映畫を鑑賞して居る

×　×

勿論これだつていいのだけれど——

しかし考へてみると、かういふいろんな角度で見た映畫の鑑賞は結局自分一人か、自分と趣味傾向を同じくする數人の人々の間にだけてのみ通用される一つの見方に過ぎない

×　×

映畫が多くの人間を包容する映畫常設館に於いて興行され、みんながみんなの間に交つて一緒に映畫をじつめる以上、もし自分一個人鑑賞のよろこびが、そこにある多くの人々のそれと共鳴し得るものであれば、そのよろこびは更に大となるであらう

また極通俗な、功利的な意味から云つても——

×　×　×

例へば、ある人がある席上で、ある映畫を非常に賞めたとする、そのときそこにゐる人達がみんな「あんなつまらない映畫！」と云つて笑つてしまつたとする、そのある人は何とそのとき恥かしめられた氣持ちがすることだらう

あの映畫の主役の男優はあんなにハンサムで、そして可憐に戀人を投げ出したのに……彼女はその點でこんないい映畫を見たことがないと思つてゐたのに——

彼女はもう少し映畫的の鑑賞をしてゐればこんなことはなかつたのだが——そこで僕が云はうとすることは、さういふ映畫鑑賞のために何等かの役に立つやうにといふ僕の氣持であるのである

×　×

映畫を映畫的に鑑賞すると云ふことは、映畫を、文學的に、演劇的に、レヴィウ的に、その他あらゆる映畫でないもの……的に鑑賞しないことである。それ故に必然的に、さういふ各方面の藝術と映畫との交渉、そしてそこに見出される映畫の獨自性、それが論議の種となるであらう、毎月發表される多くの映畫の實際と離れながら、さういふ一般的な映畫鑑賞の根本的な諸點を考へることが先づ大切なことであると思ふ（終）

名家敗退將棋（五八）

（齋藤氏一回勝二人目）

香平交　左香落

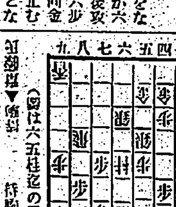
△六段　飯塚勘一郎
▲五段　齋藤銀次郎

△五九角▲六六步△同銀▲八八步△同飛▲九六步△同步▲九四飛△九八飛▲六四銀△六七步▲九二飛△八五步▲八二飛△八八飛

▲齋藤五段曰く　六六步は銀をならして逃ぐが徳の樣思つたが六ケしい所だけに充分讀んで後攻むべきであつた九六步は五六步と突く手を考へて置いたが同金となられると損過となる、止むを得ず端を攻めたが步切れとなつたは損でした

▲飯塚六段曰く　九八飛は相當考へてみたが敵に九六飛と交換を求められれば同飛同香で私の方に先が殘つてよい苦です六七步は敵は步切れであるし手重い樣見えても一手を殺して逃げば敵の五六步突の危險を緩和します

▲大崎八段講評　下手六六步と銀に當てたは指過で甚よろしくなかつた六八步と樣く避かし同角なれば五六步と突出せば同銀なれば五七步の先が嚴しく戀ぐし如何にしても角の番錯が生じて充分であつたを逸したけ殘念である上手六六步は穩かな運びで此棋勢では假を避くすべきである



（圖は六五桂迄の局面）

持駒▲齋藤　步步步
持駒△飯塚氏　步步步

臺日聯珠

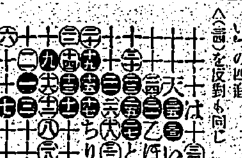
「白扇」正解

聯珠石田迎調

（其三三第一回終局）

▲（三五）勝、後「いろ」又は「はにほ」此場合「甲乙」の防ぎは「にへろい」の四追

△（三四）を反對も同じ



△（三三）を「とに」の内なら（三三）「天い（三五）」

△（三二）を「ちり」の内なら（三四）と引く迄

△（三一）を「天へ」の内なら「りとい ほ（三四）（三三）」の四追

△（三二）を「地」なら「りとい（三一）へ」の四追此外なら「ちに（三一）へ」

△（三〇）絶封

臺日俚謠

投書・何數無制限、何れも投書し得、宛名は本[illegible]係

△意氣は新らし今年の俚謠か誰が横綱張るのやら　臺北　方　郁

△樣と行くのがら恥かしや何日か一人で泣いた野邊　臺北　あの字

△嬲ながらも千鳥の夢か浮いて戀しい昔の旅　臺北　恒　洋

△逃避しながら身の上語りて聞くのも船の旅　旅中　海　味

◎行つて了ふか言はずに泣こか戀を包んだ朧月　臺東　吐　月

（所）下の句良い、情景だ

臺日案內

料金　三行五回　五行四回　七行四回　十行四回　十五行以上　[illegible]

書籍　叶見書店　月賦販賣　特價部數新本　臺北市本町二　文化教育台

藥種商　エナモル　各地有名藥店に　便所に不潔な所に　あり　臺北市本町藥舖　電二八〇四番

醫院　小林醫院　内科小兒科物療科　大和町電二四二　ドクトル小林準一　入院　簡時

藤井齒科醫院　鐵道ホテル裏通り　電三九八

內地土產　ボンカンとザボン　桐田商會　電二六五六

寫眞　寫眞機の御買時　低廉　材料一般　臺北　西尾商店

カメラ交換賣買歡迎　臺北市京町　寫眞機部

雜件　ベニヤ板　臺北市新起町　日本[illegible]工部

特許商標　辨理士　岸喜鑑　濱口町三ノ八　電一二八七　事務所

藥掛赤瓦大勉强　松山電話一四番　岡[illegible]城

營業案內

神戸肉は田伍作へ　西門市場内　電話三七〇〇番

活動寫眞は　高畠商會　南清水町二　電八四〇

金太郎コナミルク
斯界の權威宮城臨博士指導
純良粉乳
五大特徵
一、過水即化
一、不凝不滯
一、最易消化
一、味道純正
一、滋養濃厚

KINTARO
WHOLE MILK

滋強飲料
カルピス

第三回化學工業博覽會最高名譽賞受領
一家に一個
齒を健かに口中を爽かにする
ミツワ煉齒磨
齒と口の健康第一
「ミツワ煉歯磨は、歯を滑らかにし、歯齦を斂め、口中の糜爛を防ぎ、口腔の防腐、消毒、及び制酸の效力を有し、齲齒の豫防に效があります。」
臭くなく、苦味無く、味良く、包が快いから、使用後すぐと玉露の茶を飲んでも、些しも其茶の微妙な香味に障りません
徳用大形（七十匁入）一個　金二十錢
携帶用中形チューブ入　一個　金十錢
◇舶來品と比較御試用の上その優秀さをお味ひ下さい
ミツワ石鹸本舖　東京　丸見屋商店

SHOTEN
ミツワ煉齒磨
登錄商標
東京・丸見屋商店
MADE IN JAPAN

●齒痛に頭痛はカオカンで直る●

牛乳石鹸
ホーサン入
肌膚を洗ひ清めれば
今 湯上りに知る
殘り香のよさ
色艶のよさ

SK 197

鎭咳
ファトシン
袪痰作用最高位（溶血力二百倍）
氣管支カタル、喘息
感冒、肺炎、百日咳
肺結核等その他呼吸器疾患に伴ふ
喀痰・咳嗽に
品質優良
効果卓絕

株式會社　塩野義商店　大阪市東區道修町　東京市日本橋區本町

BAYER
感冒
頭痛
神經痛
ロイマチス
に對し　バイエルアスピリンの解熱鎭痛効果、優秀確實にして他劑の追從し能はざるは全治療界の確認するところなり。
武田長兵衛商店　大阪市東區道修町

漢文臺灣日日新報

對日國交斷絕不布
馮孫諸強硬派順大勢
決定犧牲陳外長一人

二十四日上海電。外交部長陳友仁。以下對日強硬派。決定辭退。蔣介石。汪兆銘許自重派。代之以當對日外交。以見日本強硬態度。出於讓步的。馮玉祥。孫科。李文範。李宗仁諸強硬派。亦順大勢。棄其強硬論。決定犧牲陳氏。將對日國交斷絕宣布作罷云。

陳外長辭職確定
爲主絕國交不見容

二十四日上海電。外部長陳友仁。所求對日國交斷絕。及聯盟規約第十六條制裁規定適用。中央政治會議。不肯承認。決意辭職。將情言明。陳氏二十四日午後六時。合與自南京到滬孫科最後的交換意見。或無妥協餘地。其辭職確定的云。

華軍一萬到龍華
警備上海四周

二十四日上海電。中國自南京調二萬軍到上海。一萬既到龍華。配備上海周圍云。

求反日會解散三禮拜猶豫
我當局似斷然拒絕

二十五日上海電。村井總領事。二十五日。會見上海市長。促以不敬事件。其他抗議要求。從速回答。合示以要求不容。用出強硬態度。該市長見我態度強硬。但九一二三各項承認。四項反日會即時解散。實行須時。求二禮拜猶豫期間。且言解散反日會。其他反動團體。維持秩序。上海要派三師團兵。求我諒解。然該斯長期猶豫。軍隊移動要求。或斷然拒絕云。

盛傳我飛機投爆彈
上海龍華火藥庫爆發

二十四日本社上海特電。高地龍華司令部火藥庫爆發。市中盛傳日本飛行機抵下爆彈。海軍一邊。則否認之。

中國橫死巡捕追悼
決議襲我領事館

二十四日上海電。中國學生。二十四日。集楊樹浦江南學校。爲當日橫死中國巡捕。開追悼會。決議襲日本總領事館。領事館探知嚴戒。似無實行之力。或同客電云。

臺銀券制限外發行
舊臘其景況與新臘同
米價高農民亦得沾潤

客臘底二十六日。臺灣銀行券發行額達四千六百四萬七千圓。是昨年中最高記錄。其後漸次復於常態。然尙越舊臘迫於目前。且米斷價格轉好。發行券之收縮。比較遲緩。在四千百萬至二百萬圓之上下。而本月二十日發行額四千百八十四萬一千圓。翌二十一日官吏俸給日發行額達四千三百七十八萬一千圓。今後亦應維持同程度發行額。舊臘發行額豫想有四千六百萬圓。殆與新臘發行額。無大差異。由來新臘最高發行額。與舊臘發行額。差去殊多。是其常例。然本年末。因金輸出禁止。生產界。金呈活況。物價騰貴。市況活潑。自然臺銀發行額。亦自影響。且此活氣。舊臘亦當好影響。殆與新臘無大差

阿部新軍司令官
今朝發大阪赴任

二十五日大阪電。新臺灣軍司令官阿部信行中將。二十五日午前八時。發大阪大旅館。赴途有在阪各部隊。列相送。到大阪驛。乘九時。十九分發列車。官民多數送行。比抵神戶。十午乘蓬萊丸。首途赴任云。

本月二十一日發行額。與前年同月發行額比較。增加五百十二萬八千圓。在發行額增加。較之前年。見覺知本年之轉好。今後或依物價。照此續行。亦未可知。要之。臺銀當局。逆料其增發。二月中。受認可千二百萬圓之限外發行。以應之。同行發行券之高低。與市況大有密接關係云云。

若槻、永井兩氏
演說吹入

二十五日東京電。民政黨若槻總裁。永井幹事長。二十四日午後八時。決定

國府諸要人議防南京
至今朝未明谷司令亦參加

二十五日上海電。蔣介石。汪兆銘。以下要人。昨夜至今朝。協議日華危機。決定對策。本日開中央執行委員緊急會議確定。蓋其會議。諸至今朝未明。觀其召南京衛戍司令谷正倫。可知議對日外交策外。並及南京防備。日本軍且占南京。日下諸言四起。全市不安。日僑愈危險云。

命南京、上海間嚴警
各砲臺、鐵道無電臺

二十五日南京電。國民政府。料日本軍攻南京。且命南京上海間各砲臺。防備從嚴。二十四日午後十時。經已下令。又料日本軍。毀南京上海間鐵道。鐵道警備亦嚴正。將軍隊集中。又命南京。上海無電臺警備云。

圓糯崩落
人氣離散

二十六朝一大阪期米先限一帶二十五圓九十四錢。二帶八十六錢。依然保持高價。一面圓糯當限。自二十三日十圓三十錢最高。其後漸次低落。二十五朝九圓八十錢臺。中限十圓十錢臺。人氣大軟。蓋內地已採羅近百十萬袋。舊正需要米已足。此後縱再來買。亦須廉價。一面在庫米約近九萬袋。農家値此舊曆年關。且際臺北州下地租納期。急于糶出。故價甚軟。一般人氣。有漸離糯而趨于蓬萊米之概云。

高昌廟火藥爆發
黑煙冲天大混亂

二十四日上海電。二十四日午後四時三十分頃。上海全市。忽聞一大音響起。同時郊外南方。黑煙冲天。行傳日本軍動行開始。一時大混亂。然據公安局發表。上海上流高昌廟中國火藥庫。連火藥入中國汽船。轉載小蒸汽。以大龍華中國警備司令部。途中小蒸汽發火。紛飛爆發。現場多數船役沈沒。極淒慘云。

放火重光公使官邸
幸即滅抗日會員無狀

二十四日上海電。形勢險惡。法租界重光公使官邸嚴密。二十四日午後七時半。一陣暴徒。敵入本館。撥石油潘圍放火逃走。登時發見。不至大事。即內搜查結果。發見抗日會員行爲。知係抗日會一派所爲云。

以示線。吹入應援演說。配付全國云。

吳、閻到大同
吳且到平

二十四日北平電。吳佩孚。昨夜。閻錫山本日午後。先後到大同。作有意義會見。吳氏一兩日中。且來北平云。

長崎臺灣間
交涉航船

長崎市港灣課長正木久雄氏。長崎商工會議所理事鈴木包致氏。因長崎臺灣間定期船開拓交涉問題。日前來臺。訪殖產局交通局。兩氏謂一昨年芭蕉交關以來。臺灣各位道好。故今特來。且交涉直航船問題。本島與長崎貨物交易。漸次增加。昨年臺灣配到二萬五千噸。但覺其少。就中米占大部分。次則砂糖。芭蕉。蕃薯。雜貨。米糖乃季節的之物。若直航船開通。則芭蕉爲標準貨物。本島芭蕉。得一大販路。切望此直航船開通。已同同業組合聯合會其他各方面交涉。陳情云々。據交涉自所望。乃欲使內臺航路船。寄港長崎。北事能否。一在長崎貨物消化量如何耳。鄧商船宜十分調查。又正木。鈴木兩氏二十五日乘船歸去云。

製帽功勞者
洪氏老婦
受當局表彰

新竹州下。現在製帽事業。年額三百萬圓。職工二萬數千人。爲一絕好之家庭副業。但此製帽業。得盛至如今日者。實蓋出乎一婦人努力之賜。考案者爲新竹州苗栗郡苑裡庄人洪氏銓。年七十九。洪氏於明治五年。以大甲藺爲原料。[illegible]

子二箇。是爲全島編帽之嚆矢。其後再苦心研究。遂得若今日之大甲帽。廣紹介于世上。爲地方產業大功勞者。今也。洪氏。年老耄。無遺族。三餐不繼。該地人士。應不置之不問。據聞州郡當局。且欲爲洪氏。講表彰及慰安之道云。

上。以助役張有火氏。充爲議長。午後則庄長陳挺搖其。木身當之。自開會迄照庄當局所提出議案。配付於各員審議。然議員十五名中。雖僅八名之出席。因其質問戰所供。延至午後六時。尙不見解決一件。殊如就校業科撤廢問題。橋梁修繕問題。基本金造成問題。公學校長之無理命生徒退學問題。及其他數件。由一番之陳情批判。七番之陳慶宗君。八番之郭守君。十三番之高漢德君等。猶爲攻擊。結局豫算案中之橋梁費抽去三百圓。入橋梁修繕費。終照原案通過可決。至當夜十二時過。方得閉會。

照南丸
歸高雄港

督府水產試驗船照南丸。自遠洋漁撈二日。北高雄港。向南洋方面。行試運轉及漁場調查。凡五十三日間。航程八千海里。寄港于南洋各地。收穫想以上好成績。去二十三日。無事歸高雄港。

林總領事
歸臺

臺灣駐在中華總領事林紹南氏。按去二十四日本朝基隆入港之長沙丸由上海歸來。上陸後。臨基隆中華會館之歡迎會。然後乘自動車。歸抵臺北領事館云。

永靖協議會
攻擊猛烈
爲學童退學等項

例年猛烈質問之員林郡永靖庄協議會。月二十三日午前十時。開第二十三回協議會。於當地保甲事務所。午前中。因庄長便宜

板橋街協議會
多延一日

既報海山郡板橋街協議會。因議論百出。豫定一日間終結。竟至延長。此爲向來未有之事。蓋亦議員熱心所致。翌日午前九時再開。依然如前日辯論負擔過重。全員一致要求減削。勢甚不穩。是故時常休憩妥協。郡則以松野郡守當斡旋之役。詳爲說明該街稅率。實爲州下之輕者。且爲郡下五街庄之最少者。力求照原案贊成。至午後五時。除旅費。勸業費一部修正而外。各依原案可決。本年度之豫算歲入八萬四千五百九十一圓。歲出經常部五萬八千八百四十二圓。臨時部二萬五千七百四十九圓。臨時豫算主要爲御大典記念公會堂建築云。

創設販賣組合
改善製茶受授
石門信組新計畫

臺北州淡水郡石門庄。爲茶之產地。一年粗製茶生產九十餘萬斤。其中四十萬斤。[illegible] 頗爲。組合員外茶業者大受打擊。是故爲圖茶業發展。[illegible]

資組合。鈴樹淡水郡守。去二十二日。與臺北州當局。種々要議。州當局爲關于製茶改善。亦希望早實現。爲此。近將開總會之石門信用購買組合。決將株金二十圓。降爲十圓。圖一般加入者便宜。自來四月春茶起。開辦販賣組合事業。又同組合製茶。委部蒐集。搬至於產業組合之臺灣茶共同販賣所委託販賣。故其事業開辦同時。於製茶受授上應一大革新。依此成績如何。臺北新竹兩州下其他組合亦應受此刺戟設置販賣組合。頗爲茶業界所注目云。

平塚新長官
參拜神社
視察陳列館

平塚新總務長官。照所豫定。二十四日午前九時十五分。由官邸出發。深川事務官同導。正式參拜臺灣神社。然後赴明石總督墓地。九時五十分。往建功神社參拜後。同十時。歸邸。午後受三三來客訪問。同三時。往商品陳列館。爲非公式視察。又夫人亦受赤十字社三浦主事同導。正式參拜臺灣神社云。

新港信組總會開事
幸依制服巡查要爲取締
理監事由郡庶務課長指名

嘉義郡新港庄新港信用組合。第十六回通常總會。二十三日午後二時三十五分。開於同庄戲園。有臺南州藤木屬。嘉義郡長谷川庶務課長等列席。組合員七百一名中。出席三百九十二名。委任狀百六十二名。到到。組合長洪炳氏述開會辭。報告組合狀況書記陳陸氏。報告事業及貸借對照。監事林甲炳氏報告監查經過後。入議事審議。本年配當金八分。各照原案可決。但組合員之反對派李開泉。反對組合長爲議長。欲由組合員中選出議長。並要求說明貸金之名。次役員改選。組合員希望一任監督官指名。其中陳灑川。躍起反對。向監督官請緊急動議。同派有十數名。頻同附和。大鬧會場。幸有制服巡查臨監。始免滋事。後一派擊破會場門潰出。結果依產業組合法之多數決。由長谷川課長。指名發表如左。組合長理事洪炳。理事林溪和。同林炎。三氏重任。同林在。同鄭錦昌（二氏新任）。監事林甲炳。林蘭芽（二氏重任）。何文彬氏新任。評定委員。郭寬容氏外十五名等。議畢。長谷川課長一場訓示。及注意組合員勿以黨派感情。擾動組合。乃爲自治精神。至四時四十分散會。

新營建組總會
改選役員

[illegible]

發見生阿片
出七千餘圓
求釋放

基隆水上派出所米良巡查。和田三巡查。風聞有阿片密輸人。去二十日臨檢入港之盛京丸。檢舉華人賣藥商張欣榮。年四十六。搜查懷中。發見有生阿片數兩。欲帶往木署取調。張即提出中國中南銀行小切手及現金並其他。約七千餘圓。欲贈與三巡查。求爲釋放。終被拘往木署。山安武刑事主任指揮。向各方法。搜查共累者。然難得其犯。去二十三日先附以即決處分云。

一時。在組合內開催。山口郡屬。山口勸銀主事。鈴木商銀支店長。大東信託呂主事等臨席。總代員七十名中。出席者五十九名。沈組合長就議長席。述開會辭。次報告經營狀況。事務李瑞霖氏說明各項畢。移入附議事項。第一號至第八號承認。協議事項雖有二三質問討議。結局一瀉千里。俱照原案採決。唯對前任事務理事沈森其氏贈呈賞與金之動議。沈氏辭退絕對不受。

遭難豐漁丸船員
似五名上陸海南島
廣東總領事照合督府

既報高雄市湊町濱崎秋造氏。所有之發動機船豐漁丸。本月五日。出港高雄途中機關障礙。漂流中。去八日被八雲丸發見。乘組員七名。僅救助二名歸港急報。後急派搜查船往救。更不見端緒而歸。去十八日。督府接到廣東領事照會。是日有船籍在高雄港之精四丸。乘組員五名上陸于海南島。於是高雄警察署。去二十四日。調查船主及其他結果。右似豐漁丸乘組員。爲是乘組員家族。非常喜躍云。

色鬼被拘

新營郡柳營庄太康人蔡萬財（俗稱德因）年近而立。月三日。[illegible]

各總代員咸稱其功績。遂決議贈與記念品。理事一名補缺選舉。委任官廳指名如左。又監事任滿改選。四名中三名照舊重任。一名投票當選如下。理事岩木正忠（新）。監事林慶期（重）。同沈選尚（重）。同李行五（重）。同沈德民（新）。

同藝相妬
持刀登門傷之

嘉義市西門町莊縱菜林木桂。年二十六。與同町同業余大福。年二四。有舊怨。去二十三日。午後十時半。林酒醉。持營業刀到余家。刺傷天福左手。約三寸長重傷。入同生病院。治療三週間。木桂被西門町派出所員。拘入司法室取調中云。

虎尾信組
總代會黨爭
非幹部派大勝

既報去二十三日午前九時起。在虎尾信用購買組合會議室。虎尾信用購買組合第九回總代會。是日未開會以前。卽空氣險惡。非幹部派巨頭甘文芳氏。借黨與數名。進入場中。各帶總代委任狀。不聽議長及監督官廳制止。任意據議席。結局幹部派亦無如之何。途中甘文芳氏。因事故中途退席。而非幹部派一邊鬪士。對事務所提出之案。一々抓以辯駁。及至監事選。結局非幹部之吳興旺氏。以最高點入選。其次如廖其美氏。林英二氏。皆照豫定所希望入選。監事一席。結局全被野黨獨占。然後散會。

新店信組總會
配當八分
組合員緊張

文山郡新店信用購買利用組合。去二十四日午前九時。於公會堂。開第十三回通常總會。組合員約四百名出席。黃組合長。敘禮後。挨讀戊申詔書。旅非郡守。先陳希望。崇理事。說明事業報告書剩餘金處分案。配當八分。對監事。報告監查情形。既而組合長。就議長席。諸以 [illegible]

質問。議長一々答之。表彰前年度貯金最多額者林魚氏。贈銀杯一箇。次議々事細則制定之件。全文二十二條。且讀且說。求爲可決。非細金。蘇海水兩氏。各有提議。於是指名十委員。付託審議。報告明年總會。此時議場漸擾。次議借入金最高限度。及對組合員貸附金最高限度。一如前年。定款變更。即改爲持分不均一。退職役員慰勞金。中對舊事務。決定贈一千圓。及專務手當。月九十圓以內。條給氏。有所希望。又次理監事信川郡定員任滿。議長諸以選法。行主公選。然以數少。乞委郡守指名。乃理監事十名。乡己辭退。此時議場又擾。經郡守。及協會木川氏勸告。郡守尊述訓示。食以點終。二而以食務給組合員。一而開筵饗來賓。午後三時頃。大第退散。結局此番會議。組合員頗緊張云。

新莊街
協議會
議至午後九時

新莊郡新莊街協議會。去二十三日上午十時。開於當街役場樓上。是日河野郡守。與北島庶務課長。並郡之街庄主任。以監督官臨席。先由阿久根街長。宣告開會。就街中概況。及七年度之豫算編成大要。略爲說明。即行提示第一號。昭和五年度歲入合計六萬七百六十五圓五十二錢。歲出經常部。三萬八千三十五圓二十四錢。同臨時部一萬三千三百九十圓七十錢。計五萬一千四百二十五圓九十四錢。扣起殘額。九千三百三十九圓五十八錢。爲翌年繰越決算。後入議事進行審議。爲諸第一號昭和七年度歲入十五萬三千五百八圓也。歲出經常部四萬三千六百九十八圓。同臨時部。金十萬九千八百十圓。合計金十五萬三千五百八圓。次附議諸第二號。街稅賦課之件。諸第三號。借入金所關之件。諸第四號。繼續費年期。諸第五號及支出方法所關。諸第五號。吏員退職給與金遺族扶助料給與基金積入規程。諸第六號。市場條例改正所關。至午後九時半。俱照原案可決。旋在蓬萊閣開慰勞宴。歡飲至十一時餘散席。

員林信購
配利年九分
定組長機密費

[illegible]

於員林公學校講堂。州有森產業主事。郡有石井郡守以下數名及諸來賓臨席。又二百九十一名總代員中有二百七十三名出席。當組合長張演輝氏。因有故缺席。以常務理事張海林氏。爲議長。照所定議事進行據問。所決定事件。除應有而有而外。爲監事出勤手當。一日二圓五十錢。評定委員出勤手當。一日二圓。及組合員除名處分。爲期交通安全。應員林街役場要求。以無利子。借付於役場二千圓。爲造橋費。有擔保貸付金過期整理方法。決定以時價買受。對組合長。年支給六百圓之機密費諸件。有各項事後。入臨事改選及評定委員補欠選舉。滿場同意。一任組合長指名。然監事則依記名式投票。選舉結果。張湖氏以二百二票爲最高點。林天爵氏以百五十三票。張芳印氏以百二十一票各重任。池浦利三郎氏由內地人間選舉結果以三票當選新任。午後六時。全部終了閉會。同組合。貸付金六年末現在。有百餘萬圓。組合員貯金八十萬圓。配當金在臺中州下最高之九分。組合員咸滿足歸去。

阿里山
放火案續聞

既報嘉義郡阿里山眠月。放火俱樂部。燒死大龍蛑吉一案。其後檢舉嫌疑者內地人三名。更搜查諸證據。已得解決曙光。又川川臺南州刑事課長。去二十日再入山。赴現場與他係官。搜查證據。去二十二日下山歸南。所談如左。搜查行兇者範圍。亦大縮小。但無何等物質證據。被害者爲白骨。故難判斷。然已得曙光。又嫌疑者三名。是夜十時頃。與被害者大龍。自阿里山。到眠月。內一名留于眠月。餘向燒失之俱樂部。而現場附近有大谷宅。再離約三丁。爲三階建及工夫家屋。是夜大谷滯眠月。而三階建及工夫家屋。皆無異狀。結果目下嫌疑者三名中。內二名乃至一名。似得判斷爲共犯也。

北港信組
總會配利七分
動議監事重任

北港郡北港信用組合。月二十四日。午前十時起。假北港公會堂。開第十七回通常總會。監督官阿部郡守等出席。[illegible]

一同承認。國弘。吳三監事登壇。報告監查狀況。次入議事。百九事項。雖有二三質問。置以一瀉千里之勢。照原案可決。於只會議一旦終了。未有阿部郡守訓示。于午後〇時半。閉滿散會。又剩餘金處分案中。配當議決七分。又監事任滿。改選之件。依動議議決國弘吳彰德兩氏重任。

竹山公會堂
先築本館

竹山郡竹山公會堂新築問題。因朝倉郡守。長谷外數氏之努力。近始略有成案。然後築先築木造本館。其地址豫在圖書館及俱樂部附近。卽公學校前空地。擬將提出來二十七八日。街庄協議會討議。後則欲著手興工。總工事費九、二六五圓。總坪數一三一坪五合。本館七〇坪六、三〇〇圓。玄關六坪四八〇圓。附屬廊下。五五坪五合。二、二二〇圓。工事監督費二六五圓。

蘇澳
糖組許可

既報蘇澳郡下東澳糖業組合。昨年由雷爲福氏外三十四名。提出申請許可。至去二十日。已受臺北州批准許可。現該組合。已漸進行諸事。按至本年一月末。預定栽培甘蔗四十甲。

信組金融

蘇澳信用組合昨年末現在貸付金七十二件。回收一千二百六十圓。新貯金九六件。五千百五十四圓五錢。舊貯金額出百六十七件。四千九百二十八圓四十六錢。至本年一月二十二日。新貯金受拂對除殘高。金一萬五百七圓三十四錢。舊貯金額出九千二百十六圓六十八錢。

東石
漁魚入網

東石郡東石港在籍發動機漁船。因昨年末信魚捕獲無多。漁船主及從業員皆焦慮不安。爰于去十八日以來。再整網出漁近海。從事延繩漁業。聞每日捕得鯊魚約近萬斤。漁組合除拂出。每日仍買人出入頻繁。雖魚價低廉。然漁村有此巨款。景氣略可挽回云。

巡視防遏

東石郡警察課去二十二日招集郡下監視區監督警部 [illegible] 補巡查部長等。自午前八時。乘自動車。巡視郡下猿疫防遏。並各部落投良村。

會　事

▲嘉義郡民雄庄陳示榮氏。今回創設殷米當行小組合。定來二十七日午前十一時。舉發會式。而同庄落成。亦已成立。定三十一日午前十時發會。

▲大日本武德會臺灣地方本部新竹支部主催之新竹州下警察官及刑務所職員聯合柔劍道對抗試合。二十三二十四兩日。開於新竹演武場。第一日午前八時開會。一同整列後。向武神敬禮。鈴木警務部長述開會辭。由前回優勝之大湖郡（柔道）及竹東郡（劍道）返納優勝旗。鈴木部長代理文部長訓示。於是開始試合。第二日繼續比武。發表成績。授與優勝旗及賞品而散云。

▲宜蘭郡聯合同風會主催。二十四日午前九時起至正午。於宜蘭小學校講堂。開郡下女子青年音樂會。招請各界多數臨席。

人　事

▲新竹市屬森崎元長。此回任竹州屬。給五級俸。旋其後任。市屬川州屬轉任。▲命爲竹市財務課稅務係長。

▲宜蘭街第八保保正黃北氏。者番辭職。其後吳番氏中選。日前成友爲開祝宴。並演本島劇。活動寫真。黃氏織開披露會。

▲臺中地方法院。竹山出張登記所主任。新規氏。爲臺中縣森氏襲之。去二十三日。交代赴任。

▲今回臺南州新營郡庶務課長轉州勸業課勤務。去二十四日午前中赴任。其後任者。即虎尾郡農務主任平井卷氏。去二十三日來任。同日午前十一時頃。在同郡樓上。對同郡役所員及各團體職員敍禮。又平川氏。自退院以來。尙靜養中。乃廢止餞宴。改全部贈呈紀念品。

▲由臺南州警部。榮轉臺北州警部。乘督府務局勤務）伊東前東石郡警察課長。去二十三日午前出發至南。來朴子。午後八時。列席郡警察幹部送別宴。後驅自動車到嘉義驛。搭夜行列車赴任。

廣　告

生徒募集　晝間二月廿五日　夜間每月十日開始
活動寫眞應用自動車解說フイルム（全十三卷）
臺北市建成町三丁目二番地（電話四〇六九番）
公認　東洋自動車講習所
所長工藤士　津ノ島　數太

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

發行兼編輯人

臺北市榮町　臺灣日日新報社

婦人世界

何が彼女を教師から遊女にしたか？　古賀殘星

定價五十錢　送料三錢　東京市芝區愛宕下町二ノ二七　婦人世界社

◎二錢から六錢で出來るお惣菜料理卅種

◎暖めて食べられる子供のお辨當

◎母のする愛兒の性格教育法

◎小學校を巣立つ愛兒を持つ兩親へ

わが子を文部大臣に育てる迄　鳩山春子

懸賞當選　郷土の誇り十錢玉　わが家の五ケ年計畫

諸難撃退の秘訣

◆時事問題の解説　前田多門
◆金輸出再禁止は臺所にどう響くか
◆家庭生活を脅かす關税戰爭の話
◆百貨店に咲く女性近代色　長田幹彦

岡田嘉子の戀愛受難（白川忠哉）

◆萬病のもと寒冒に對する心得
◆唇の形による口紅のつけ方
◆顔に調和した眉の描き方
◆冬に罹り易い小兒病の豫防と手當
◆流行型女兒帽子の作り方
◆東北の飢餓線上を横切る
◆衣服整理十二ケ月（二月の卷）

手藝講座（土屋許子）

變つた婦人の生活めぐり
（一勤勉純朴の小原女と嫁入り支度を稼ぐ牡蠣剝一）

武林文子への絶縁狀（近藤浩）

花形選手の母を訪ふ（織田幹雄と中西みち子）

◎スペードの女王　大佛次郎
◎鳩笛を吹く女　吉屋信子
◎焰姫　三上於菟吉
◎防風の花　吉田絃二郎
◎半處女　丸木砂土
◎咲かない戀　高田稔
◎四人姉妹　松本惠子

二大附錄

小脇俊子女史創案（七、八才女兒用ジャンパー）
着色假縫型紙實物大一種

アイロン轉寫式印刷刺繍圖案型紙三種

大發展御禮

婦人倶樂部　二月號の四大計畫

有益！バカ安い！と到る處
湧き立つ大人氣
二大附錄つきでタッタ五十錢の大奉仕！

（1）別冊附錄
科學的　身の上判斷　相性判斷
（佐多医學博士の実際的大研究の新著）
此の一冊、縁談と世渡りの活指針！

◆身の上判斷相性判斷の仕方
◆顔の表情で見分ける人物判斷
◆口つきで見分ける人物判斷
◆毛髪と髭で見分ける人物判斷
◆胸と腹で見分ける人物判斷
◆體質と氣質の見分け方
◆眼と眉毛で見分ける人物判斷
◆額で見分ける人物判斷
◆音聲で見分ける人物判斷
◆手と足で見分ける人物判斷
◆頭のよしあしの見分け方
◆鼻で見分ける人物判斷
◆耳で見分ける人物判斷
◆頸で見分ける人物判斷

（2）別冊附錄
毛絲編物実物大型紙（三種）
どんな素人も見ればスグ編める新發明の型紙

（3）
刺繍入塩瀬の帶一千本贈呈大懸賞
丸帶　五百本
片側帶　五百本
ハガキ一枚で手に入る

（4）
物の經濟な使ひ方全集
婦人これを知らねば一生の大損
斯道の權威二十四名家が體驗の秘法悉く傳授！

▲クリーム・化粧水の使ひ方
▲ふけとり香水の使ひ方
▲洗粉のむだのない使ひ方
▲石鹼を經濟にする洗濯の仕方
▲洋服の襟垢の上手な除り方
▲味噌、醬油の徳な使ひ方
▲鰯の頭で美味しい煮出し法
▲貝類を軟かくする早煮法
▲下等肉の美味しい煮方公開
▲野菜類の經濟な使ひ方
▲玉子の量をふやす使ひ方
▲酸くなつた甘酒の直し方
▲かび餅を搗きたての様にする法
▲疲れた揚物油の生かし方
▲炭火を長もちさせる法
▲徳な焚き付けと煖爐の徳な使ひ方
▲ガス石炭マキの經濟な使ひ方
▲電氣が得なアイロンの使ひ方
▲水道料金を經濟にする使ひ方
▲洋傘の長もちさせ方と買ひ方
▲靴の上手な保存と若返らせ方
▲固くなつた靴墨の生かし方
▲キルクやフエルト草履の若返らせ方
▲長もちさせる下駄のはき方
▲ネクタイの長もちさせ方
其外二十餘項あり

右大計畫の外にも此の名記事！

◎榮譽に輝く奥樣訪問記
◎時事問題早わかり
◎模範的夫ぶり新妻ぶり
◎お嫁入り準備學問
◎子供を良くする大座談會
◎良い子を安産する新胎教
◎不思議に効く民間療法
◎一流美容師の自身の冬のお化粧
◎人氣女優の常の髪畫報
◎新考案の毛絲手藝十種

尚この外大評判の名小説、名記事、畫報等多數！

賣切れぬ中大急ぎ!!

御注意！　非常な賣行でお早くお求めにならぬと賣切れになります。

ゆたかな泡立ち　氣高い香り

クラブ石鹼

眞白な泡のこまやかさ
洗ひ流したさわやかさ
花の香りがほのぼのと
珠の肌に匂ひます
・クラブ石鹼・

新形　正價二十錢

鎭咳祛痰劑

ブロチン

醫學博士吉村喜作氏の創製に係り、發見以來既に十有餘年多大なる信頼の下に我が治療界に應用せられつゝあり

適應症

肺結核、氣管枝炎、肺炎、感冒、百日咳、並に其他呼吸器病に基因する咳嗽喀痰ある場合等

效果佳良にして副作用絶無、氣味コヽアに類し、甘味を附すれば小兒も喜んで服用す

粉末、液劑、錠劑、ボンボンの各種（説明書進呈）

三共の藥品

東京・室町
三共株式會社
大阪・臺北・新京

金言マッチ

マッチがたとか　がたとか

ポケットにもお座敷にも
しゃれた金言マッチ時代
仁丹一錢分を含んで而も……二錢

Tinfan

タンセキに呼吸器散

セキは一回毎に疲勞し、病弱者は急激に衰弱を來す

本劑は咳嗽、喀痰、氣管支加答兒、ゼンソク、百日ぜき等に卓效あり、極めて適確、且つ迅速なり

●價　二十錢・三十錢・五十錢・一圓

壹千圓以下の資本で

儲る「コナ石鹼製造業」
月百六十圓以上の儲け

中央化學工業研究所

大阪商船出帆

近海郵船出帆

ローザンヌ會議の目標
世界經濟界への影響は重大

一

スヰスのローザンヌにおける賠償及び戰債問題を再吟味すべき重要國際會議は、愈々二十五日を以て開會されることになつて居た、これは當面の立役者たるドイツのブリユーニング首相を始めイギリス、フランス、イタリー三國よりもそれぞれ首相たるマクドナルド、ラヴアル及びムツソリーニの三君が出席すべく唯だ米國代表者の不參加が明白となつたので、聊か期待はづれの觀があるが、それなら米國に對しての戰債債務國たる歐洲主要國の代表者だけで議を取極め、一致の態度で米國に當らうといふ段取となつたのである。

二

人も知る如く、米國フーバー大統領は昨年六月二十日を以て、賠償金及び戰債の支拂を同七月一日より向ふ一ケ年間猶豫する旨を發表した、所謂フーバー・モラトリアムといふのがそれである、財界經濟界の深刻な不況に惱んで居た世界各國は渡りに船と大歡迎をなし、戰債及びドイツ賠償金に關する限り、關係諸國の間柄にかても同期間の支拂猶豫を行ふこととなつた、之が爲め一時所謂フーバー景氣なるものが現出し、株式界や金融市場などが一齊に大活況を見せ、さしもの不景氣も之に依て何だか吹き飛ばされさうにも見えた、然るに此の支拂猶豫期間もここ五ケ月餘で切れて了ふのであるから、之を更に半ケ年若しくは一ケ年を延長して貰はうといふのが、ローザンヌ會議主要目的の一である。

三

次にドイツは世界經濟界の窮迫は其の後益々度を強めて來た、フーバー・モラトリアムに依て年次賠償金十八億マルクの支拂が一ケ年間延期されたにも拘はらず、國内資金の海外逃避極めて猛烈となり年初以來七ケ月間で短期資金の回收、外人の對獨預金引出、ドイツ人の對外投資等で其の額約卅五億マルクにも及んだ、之が爲め幾多有力銀行の破綻等となり、經濟界の惡化は殆んど其の極度に達した、爾來ヒンデンブルグ大統領が世界に類例なき一種の國家經濟管理を斷行する緊急令を發し、物價、俸給、家賃其の他一般債務に對して強制的引下げを要求したのも之に對する最後の非常手段であつたのである、斯る狀態から見て、ブリユーニング首相が新年早々ドイツは到底賠償金支拂の能力なしとの悲痛なる聲明を爲したのも寧ろ其のところでなければならぬ、この切迫せる窮狀に對し何等か打開の途を講じ、自他共に救援せんとするのも今回の會議の目的である

四

歐洲諸國が米國に負うて居る戰債は、そのドイツよりの賠償金を引き當てにして居るのであるからドイツが賠償金を支拂へ得ぬこととなれば自らも米國に對して戰債を拂へぬこととなる、歐洲諸國がドイツの支拂能力缺如せるを充分知りつつ、依然として回收の手を緩めないのも、主として之が爲めである、是等が世界的不景氣の依然として立ち直らぬ原因となつて居ることは政治家も學者も一致して居る見方であるやうである、併し米國から見れば戰債として受取るべきものが二百十三億弗位であるから、之を一擧に棒引するの至難であることは改めて言ふ迄もない。

五

大戰後間もない時分に、イギリス政府は歐洲諸國への貸付額百十億圓の戰債は棒引するから米國でも棒引をやらぬかと提言した、之に對してあのウヰルソン大統領でさへ自分は兎も角もとして、それは米國國會も國民も承知すまいと逃げた、更にいまのフーバー大統領に至つては斷然不同意を表し、『世界の信用はかかる行爲で高め得られるものでない、賠償問題は全然歐洲だけの問題で斷じて米人の關係したことではない』と聲明して居る、米國は即ち戰債は戰債、賠償金は賠償金だと飽くまで債權國らしき見解を取り、殊にフランスの如きは戰債と賠償は不可分の問題で、二にして一であるとの見解を取つて居る、故に債權國と債務國とのハツキリした見解の相違となつて現はれて居るもので、これは容易に一致を見る事の出來ない性質にあるのであるが、併し姑息なやうでも支拂猶豫の期間を出來得る限り引き延ばし引き延ばして行くことだけは、相談が出來ぬでもあるまい、今回のローザンヌ會議の狙ひどころも先づ此の邊かとこと見て好から、此の會議も開會間際に至つて延期論も出たやうであり、又た本文起草までには豫定通り開會するやうな確報も入手して居ないが、兎に角此の會議が如何なる成果を結ぶかに就いては世界經濟界の今後の爲めに深甚の注意を拂ふの必要がある。

満足出來ぬ回答なら
交渉は即時決裂と決定
村井總領事から發表

【上海二十五日發電通】二十五日午前村井總領事は市長吳鐵城を訪ね支那側の回答を促し若し回答が日本側の満足出來ぬ時は即時決裂するやう決定した旨發表された

租界外居住邦人には
引揚げ命令を發せん
吳市長の回答不滿足なれば

【上海二十五日發電通】村井總領事は支那側の都合で午後三時より市長吳鐵城と會見するに決した、吳市長の回答不滿足ならば同總領事は直ちに租界外居住邦人に引揚命令を發し今明日中に最後通牒を發し愈々自衛權發動に迫へるに決した

日報と抗日會は封鎖

【上海二十五日發電通】共同租界工部局外國人市參事會は二十五日午前十一時五十分開會、民國日報手入れと排日運動取締に關する我陸戰隊の要求に付き協議の結果

一、民國日報は不敬事件、陸戰隊侮辱事件は勿論その他排日を煽動し租界の治安維持を妨害する行爲多き故工部局をして自發的に同社を直ちに強制封鎖せしむ

二、租界内天后宮にある抗日會本部も租界の公安を害する行動を執り居れるを以つて之も同樣強制閉鎖する

と云ふに決定發表された、市參事會の態度は日本側の主張を容れ飽くまで我陸戰隊と協力する方針で從來支那町から租界内に入込んでゐた支那軍警の租界入を嚴重禁止することになり民國日報と抗日會本部封鎖は陸戰隊と打合せの上今明日中に決行する筈

對日回答の猶豫を求む

【上海二十五日發聯合】村井總領事と上海市長吳鐵城との會見は午後三時三十分から四時四十八分まで續けられたが右會見で吳鐵城は對日回答は暫らく猶豫されたき旨を求めた由である

最後通牒につき請訓

【上海二十五日發聯合】本日の會見に於て支那側の態度は全く誠意なきこと判明したので村井總領事は更に期限付最後通牒を發することに決し直ちに政府に請訓した

公使の愛犬が最初に發見
重光公使官邸の放火

【上海二十四日發電通】重光公使官邸の放火を一番最初に發見したのは公使の愛犬で盛んに燃え上る火を目敏くも發見し吠出したため警備のものが駈けつけ辛くも消止めた

犯人は二名

【上海二十四日發電通】公使官邸を襲つた抗日決死隊員は二名で午後六時四十五分裏門の塀を乘越え邸内に潛入したもので國民自動抗日義勇軍決死隊員邵麥文、張甫生の二名と判明した、右は現場に動かし難い證據品として爾刑、石油等の外同記隊名の入つた鐵色[illegible]上衣二着抗日會證徽章、ピストル一挺遺留されてあり官邸裏門入口にはビラが貼つてあつた

口頭や文書では駄目
陸戰隊首腦部語る

【上海二十四日發電通】公使官邸燒き打事件に關し陸戰隊首腦部は―事茲に至れば國交斷絶宣布以上の大事件だ、最早口頭や文書では駄目だ―と語る

公使歸來の上で抗議
守屋一等書官語る

【上海二十五日發電通】上海に於ける公使事務代理守屋一等書記官は―[illegible]今回の事件は一國の代表者に[illegible]危害を加へんとした事件とは異り非常に重大性を伴ふものであるが而して上海にて起つた事件故一應總領事の手で交渉すべきものと思ふが二十七日重光公使が歸來するのでその上で抗議することとならう

孫科も近く辭職

【南京二十四日發聯合】外交部長陳友仁が辭職した結果行政院長孫科も辭職する事となるべく後任[illegible]

日本が上海を占領すれば
支那は飽まで抵抗
强硬態度を汪兆銘語る

【南京二十五日發電通】汪兆銘は二十五日次の如く語つた

政府は上海の事態に深甚の注意を拂ひ居り、若し日本が同市を占領せば支那軍隊は飽くまで抵抗に決し政府は如何なる犠牲を拂ふも强硬態度を持續するに決した

督府の實行豫算
總額九千萬圓程度
殘りは追加豫算として臨時議會の協賛を求めん

【東京二十五日發支局特電】政府では金の再禁止問題、緊急事項に付帝國議會との關係上之を取急いで居るため未だ來年度實行豫算の方針決定の段取りとならないのであるが、恐らく來る金曜日の閣議あたりで之が方針を決定し各省とも直ちに實行豫算編成に着手することになる模樣であるが、大藏省の查定を經、閣議の決定を見るは二月初めならんとみられてゐる、勞、督府實行豫算編成に就ても目下形式的豫算の狀態であるが、恐らく實行豫算總額は九千萬圓程度のものたるべく、一方不成立豫算中より實行豫算を差引きたる殘りの大部分は追加豫算案として來るべき臨時議會の協賛を求むべく目下整理中であるが、其の主なるものは[illegible]費總額四十九萬圓（來年度十六萬七千圓）桃園埤圳補給工事二十萬圓、臺北新莊街水道工事補助二萬三千圓、基隆漁民住宅建設費補助三萬二千圓、重要河川工事補助十二萬四千圓、阿里山其他警備人取締の新費六萬七千圓等でこれら豫算不成立の結果其着手期が一、二ケ月遲延するばかりでなく今回内閣更迭の結果は或は多少變更するやも知れない

最惡の場合でも
二百五十名を獲得
政友會の當選豫想

【東京二十五日發電通】政府及び政友會は必勝を期して候補者の嚴選公認の發表に重きを置き嚴ひに應じまんとしてゐる、久原幹事長は候補者の詮衡に當りては一切の情實を排し當選第一主義を執り地方支部の意向を尊重し本部と支部の連絡を圖り尚内務省との間は松野政務次官内閣側とは森書記官長が連絡任となつてゐるが、遲くとも二十七日か二十八日までには第一回公認候補の發表を見るべくその當選豫想數は二百六十名である、尚最惡の場合の基本數は左の通りである

	解散前	當選豫想
關東	三二	四七
東北	三一	四一
北信	一五	二四
東海	一六	二五
近畿	一一	二〇
中國	二六	三三
四國	一〇	一六
九州	三〇	四四
合計	一七一	二五〇

民政黨の豫想
最少限度二百二十八名

【東京二十五日發電通】今回の總選擧に於いて民政黨は現有勢力の二百六十一名維持を目標に進むことゝなつたがこの間干渉壓迫等を見込み最惡の場合を豫想して計算しても最少限度二百二十八名だけは獲得し得る確信ありとしてゐる而してこの場合安達一派並に無所屬革新その他の中立當選豫想を二十名と見る時は政友會の當選數は二百十八名となり十名の差を以つて民政黨の勝利に歸する譯である結局現有勢力の二百六十一名より三十三名を減じて二百二十八名の比較的多數を獲得することとなつてゐる

立候補者黨派別

【東京二十五日發電通】立候補者黨派別左の如し

政友	七七	民政	七五
社民	七	大衆	四
革新	一	安達派	三
中立	七		
累計	一七四		

盛岡から
藏相を立たす
委員上京して交渉

【盛岡二十五日發電通】[illegible]に決し委員を上京せしめ交渉することとなつた

加藤松岡兩氏
立候補斷念

【東京二十五日發電通】勞農大衆黨は第一回普選以來勞組の支持を受けて際どい所で落選して三度目に今度こそはと自他共に許した勞農黨の闘將加藤勘十氏を推薦公認し又社民黨民衆黨は總同盟の大御所として斷然勢力ある松岡駒吉氏を公認したに拘はらず共に立候補を斷念した

麻生氏出馬

【東京二十五日發電通】全國勞農大衆黨は加藤勘十氏の立候補斷念に依りその代りとして麻生久氏を東京府第五區より立たしむるに決し麻生氏も之を受諾した

新對日外交政策
廿五日頃闡明
羅文幹を取敢へず外交部長代理に

【南京二十四日發聯合】外交部長陳友仁は今回突如辭職離京上海に赴いたが右は蔣介石、汪精衛兩巨頭を交へた國民政府首腦部會議が陳の主張する對日斷交政策を否決し幾分穩健なる政策をとるに決した爲で國府は愈々この方針に基き二十五日頃新對日外交政策を公式に闡明する事に決定陳友仁の後任は現司法部長羅文幹が取あへず外交部長代理に任命される事になつてゐる、本日の國府首腦部會議で蔣介石、汪精衛兩巨頭交々立つて長時間に亘つて現下の日支關係につき所見を開陳し對日斷交の如き政策を除けるに決定したものである

臨時閣議
上海事件で

【東京二十五日發電通】二十五日の臨時閣議は午前十時より開會、大角海相を除く犬養首相以下全閣僚出席左近司海軍次官は上海事件に關してその後の報告を爲し芳澤外相より之を補足し今後の對策に就いて意見交換を爲し結局[illegible]策を避け今後支那側との交渉の結果に依り[illegible]居留民保護に關し適宜の措置を執る事を申合せ十一時散會

蘆田均氏
京都から出馬
政友公認候補として

【京都二十五日發電通】京都府第三區から政友公認候補として出馬する事に内定したベルギー大使館參事官法學博士蘆田均氏は目下シベリア經由歸朝を急いで居るが大連からは飛行機で乘込む豫定であるから多分來月二日頃歸著する豫定である

總督の同意を得ない
長官の休職は遺憾
事情を愼重調査する
貴院同成會の決議

【東京二十五日發電通】[illegible]

内相の訓辭
警察部長會議で

【東京二十五日發電通】選擧に對する政府の取締方針は二十五日の全國警察部長會議にて中橋内相より左の如き訓示を以つて示された我少數黨を以つてしては主義主張を實行し民心の安定を期する事は出來ませぬ、依つて議會を解散するに至つた次第です、凡て立憲政治の運用は自覺せる國民に依り公明適切なる選擧が行はれるや否やにある、然るに因習久しく法網を潜る手段益々巧妙ならんとし弊風の至りに投票買收、戸別訪問等選擧本來の使命を誤るが如き非違不法の行動は斷乎糾彈せねばならぬ言論の自由は力めて尊重せねばならぬが不逞過激なる宣傳、煽動は視察内偵を遂げ未然に防がれんことを望む

尚會議における中橋内相の指示事項左の如し

一、御警衛に關する件
二、選擧法規の周知徹底
三、選擧法規の勵行
四、言論文章の取締
五、司法官憲との連絡協調
六、選界に關する流言風説の取締

駐日米國大使
グルー氏か
ちかく正式發表

【ワシントン二十四日發電通】駐土米大使ジョーゼフ・グルー氏をフオーブス大使の後任として任命するの件に付き米國政府より日本政府に對しアグレマンを求めて來るが既に日本政府はアグレマンを與へたものと諒解される、近く正式發表を見る筈

直接交渉の
餘地はない
陳友仁が聲明發表

【上海二十五日發電通】辭表を提出した外交部長陳友仁は左の如き聲明を發した

日支國交斷絶は列國が日支問題解決の會議を開く樣になるからである、日本が取締を要求する抗日救國會は愛國心の發露で政府は如何ともなし得ず、日本が最後通牒を突付けたのは中央の分裂を來さしめんとするためで日本との直接交渉の餘地は全然ない

本庄司令官から謝電

臺北市協議會の決議に基き内海市尹より滿洲軍に對し慰問の電報を送つたに對し二十五日滿洲軍本庄軍司令官より左の謝電が内海市尹宛到着した

御懇篤なる御慰問に接し感謝に堪へず、目下將士志氣旺盛御安心を乞ふ本庄軍司令官内海市尹宛

日露不可侵條約の
締結を强調
勞農機關紙が

【モスクワ廿四日發電通】二十四日の勞農機關紙イズヴエスチヤは日露不可侵條約の締結を强調した日本がロシア提案の不可侵條約を拒むならばそれは日本が侵略的意思を有することを示すものである、日本の新聞が[illegible]して右條約の締結に反對を唱ふるは諒解に苦しむ所である、米國は南支那にて漁夫の利を得ん爲め日露戰爭の起る事を望んでゐるがロシアの平和政策は今回の滿洲事變に於いて明かにされてゐると

長岡春一氏を
駐佛大使に起用

【東京二十五日發電通】芳澤外相は駐佛大使の後任銓衡の結果前駐獨大使長岡春一氏を起用するに決定した

露芬不可侵
條約内容

【モスクワ二十四日發電通】ロシヤ、フインランド間の不可侵條約の正文を二十四日發表されたがその大綱は

國境の保全、兩國の何れかが他國と戰爭を起した時は嚴正中立を守る、紛爭は總て平和的解決に依る、有效期間は三年

右條約は不戰條約の義務と反對又は之を無效ならしむるものにあらざる事を明記してある

臺南籾摺同業組合
で表彰式

【臺南電話】臺南籾摺同業組合では來る三十一日午前十時から公會堂にて從業組合員表彰式を擧行し引續き昭和六年度定時總會を開催する

本社工場參觀（二十五日）

曹洞宗臺灣中學林生徒十五名引率者長栢大雄氏

人事

▲野口[illegible]州知事　出北中の所二十五日夜行にて歸任

二緊急勅令案
精査委員會に廻付

【東京二十五日發電通】滿洲事件及び戰後基金の一時繰入停止に關する財政處分の緊急勅令案は二十五日下審査を終り金子堅太郎子を委員長とする精査委員會に廻付されることとなつた

七星郡管内の
街庄協議會

七星郡管内における街庄協議會は内湖、松山兩庄は既に終了を告げ二十六日は汐止街二十七日は士林街二十九日は北投庄、三十日は平溪庄の順序で何れも午前九時過ぎから開かれるが士林庄の如きは大に内容充實し豫算も本年は一萬圓を増して八萬五千圓の多きに上り幾多の新事業を有して居り[illegible]あるけれど郡下では豫算額の多い點において第一位を占めてゐる

萬國教育者會

萬國兒童教育會では本年七月ハワイに開かれる萬國教育者大會に出席すべき者三十名を全國の教育關係者の間から集める事にし、右に加入者は小中等學校の男女教員[illegible]に相當旅行者で旅行日數五十日右の費用は大人約五百圓である當局は石井理事長で希望者は東京牛込區五軒町の同教育會宛申込まるべしと

シナチク

◇…支那軍閥の打ち明け話といふのを本社の支那特派中から紹介する、或る支那軍參謀長の話によると「一師の軍費は先には二十八萬元であつたが後に半減されて十四萬元となり、最近は更に之を十萬元に減らした、之がため中尉以下の軍人には食費の外五元内外の小使だけ▲そのため軍隊は政府に對し大不滿である、尤も上級軍官は俸給なんか問題にしてゐない、なぜといふに中央から軍費が來ぬといふのを口實として一方では極度に軍費の徴發を行ひ他方では公然地方機關から市の中央へ送る公金を横領して了ふ次第であるから隊長級以上の軍人は今迄と變り大差はありません▲山東や陝西、甘肅地方の中央政府へ送るべき稅金は是等各省の軍閥がしつかと押へて送らない▲何成濬とか劉峙とか顧祝同などといふ連中もそれぞれ湖北、湖南、江蘇などからは更に南京政府へ稅收入の送金がないので政府の金庫は空つぽとなり財政的にまづ行き詰まり危殆に瀕して來た次第である」といふ▲福州市の大和風主行元世平君が此の間支那暴民に襲はれ負傷したとの報に本社から見舞が行つたと見へ「二十二日付で同君から本社宛に「今回小生遭難に際し早速見舞を頂き各方面より見舞を受けたが幸ひに負傷も大したことなく御安心を…」との書面が屆いた。

●洋酒專門
各種洋酒及食料品
臺北市本町二（電話）電四五五五
金伊田商店

臺北[illegible]館
公園前電話一〇七〇番

産科・乳兒科
婦人科
台北市千歳町三（市營バス停留場前）
千歳醫院
電二二〇三番

淋病梅毒外科
婦人性病科
田和皮膚科
臺北西門町三
電話二九五三番

耳鼻咽喉
隆鼻術科
台北市本町三
須小醫院
電話三二三三番

齒科
口腔科
台北市京町三
杉山醫院
電話三三一三番

東海自動車運輸株式會社
蘇澳發（下り）
◇一號便　午前八時
宜蘭發前六、四〇　蘇澳著七、二四
◇二號便　午後〇時三十分
花蓮港發（上り）
◇一號便　午前八時
◇二號便　午後〇時三十分
蘇澳發後六、四二

東台灣連絡自動車

學町三
八
洋服
洋雜貨
轉業ヂヤく賣
31日まで
御買上一圓毎に大當五百圓券と活動半額券計二枚進呈
最後のステ賣ゼヒ御早く御出でを

時局の前途—安閑を許さず

國防第一線に立つ吾人の責任や重且つ大である

新任の……後藤司令官談

【馬公特電二十五日發】二十四日午後五時から後藤要港部司令官は水交社にて部內各將校金子要港部司令官、木岡廳長、木全大隊長、三浦街長其他地方主なる官民を招待して新任披露宴を張つた際定まるや後藤將軍は今回高雄要港部司令官として重任を蒙ふことゝなつて當地に參つたのであるが責任の彌々重大なるを痛感する今後公私ともに御援助を願ひたい馬公には本日まで幾回來たことがあるがいつも艦隊員として參つたので別段の感じもなかつたが今此處に勤務する身になつて見れば其處に感興深きものがある御承知の通り澎湖は我國西南端の國防の第一線で重要地點にある今回の事變に際して益々その感を深からしむるものがある、此點に於ても官民は此の點大いに自覺して協力一致その職に努力し皇國に盡すの覺悟が必要であると思ふ私の麾下艦船部隊は目下對岸各地に出動し警備の重任に服してゐるがその休養をとる所は一に此の馬公にあるので皆さんに格段の御世話になつてゐることと信ずる今後とも更によろしくお願ひする目下の時局は混沌としてその成行については豫斷を許さない我々の考へでは更に更に紛糾を重ねるものと思はれる此際に於て國民たるもの大なる覺悟と用意が必要であると述べ金子要港部司令官は一同に代り謝辭を述べ終つて閉宴午後六時散會したが近來にない盛宴であつた

後藤要港部司令官

軍艦北上に便乘對岸へ

【馬公特電二十五日發】後藤要港部司令官は鶴岡副官を伴ひ對岸各地の警備狀況を視察のため二十五日午後六時軍艦北上に便乘出張した

電話三百箇を臺南に增設計畫

交換機も增設して加入區域をも擴張する

【臺南電話】臺南市の發展に伴ふ電話需要の完全を期すべく臺南郵便局にかける七年度計畫とさるる交換機增設に關しては新に三百箇を豫定し着々準備進捗中の所議會解散のため一時不確實な狀態となつてゐるけれど何れ新年度に入つた後政局安定の際追加豫算として提案の運びとなるべく追つては實現を見ることとなら其他に長い間懸案となつてゐた加入區域外地即ち鹽埕、桶盤淺、竹篙厝、後甲、三分子を來る三月一日より區域內に變更することとなり從來徵收して來つた電話線路維持料は今後不用となる結果として交換機增設を見る場合七年度加入者は例年より多くその申込に應ずる豫定で同局區內現在の加入者は一千百名足らずであると

灌漑地には霜害が尠い

嘉南大圳側の觀測

本月初旬臺南州下縱貫線以西における降霜は同地域全般に亘り甘蔗、甘藷及落花生等の農作物に甚大なる被害を及ぼしたが既報の如く右霜害に對する灌漑の有機的な影響が此機會に於て特殊な現象を示すに至つた、嘉南大圳當事者の談に依れば各郡よりの被害狀況報告中昨年十月より同十一月末に亘り灌漑を行つた蔗園及び同年水稻作灌漑を行つた跡地の甘蔗が著しく被害輕微の狀態であつて就中殆ど無被害地のある事は各地共通の事實であつて今その一、二例を擧ぐれば

甘蔗灌漑試驗地

東石郡蒜頭地方は被害中心地とも見られたに拘らず其區域內にある明治製糖蒜頭工場の甘蔗灌漑試驗地では前月まで灌漑を行つた蔗園は全然無被害で灌漑を行つた日時と遠ざかるに隨つてその程度が判然と增大した適切な事實を發見した

著しき灌漑效果

新化郡下の某農場新植蔗園にあつては昨年十一月甘蔗作灌漑を行つた當時耕作者側より土地に相當濕分がある故灌漑の必要はないとの申出であつたけれど地下水の飽和點地表下二米突にある爲め大圳の監視員が特に勸誘の上灌漑を行つた、然るに今回の降霜に當り甘蔗園が隣接地に比し著しく被害の輕減された事實につき其效果の豫想外に大なる事を感じてゐると

灌否兩所比較

新化郡下東勢寮監視所六分線に於ては昨年水稻作給水區內で各點在した五筆の土地に內地種水稻を栽培し其跡地に蔗苗を植付けたが降霜後の無灌漑地で然も同一人の栽培地內で而も特に顯然たる判別がつき得る程度の被害が認められその他には特別の事象が見られなかつた例がある

水稻作の影響

水稻作灌漑は昨年十月十日を以て斷水したので北勢十一月より觀察し調査の期日まで九十日を經過したけれど而且つ土壤中の濕分に以上の樣な差異のある點は灌漑の效果は今回の霜害に及ぼした關連に其效果の後作に及ぶ程度を推知する事が出來ると共に同年々時に於て降霜迄に至らなくとも乾燥低溫の際一般農作物の生育に及ぼす灌漑の效果如何を物語るものといへる

以上の如く今回の降霜に從つて一般農家は冬季灌漑の效果につき新事實を會得し得た一面被害回復の爲め此際切に給水を希望して居る右に對し組合に於ても充分其必要を認むるも灌漑休止期を利用する幹線、支路の補給工事中の爲めその要求に應じ得られない狀態だが第二の方法として極度に工事を急がしめ豫定以前に竣功の上一日も速かに給水を實施せしむる事となつた

高雄で捕つた詐欺漢松田

青島でのお尋ね者

【高雄電話】高雄警察に檢擧された詐欺漢松田光太郎は一昨年九月頃から二月頃迄青島に居住中同地金融業伊藤トシから一千八百圓を騙取した外多數の者より合計六七千圓を詐取して逃走中目下青島領事館警察で所在嚴探中のもので同地領事館では最近松田が高雄に居る事をつき止め二十五日身柄引取方を高雄署に照會して來た

紅毛港築港期成同盟會

二月一日を期し氣勢を擧ぐ

新竹郡では二十二日午前十時郡下庄長を集め多年の懸案たる同郡紅毛港築港問題に關し打合をなしたが來る二月一日午前十一時から郡下の有志者を紅毛庄に集め紅毛港築港期成同盟會を組織の上請願を提出して總督、總務長官等を歷訪陳情をなす段取となつてゐる

つて居る

新竹州の椪柑貯藏庫

利用者殖える

新竹州にては昭和六年度から補助を與へて每年五棟宛の椪柑貯藏倉庫を新設せしめてゐるが六年十二月竣功した頭分の倉庫は約十五坪のもので時期が遲れた爲下等品の椪柑約六千斤を貯藏したが當時百斤一圓位しかしなかつたものが現在では三圓五十錢に買手が付き而も充分貯藏に堪へるので値上りを待つてゐるさうである其他三湖に一ヶ所竣功し石光に二ケ所、新埔庄北打鐵坑に一ヶ所建設中であると

新竹市內に衞生組合設置

新竹市役所にては二十一日衞生組合設置に關する協議會を開き市內各派出所每に組合を設置する事となり規約の出來次第役員の選擧を行ひ二月中に創立總會を開き市役所に聯合會を置いて各組合の連絡統一、事業計畫、指導等を行ふと

支那の古曆を密輸して發覺

臺南署にて取調中

【臺南電話】臺南署では二十四日午前一時頃市內明治町三ノ一四〇陳丙茂（三〇）が臺南運河附近で支那人船夫曾士なるものより密輸品らしきものを買受け市內入船町二ノ一五一大工郭睡龍（三二）に運搬させて友人なる田町炭屋前來然方に持込んだことを聞き込み同日朝臨檢部補は全刑事と共に踏込み麻袋に詰めた古曆の密輸二百四十部入一袋を押收する外右三名を檢擧し取調べたがこの密輸は木版刷の粗末なもので內容は日本の三世相に似て本島人間には非常に歡迎されて一部三圓五十錢位に賣れるさうである隨而前記三名は共謀し約一萬部以上を密輸入したらしく他の分はどう處分したか不明で引續き取調べ中

臺南州下街庄協議會日割

臺南州下各郡街庄の其後に於ける新年度豫算編成についての協議會日割決定を見たもの左の通りである

▲北門郡　佳里庄一月三十日、西港庄、七股庄共に終了、將軍庄二十八日、北門庄二十六日、學甲庄二十九日

▲虎尾郡　西螺街二十九日、虎尾庄三十日、二崙庄二十五日、崙背庄二十六日、海口庄二十八日、土庫庄二十七日

▲東石郡　朴子街三十一日、六腳庄二十六日、東石庄三十日、布袋庄二十五日、鹿草庄二十八日、大保庄二十七日、義竹庄二十九日

新竹州の發動機講習

新竹州にては漁業者の爲二月十日から二十三日まで新竹郡舊港庄南寮漁業組合にて石油發動機の取扱ひに關する講習會を開催する筈であるが講習員は二十二名であると

新營郡壯丁團の檢閲並に出初式

一等は南竹子脚團へ

【嘉義電話】臺南州新營郡の壯丁團檢閲及同消防出初式は二十五日午前七時より郡役所所在地たる新營小學校グラウンドにおいて擧行され、定刻坂口臺南州警務部長、川添新營郡守、佐野同郡警察課長、鹽野保安主任ら臨席官及管內各街庄長、州街庄協議會員等主なる來賓臨席に全郡下廿六團五百餘名の壯丁團員入場し各團共隊伍を整へて會場の中央に整列するや鹽野保安主任開式を宣し直に佐野課長、鹽野主任以下係官指揮の下に各團別の檢閲行はれ何れも必勝を期し日頃の熱心なる訓練を思はせて些も缺陷なく檢閲を受け各團を後援する各部落民の會場の周圍を取まき聲援を惜まず而も整然を現はして應援する等大盛況を呈し結局各係長の採點により優勝團南竹子脚團以下十等迄次の通り入賞し終つて次の永年勤續者表彰式あり川添郡守及丸口警務部長の各訓辭、優勝團代表者の答辭あつて閉式ポンプ操法の競技ありて正午一先づ散會し點心休憩の上午後一時より放水演習を行ひ同二時大盛況裡に散會した

▲入賞團

一等　南竹子脚　二等　前大埔

三等　番社　四等　番子厝

五等　安溪寮　六等　[illegible]

七等　[illegible]　八等　[illegible]

九等　[illegible]　十等　[illegible]

[illegible]

臺南高工の無試驗檢定者

新學年度生徒募集中の臺南高工では去る二十日無試驗檢定志願者の締切を爲し二十一日十二名の志願者につき銓衡の結果左記八名を選拔し來る二月一日更に身體檢査、口頭試問等を行ひ入學の許否を定むる事となり二十二日夫れぞれ通知を發送した

臺北工業松原喜一郎、同岡本勇、新竹中學北村吉四郎、臺南一中王承英、臺南一中徐宗親、同谷本正、高雄中學服部季夫、同菅昌典

秀姑巒溪へ鮎の卵を放流

生長調査の傍ら今後も連續して放流

【花蓮港電話】[illegible]

嘉義市協議會

二十八、九兩日間開催に決す

【嘉義電話】昭和七年度豫算案を諮問せらるべき嘉義市協議會は二十八、九の兩日各午前九時より市役所階上會議室に於て開催のことに決定し豫算案は二十五日市役所より各市協議會員に送付された

會期は無期限

必要次第何日でも　やらうとの新例

【臺中電話】臺中市では二十六日午後一時から市役所樓上において七年度豫算案諮問の協議會を開く事となつたがこれ迄の通常協議會には三日間とか二日間とか必ず會期を定むるを例としたが今年は期限を設けず三日間でも四日間でも無制限にして豫算案の諮問をなすの新例を開く事となつたと

臺中市協議會

けふ午後一時から開催

【臺中電話】臺中市七年度の豫算案は歲入總額四十四萬三千二百五十五圓、六年度に比し三千五百二十七圓の減、又臨時部は十二萬一千三百八十一圓で六年度に比し九萬三千六百九圓減であるが協議會は二十六日午後一時から市役所樓上において開催する事となつた

今時珍らしい地主

小作人百餘名を招待

永續者を表彰する

【臺中電話】臺中市協議會員にして大地主である霧子脚の林耀亭氏は二十五日自己の小作人百餘名を招き小作人慰安會を開催し七十年以上二人、五十年以上一人其他十年以上繼續して同家の小作人であるもの數十名を表彰して夫々賞品を與へたが夜は同家庭內で臺中市興賢俱和會の農業獎勵についての講演會もあり盛會であつた

女だてらの醉つぱらひ

【高雄電話】高雄市堀江町岸川榮の妻トメ（三[illegible]）は二十五日午前一時頃市內榮町飲食店かど屋で飲酒したあげく女だてらに泥醉して榮町四丁目街路で通行人をつかまへては喧嘩をふきかける等狂態を演じてゐる所を入船町派出所員に發見され同夜高雄署で保護を加へた

潮州郡學校園現地品評會

【潮州電話】[illegible]潮州郡下小公學校校地利用實習地現地品評會は昨年十二月中旬から視學委員井上州視學、郡視學以下水產課技手等によつて審査中であつたが二十四日午前九時から潮州公學校で表彰式を擧行した、各學校の中殊に優良なる成績を示したものは內埔、新北勢、新東勢、萬巒、佳佐、竹田、溪港、潮州の八公學校で何れも校庭運動場施設實習地等の校地利用について昨年に比し施設の進捗を見せ面目を一新してゐると

大混亂を演じた宜蘭信用組合總會

役員賞與金を全部削除し

役員選擧は不能で散會

【宜蘭電話】二十四日午後三時半宜蘭公會堂を會場にあて宜蘭信用組合第十七回通常總會が開かれた、福山郡守、小池產業主事、小澤總督府屬其他で多數著席、組合長黃再壽氏議長席につき開會を宣し次いで諸般の報告をなし終つて會議事項たる昭和六年度事業報告の承認を求めた所蔡老桐氏質問の第一矢を放つて貸付十六萬四千餘圓の中四百十七件未納過二百七十九件この滯貸付金百三十八件に關し詳細なる意見を述べ數字的に陳述すれば更に張建池氏は決算の點より見て未經過利息三百七十九圓の金額千百餘圓に對し總元金幾何なるか不明なるは如何と鋭く追求す其他組合員數氏により押し問答がくり返され議長一々答辯し說明すれども議論ははてずと見た小池產業主事立ちて議案採決の方法、順序につき述ぶる所ありそれより一組合員の發議で賞與金全部を削除して積立金とする等の役員側の窮狀ぶりを見せたが其他の議案はともかく原案通り可決して問題の理事七名任期滿了改選の件を附議せんとするや場內再び緊張し議長選擧の連名式に對し林以士氏により單名式選擧制を採用しては如何との動議ありたるため議論百出容易に決せざるまゝ議長休憩を宣して晚食をとる時に午後八時、八時半再開したが既に退出した者も多く遂に法定半數に達せざるをもつて役員選擧案は改めて臨時總會を開き再選を行ふ事とし混亂の裡に九時過ぎ閉會した

啞に連れ出され重傷を負はさる

日頃から犬猿の仲

【臺中電話】彰化郡秀水庄陝西[illegible]の媳婦子郭陳氏阿足（二[illegible]）と同家の啞非氏月（[illegible]）とは日頃から仲の惡いものであつたが二十四日夜家人の留守中啞の月が阿足に外出をすすめるので共に家を出て保甲道路を千間程先にゆくと後から後頭部に長三寸長さ六寸深さ頭蓋骨に達する重傷を負はされ生命危險に陷つた、屆け出により彰化郡警察課から係官出張取調べ中である

優勝旗は歸來團へ

屏東郡壯丁團檢閲式

【屏東電話】屏東郡壯丁團の檢閲は二十五日午前八時屏東公學校に於て施行された總務部長代理大谷警務部長臨席參加團は屏東外十一團總人員七百三十名で各團旗を先頭に整列し團旗掲揚後前年の優勝旗の返還ありて檢閲開始何れも精巧な動作を見せたが一々之れを嚴重に採點され總て谷川大尉によつて點檢され終つて警務部長より成績の發表があつて屏東郡警察課長其他の講評の後武田郡守より優勝旗は歸來團に授與され次いで勤續の永年勤續者の表彰式あり續いて新示範の歸來壯丁團長の答辭、團旗降下で盛況裡に閉會した來賓は上條中佐、龍崎街長、種々憲兵隊長、龍井消防組長其他各將校等であつた

重田乙彥翁葬儀

【馬公特電二十五日發】重田乙彥翁の葬儀は二十四日午後一時から馬公公館に於て神式で營まれ木岡廳長、木全大隊長、上與那原海軍病院長、藤藤陸軍少佐、鶴岡海軍中佐、鶴岡海軍武官其他數百名の會葬者あり木岡廳長、三浦街長、井川英治氏の弔辭、弔電朗讀があつて午後三時終了した

湖口信用組合總會

新竹郡湖口信用組合第十四回通常總會は二十三日午前十一時から組合事務所に於て開催、監督官廳から平郡守、稻田產業主事、中田郡屬來賓には原田臺銀新竹支店長等列席した、先づ組合長張貴氏開會の辭を述べて議事に入り事務報告事業報告、損益計算等に對する說明後監事代表羅後裕氏から監査報告ありて原案通り承認、次いで剩餘金處分其他數項を原案通り可決し、殊に當日の難問題たる理事監事の期滿改選及び事務所移轉問題は二三の議論あつたのみですべてを中平郡守に一任し同郡守の指名に依り理事は何友仁、呂仁三氏から昨年中における事業[illegible]

[illegible]家、羅仁呈、范進、羅仁里、張貴、傅份の六氏監事は羅後裕、葉干、吳寶呂、張緒祉の四氏當選し組合事務所は湖口庄役場內、出張所は驛前の下北勢に置き更に產業組合として信用購買利用組合に變更した終つて中平郡守の訓話、原田臺銀支店長の講話があり午後二時散會した同組合昨年度純益金は七千九百八十三圓餘で配當は年一割であると

鷄專門の泥棒

遂に逮捕さる

【嘉義電話】二十五日午前六時頃嘉義郡竹崎庄吉村、邱兩刑事が市內末廣町在役場附近を巡行中一本島人の挙動不審の者を發見誰何不審の廉により本署に連行取調べの結果同人は東石郡新竹庄船仔頭一六六李臣（二[illegible]）といひ今日まで鷄を專門に竊取してゐたもので同七日夜新營郡後壁庄烏樹林二八七魏丙丁外四名より同樣鷄四十餘羽を竊取せることも判明目下留置引續き取調べ中

農事實行小組合

【嘉義電話】嘉義郡民雄庄陳厝寮及び潮厝の二部落にては今回農事實行小組合を設定發會式を陳厝寮は二十七日午前十一時同所保甲事務所で潮厝は二十九日午前十時同庄保甲事務所にてそれぞれ擧行すると

埔里點滴

▲二十日開かれた埔里街協議會における珍風景［三］—質問の矢面に起つて樂々の答辯を爲す林議長「本年度の豫算額での……事なるの……仕方ないでの……困つたの……であります」餘程肝を傾けて聽いてゐても些か苦しい、物好きな議員が勘定しにこの「たつたの」「での」の數なしあつた」と吉田子に揶揄して云ふ「の」を數へたら「五分間に十來る、猶氏の取り消しなど大分

[illegible]一寸出し渋りといふ、もつと議長席に座り込み面白かつた様子、もつと議長の一點一劃は見物だつた、坂元氏と山下氏との掛合の如く、坂元氏の虎の如く、だが結局は脫兎の如く、山下氏の虎の如く素早く終日和やかで樂々の議論を要る者もなく、議場で議員さんが「チョン」と時々手腕をかみ締ふ、段々春風駘蕩

▲埔里小學校では鴛鴦子側の科學の[illegible]

新竹州米穀組合總會

新竹州米穀利用販賣組合では來る二十六日午前九時より中壢公會堂に於て第四回通常總會を開催する

鳳山方面委員會

【高雄電話】高雄州鳳山街方面委員は二十四日午後一時より鳳山街役場に參集し近く高雄市において開催さるる全島社會事業協會主催の全島社會事業大會に方面委員大會への提出問題について打合の結果左の如く決定した

△社會事業大會へ公私設社會事業團體に對する國庫及官有地拂下又は貸下方をその筋に建議の件

△方面委員大會へ本島貧困者の救濟事業を方面委員助成會をして經營せしむる樣その筋に建議の件

猶新年末において貧民に對して方面委員より一人につき米一升と金五十錢を給與する事に申合せをなした

屏東郡下の國語普及狀況

屏東郡下三十ケ所で昭和元年から開催された國語普及會の現在までの入會者は男七百二十九人、女七百八人で講習を終了したものは男六百四十三人、女六百四十七人であると

屏東聯合壯丁團

勤續者の表彰

別項屏東公學校で擧行された郡下壯丁團の聯合檢閲式優勝旗授與の際武田郡守より勤續功勞者五十二名、昭和六年度皆勤者百二名に夫々表彰狀を授與した

屏東の朝起會

屏東朝起會では二十四日午前六時阿緱神社に參拜記念の撮影後社務所で神酒を頒ち朝食を共にして八時過ぎ一同朗らかな氣分で散會集まる者十八名であつた

高雄臺灣鐵工

第二工場廢止

【高雄電話】高雄の臺灣鐵工會社第二工場は市內新濱町專賣支局前の高雄興業會社所有地にあつて鑄物作業をやつてゐるが今回作業の統制と經費節減の爲に右第二工場を本工場內に移轉する事に決定し既に北部倉庫に着手し三月上旬迄には移轉を完了する見込である移轉に要する經費は約七萬圓を要するも移轉後においては地料並に人件費を合して一ケ年三萬圓內外を節約するので移轉費の如きは二ケ年にして償却し得るので既に川崎常務取締役が會社將來のためにかかる英斷に出たものであると

竹山の寒稽古

竹山郡警察課員は去る十八日から末日まで每日四時から五時まで武德殿で武道の寒稽古をしてゐるが教師は三井、寺尾兩氏である

臺中州の寒稽古

終了式

【臺中電話】臺中州警務部では一月十五日から寒稽古を武德殿において行つたが二十五日朝その終了式を擧行し午前六時から紅白試合を行つたが出場者は劍道百二十名、柔道五十名あり內皆勤者劍道七十名、柔道二十五名で精勤賞とメダルを授與したが今年は民間有志の參加者も多く劍道は二十名柔道は二十三名の皆勤者があつたと

牛を買ふなら花蓮港へ

【花蓮港電話】花蓮港廳勸業係では廳下の過剩牛畜を他州廳へ移出の途を講ずるべく此程各州廳及び關係團體へ「牛を買ふなら花蓮港へ」のポスターを配布する計畫を進めてゐるが牛畜販賣希望者へは廳及び牛畜組合で斡旋の勞をとることとなつた

岡山

▲野…弟に放火　岡山郡路竹庄蚵子寮黃氏[illegible]（三[illegible]）は妹と二人連で十九日萬丹溝附近で竹茂に八百斤の茅を積込み運搬中其後で鹽取をしてゐた左營庄龍[illegible]と口論を始めた折柄茅が突然燃え出し六七百斤を燒いたので喧嘩から口喧嘩の腹いやせに放火したものらしいので郡警察課では二十二日實地を檢證し更に取調べ中である

▲漁業組合總會　郡下各漁業組合總會日割は左の如し

下茄萣組合二月十二日△頂茄萣組合十三日△白沙崙組合十五日△蟳廣組合十六日△彌陀港口組合十七日△赤崁組合十八日△蚵子寮組合十九日△援中港組合二十日

▲蚵子頭橋工事　岡山と蚵子頭の間にある蚵子頭橋は昨年八月流失し今日に及んだが愈々工事に着手し三月一杯に竣功の豫定で工費は約六千圓である

▲校長月例會　郡下小公學校長月例會は二十二日開催し諸般の事項について打合を爲した

集集素描

△集集は山ではあるが稀くも郡所在地だ、二十二日の協議會も相當面白からうと覗かして貰ふ…議會の途上審議には恐れ入る程微に入り細を穿つた質問が本島人の二議員から連發される脫線した愛すべき質問もあつたが熱心さには敬服させられた、之に一々頻ささうな色も見せず詳細な答辯を與へた山本庄長にも敬意を表した次第

△集集庄は何と云つても貧乏である、此の貧乏から脫出するにはトンボ方面の要地二十三方里を行政區域に編入することだつた一事で解決される、同要地には蕃人は僅か五百人ばかりで內地人在住者一萬人に達してゐる、林產物の搬出物尠く、その一例は水裡坑驛のあの小つぽけな驛の積出高は全島驛の第二十八位にあるとか、同地方蕃人の進化は驚くべきもので蕃社の數と遡つて變遷すべきものであり、どうあつても集集庄に編入すべきだ——との意見が庄民に一杯である、で近く同要地行政區域編入期成同盟會を組織し之が實現するまで頑張らうと云ふことになつた、龍頭蛇尾に終らざらんことを祈る

△此の貧乏を喋つ集集庄も日月潭工事の爲門牌庄、水裡坑方面への移住者多く戶數漸、商業殷賑の傾向を示し數人が增加すると云ふので郡間を覗く、此處でも「日月潭様々」である

鎭咳　袪痰　二八ぜんそく　せき　たん
喘息散
嘉義市驛前大通　本舖　ナニ八藥局

(特許)　メリヤス毛足袋
眞綿底
二倍強く三倍溫い
BLACK CAT
特約店募集
(見本郵券拾四錢)
(新案登錄)
製造問屋　大谷義商店
大阪市東區淡路町

(登錄商標)　喘息のオゾンパイプ　(特許式)
喘息療法の神髓
氣化的作用強烈なる本器は喘息と肺結核を撲滅し
[illegible]
本舖　大阪天王寺區[illegible]　オゾン商會

膿腫　ふくまく
全治謝恩廣告
肋膜炎三年地方開業醫數人を始め大學病院にても見放され心配せず同病者の方に分ちたし○ふくまく炎の方は決して手紙下さい委しく申上ぐ
東京府八王子市寺町一番地
決して營利的廣告では有りません　人助け　菱山要助

(登錄)
商標　本家名に御注意
淺井万金膏
愛知縣淺井町　森林平

●耳の病　耳なり　耳遠き　中耳炎　等
耳の病に困難なる方は神戸市兵庫區の方法を無代進呈す
神戸市兵庫區少野濱川町七丁目一ノ八
振替大阪六六八五一番
日向屋

糖尿病の方へ急告
糖尿病に苦しむ方に唯一の方法あり
[illegible]
神戸平野祇園神社前
祇園藥草研究所

月やく　流下の請合藥
不安なとまりで御心配の方、他の無効藥に失敗しお困りの方に決れる時に局部に藥を挿入して流下する唯一の良藥あり、この藥は直接局部でトケテ作用し、安全に樂々と流下す。
手當は早く
しなくてはなりませぬ、今すぐ御手紙で御申越下さい委しい說明書を無代で秘密に差し上ます。
奈良市小西町東　松葉みん

男女　サック
男子專用珍具　女子專用珍具
[illegible]
大阪市北區天滿橋筋
あか玉精進堂藥院

無効返金藥
(登錄)　商標
岩里りん病　こしけ　別府淋藥
別府温泉で出來た岩里家の家傳秘藥
大野　許　服用患者
[illegible]
特約店募集
代理店
臺北市　臺中市　臺南市　高雄市　屏東街
[illegible]

東亞の謎

(176)　作者　國枝史郎　畫家　伊藤順三

大連の冒險（一）

もう大連へ初冬が來てゐた。アカシアの葉は落ちつくし、町は冬のよそほひをしてゐた。毛皮の外套の襟を立てて、往來するやうな人達も見られた。

西ケ浦の海も夏や秋と異つて、少しその波を荒くして來た。

大連名物の馬車に乘つて、通つて行く人達は寒さうであつた。

この頃西ケ浦の一軒の別莊へ、一家族が移つて來た。

主人と妻やと小間使ひと、町[illegible]い少年の書生との四人で、主人は松下伯爵であつた。

その後どういふ經路を經て、伯は此處へおちついたのか？

彼は瞬兒島の亂闘の際、誰とも別れて一人となつた。さうして一頭の馬に乘り、洋子や小夜子や次郎や南部が、何處にゐるかと探がし廻つた。もう其頃は亂闘の一團で、自動車隊も騎馬隊も右往左往し、收拾することが出來なくなつて居り、それから少しの間を經た頃には、全く四分五裂して、全部の行方が知れなくなつて了つた。

それでも伯は那司大佐や、白上大尉の二隊と逢ひ、それらと一緒に沙漠を横斷し、滿州里の方へ引き揚げた。その間にも洋子達の行方を、出來るだけ尋ね搜索した。が、どうにも知れなかつた。

とうとう滿州里へ到着した。そこでもあらゆる手段を盡して親しい人達の行方を尋ねた、が知ることは出來なかつた。

奉天へやがて引き揚げた。そこでも搜索の手段をつくした。が、結果は同じであつた。

かうして大連へ來たのである。で、今も伯は伯の勢力を以つて、あらゆる機關を驅使して、親しいものの搜索にあたつてゐるのであつた。

大連へ來た最初に於ては、伯はホテルへ泊つてゐた。日本ホテル（假名）へ泊つてゐた。

しかし少しく思ふところあつてこの別莊へ引き移つた。私設探偵も移つたのである。

小夜子を探がし出して東亞の謎を、どうしても解からうといふのが目的の一つ、この秘密に支那の秘密結社、白蓮會だの紅幇青幇だの、三合會だの、わけても紅卍會の内情を、研究しやうといふのが目的の一つ、この二つの目的を、この[illegible]に遂げやうとするのであつた。

それには大連に男を占めて、ゆつくり研究しなければならない。そこでホテルを引きあげて、借家住居をしたのであつた。

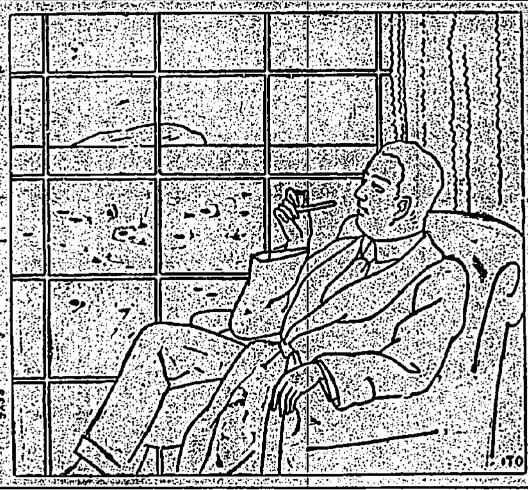
上層階級とばかり交際つてゐたんでは、支那の眞相は解らない。下流の大衆の中へ行つて、その底を流れてゐる支那の意識を、檢討しなければ眞相は知れない。そんなやうに伯は思ひ出したのであつた。

排日排貨の直接行動にあたる、所謂支那の都會人民の多くが、それら秘密結社の連中である以上、それらの内情は究めなければ不可ない。

蔣介石でさへ紅卍會を、重く見て操縦してゐるではないか。孫中山の同志だつた宋教仁さへ、哥老會その他を味方につけたではないか。上海の財界の大立物、××勝が當幇の大元締ではないか。

これらの事實がある以上、多く存在する支那の秘密結社を、日本人は日本人として日本の爲めに、深く研究する必要がある。

から伯爵は思ひ立つたのであつた。



近世兵器の進歩

(三)

如何なる轉機を齎らすか

喜ぶべき兵器獻納義金

照準具

火砲の進歩に伴つて照準具も亦著しい發達をした現今では加農砲と榴彈砲の區別も殆ど無くなり隱蔽陣地を取ることはなく地形を利用し斷壕を掘開して行動するやうになつたのであるから戰場の一角に立つて望む時何物も認め得ず只茫漠たるものである敵の砲兵は何處から飛來するのか判別し難くなるのである、其處で此隱れたる敵砲兵を發見するために砲彈が飛來する時發する音波をマイクロフォンに受けて電流化しオッシログラフに依つて細長いフイルム上に音波の形狀を描かしめ其音波の交會法に依つて敵砲兵の距離及方向を精確に知り又波の形によつて砲彈の種類をも知り得る機械が出來たのである之を音波標定機といつてゐる、最近進歩せる照準具には電氣抵抗の原理を應用したものがある、一名の觀測手が接眼鏡から敵を監視するだけで他の觀測手や砲手は唯電流計の指針を合はす如く砲把を回轉して居れば砲身の方向は自然に時々刻々運動してゐる目標の方向に正しく向いて居るので此電氣式射擊具は飛行機射擊、海岸砲の艦船射擊に用ゐられてゐる、其他種々の光學的火力指導兵器や目標標定器や器械觀測器指導兵器がある

彈丸

火砲の口徑及射程の增大に伴つて彈丸の重量も增しその形狀も成るべく空氣抵抗を減殺して遠く空中を飛び得るやうに變化してゐる種類も目的によつて異なるが大體次の如きものがある

小銃彈

鋼心彈（[illegible]）[illegible]機關銃に使用す）燒夷彈（[illegible]内に發火し火災を起し飛行機の油槽に點火するを目的とす）

砲彈　榴霰彈の代りに短延期信管を裝着せる榴彈を使用する傾向がある破壞を目的とする破甲榴彈及鋼甲彈は破壞の兩威力を兼備する破甲榴彈、射程增大のため尖鋭化せる尖鋭彈、高射砲彈丸として使用せられる瓦斯榴彈、其他催淚瓦斯彈、發煙彈、燒夷彈、照明彈、信號彈、通信彈、投下彈の外手投用として迫擊手榴彈、曳火手榴彈、手榴彈、手投照明彈、手投瓦斯彈などがある

火砲の數と消費彈丸量

一九一五年シャンパーニュの攻擊で佛軍は野砲約千五百門、十糎半乃至二十二糎砲七百門、二十八糎前後の火砲三十門を用ゐてゐる歐洲大戰を通じて消費した彈丸は英佛は各々三億、獨は五億に達してゐる、之を日露戰役に於ける日本の百萬發、露軍の百五十萬發に比較するときはその懸隔の甚だしきことが解る、使用彈數は將來益々增加する趨勢にあるのだから彈丸の製造補充といふことは平時から意を用ゐなければならない

不老長命

(二)

仙方　精氣を益す神方

鬼　空

嚥津

長崎に杉山といふ姿對家の老人があつた、この人は八十五六歲にして一見六十歲前後の如く、それが年々二百回とか三百回を出して姿を抱へるほどの强壯さに、或人が其の

不老强壯　の秘訣を尋ねると翁は、每日唾を五合位づつ吞みなさいと答へたといふことで、聞く人は戲言だと思つて居たらしい、ところが是れが仙方に謂ふ所の嚥津又は嚥液と稱して大變な神方であつたのである

◇

唾液を嚥むと、今日の醫學上からいへば胃の消化を圓滑にする效がある位である。けれども其效は抑々そんなことにとどまらない、人の顏色を好くし精力を益し其他種々の效があるのである

その方法　は每朝眠が覺めると、口中に唾液を一杯ためて之を三口に分つて吞み込むのが本式であるけれども、日に幾度と無く思ひ出す度に之を吞み込むが好い、之が大に消化を助けるは勿論にして、一本も歯のない老人で澤庵漬などを食ふといふよりも吞込むのは此の唾液ある爲め平氣なのである、のみならず常に之を吞むと何時も精氣が滿ちて精氣を生じ精力旺に勞き、又登山或は激運動に際して息ゆる時など努めて口中に

唾液を作　つて之を吞み込むと精力を恢復し渴きを抑へること不思議である、前年汽車中で乘客が友人に對して此嚥津の秘法を說いて居ると、側に居た一老人が乘客に向ひ、それに就ては面白い思ひ出がある。私は壯年の時は獵師であつたが激しく狩をこいで精力が竭き口中がねばつて堪まらないから唾を吐くと、老人が決して唾を吐いてはいけない唾を吐くと益々疲れるからといつて決して唾を吐かせなかつたが、今のお話を聞いて肯首される點があつたが

唾を吐く　のは不老長命術からいつても大禁物である三國志に、曹操が兵を率ゐて何とかいふ大山路を越ゆる時、折から狂夏の炎天で、士卒皆閉口垂れて動けないといふ時に、曹操は士卒に對して此山を越ゆると梅の村に大梅林があり、今丁度梅が實のつて居るといふと、士卒は梅林を想像しただけで生唾が出て渴きが止まり勇氣を鼓して山を越したといふ話があるが、是れは梅林の話をした爲めに心理的に

生唾が走　り、生唾が出た爲めに生理的に精力を恢復して山越えが出來たのであつて、[illegible]

は近唾に如かず、近唾は唾せざるに如かずと、又曰く古人

×　×　×

病を治す　るの方、和するに清泉を以てし、潤すに[illegible]を以てす、此清泉は[illegible]からず、常に之を服すれば[illegible]に在り終身[illegible]なしと、常に津液を吞むと顏色を好くし、精力を益すのみならず、其他は全身を潤し、終身病なしといつて居る、皆除りに誇張の樣だけれども、決して誇張ではない古人は斯く唾液の大事なことを說き、絕對に唾を吐くことを戒めて居るにも拘らず、近世の支那人は廊下といはず、室中といはず到るところに痰唾を吐き散らして文明國人に

嫌はれて　困るのは不思議である。明治年間の我國の腐れ學者中には、支那の[illegible]に心醉した者があつたが、何ぞ知らん、支那の衰亡は全く儒教や道教に反するからであり、我國の興隆は其精神を取つたからであつた、近世唾を吐くものは亡國民に多いといふ說のあるのも道理である。唾液に就て面白いのは最近英國の某學者か、唾液の效を研究し一男女の接吻は、雙方の唾液が混合して化學的に一種の有效成分を作るといふ發表をして、大に新しい

青年男女　を喜ばしたさうだが、東洋では殆ど千年も前から唾液の效を高調して居たのである。

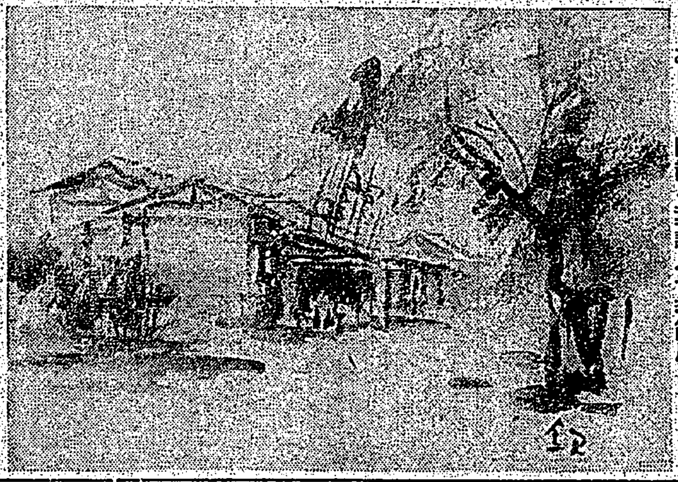
犬養内閣成立祝賀
日本新聞協會晩餐會
（右へ德富氏、芳澤外相、別刷右端中橋内相）

嘉義風景

欽一廬

おりおりは散る芙蓉や季節風

鳳凰木の繁木が甘蔗畠に消える邊の店の亭仔脚は長々と既を突き出す、鳳凰木は内地だけのことはあると驚かれるが、内地では雲園の家の庇がやはりこの通り奥深く出て居るのを見ると、兩者の感じは一致する。やけど季節は同じやうなわけ。



JFAK　二十六日

▲午前九時三十分　家庭百科問答△自然界（山羊）の榮養價

▲午前十時　今日の家庭料理[illegible]△[illegible]の瓜[illegible]△茶碗[illegible]

▲午前十一時　日用品小賣値段

▲午前十一時五十九分　正午の時報、氣象通報臺北測候所發表

▲午後零時十分　放送局揭示ニュース

▲午後零時二十分　慰問娛樂時間（レコード演奏）浪花節　一、雲の破り島（酒井雲之二、伊豫騷動（田村の活躍）浪花亭綾太郎

▲午後五時　子供の時間（大阪）逆襲府話劇「少年勇士（二）」JBKコドモサークル

▲午後五時三十分　公民常識講座（大阪）法律「刑法」京都帝國大學教授瀧川幸辰

▲午後六時　子供の時間（臺北）流行歌獨唱と對話唱歌（臺北市南門小學校兒童）

▲午後六時三十分　圖書館ニュース（臺北）「[illegible]」とルーサー・バーバンク[illegible]

▲午後七時　講談（東京）「[illegible]」[illegible]長山[illegible]

▲午後七時三十分　長唄（東京）一、新曲「飛行機」[illegible]三味線[illegible]

▲午後七時四十五分　尺八（東京）本曲[illegible]

▲午後八時　長唄（東京）（日比谷公會堂より中繼）「未定」長唄研精會

▲午後八時四十分　マンドリン合奏（臺北）クロルテット・ステルラ・ド・オーケストラ　一、圓舞曲「春の[illegible]」（ビテッリ作曲）二、東洋凡舞曲「タ・チ・ダ」（ワレス作曲）三、歌劇「トスカ」拔萃曲（プッチーニ作曲）四、踊る小花[illegible]五、[illegible]

職業　自宅で出來る男女有利の内職　許可證見本進呈　大阪市東成區[illegible]　文洋社總本店

仁丹香錠　薰る香錠・舞ふ紫煙　煙草は闇の鍵から

登錄商標　大阪天王寺名物　蟲下しの妙藥　釣鐘セメン菓子　特約店募集　大阪住吉區山王町三　岩崎釣鐘堂

滋强飲料　カルピス

一萬分ノ一番地入　臺北市街圖　定價金五十錢　送料[illegible]　發行所臺灣日日新報社

伊豆椿チック

淋病根本征服

果然、轟々たる賞讃の叫び　感激狂喜の全快者續出

ブラオン銀　ケンゴールの發見

前東京吉原遊廓吉原病院長佐藤榮先生の努力

恐るべき淋疾

[illegible]して淋病に感染して、一定の期間を經過すると、自覺症狀が少なくなり、爲めに[illegible]、或は治療を中止するか、或は姑息的手段を選ぶことになり、[illegible]ない内服藥等に頼り、[illegible]が止れば全快と誤解して、その儘放任してゐる内に[illegible]を繰り返し、遂には淋病は不治なりと諦らめ、或は何等かの機會に後部尿道を犯され、攝護腺炎、副睾丸炎、或は膀胱炎等を起し、或は罪なき婦女子に感染して家庭の悲劇を惹起せしむる等、取り返しのつかぬ結果となる人が餘り多いのは、實に氣の毒に堪へぬ次第であります。

之れ一つは淋病治療に對する、信頼すべき特効藥のなかつた缺陷にもとづくものであります。

九州帝大旭博士發表

九州帝國醫科大學の旭博士が、學界に發表せられた所說中に、「淋病は[illegible]によつては全治するも[illegible]

安全なる局所療法

[illegible]

この反響に聽け！

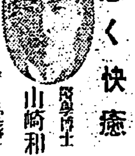
豫想以上の成績

醫學博士　山田[illegible]

人類幸福のために

醫學博士　北井幾八

悉く快癒



醫學博士　山崎和雄

ブラオン銀の驚異的發見

感謝の聲

◆薄紙を剝ぐが如く

◆同病者の友にも

◆愉快に活動

◆根本的に全治し同僚も全快の喜び

◆難症が十日で全治

一酒にも[illegible]にも再發せず

[illegible]

取扱所

東京市芝區[illegible]　日東藥化學研究所

[illegible]

昨年中の本島貿易内容（三）

直航路と排日の影響

仲繼輸出大激減

本島の對外貿易特に對支貿易の激減を來した理由は物價安等の一般的原因にもよるが何といつても滿洲事件勃發以來の

衰退 一眼に見えて著しいものがあるがこれを仲繼貿易につき調べて見ると次の如く歴然たる跡を示してゐる、即ち昭和六年中仲繼貿易輸出額を月別に前年に比較表示すると（單位圓）

月別	昭和六年	前年比較（△印減）
一月	三六二、〇五一	△ [illegible]
二月	八〇、九七九	△ [illegible]
三月	一三〇、六二六	△ [illegible]
四月	一五二、六五二	△ [illegible]
五月	三一〇、四六四	△ [illegible]
六月	二六八、六六五	[illegible]
上半期	一、三五四、四四一	△ [illegible]
七月	二五六、〇五九	[illegible]
八月	一九五、五二五	△ [illegible]
九月	四八二、〇〇六	△ [illegible]
十月	四〇四、四九五	△ [illegible]
十一月	九六、二九七	△ [illegible]
十二月	六二、五〇二	△ [illegible]
下期	一、五〇六、八六四	△ [illegible]
合計	二、九〇三、三五五	△ [illegible]

日支事件の仲繼輸出に及ぼせる影響

（單位圓）

期別	昭和六年	前年比較
一月—八月	八五八、三六二	△ [illegible]
九月—十二月	[illegible]	△ [illegible]
計	[illegible]	△ [illegible]

割合 に見て數年比較を見るに（五ケ年對照、單位圓）

昭和	仲繼輸出	總輸出	比率
六年	[illegible]	[illegible]	一五
五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]

で仲繼輸出が昭和四年頃まで總輸出額の三割前後を占めてゐたものが五年に於て二割三分に、更に六年に於て一割五分に降落したことは排日排貨の影響の他に注目すべきは昭和四年秋より大阪

商船 が内地と南支間に直航路を開き從來本島商人を經由して輸出された對岸向け水産物砂糖等の仲繼貿易品が内地から直積された結果によるものでこれを昭和五年中の輸出内譯にみると對南支方面輸出高航路別にみて昭和五年の仲繼輸出高は僅か五百三十萬四千餘圓で前年の一千百七十四萬六千餘圓に比べると實に六百四十四萬二千三百三十二圓即ち五割以上増加して四百二十五萬四千圓に上つてゐる點から見てもこの

内地 よりの直接輸出高はの激減であるがこれら地方への對岸航路開拓が如何に本島の仲繼貿易を壓迫してゐるかが分り昭和五年が四年に比し三割五分から二割三分に激落したのは右の事情による所が多い、然し六年が更に五年より八分かた減少したことは主として日支關係の惡化によるものと見られてゐる

熱論に花が咲く……

臺銀配當と臺北實業會

廿六日總督、長官へ陳情

内地の要路及有志にも打電

臺北實業會の緊急評議員會は二十五日午後一時から臺北市本町事務所に於て開會され出席

評議員 三十有餘名にして定刻中辻會長座長席に着き本日緊急評議員會を招集したのは臺灣銀行の配當問題を議する爲めである、本問題は今日に始まつた問題でなく昭和二年の財界パニツク以來本會は非常な努力を拂つて今日に至つたものである、昭和二年財界恐慌直後の九月一日の臺銀總會は臺灣銀行創設以來の大騒動を起した總會であつて當時臺灣關係として坂本素魯哉、古賀三千人兩氏を始め吉川、桑田、前田、上田の諸君と共に自分は總會に臨み總會場は滿員で場外にあふれ非常な緊張味を見せた總會であつた、その總會席上、島田頭取に何日から配當するかと云ふ言質を取る爲に非常に努力したが島田頭取も一個の意見では回答し得なかつた、一方坂本、古賀兩氏は大藏省に三土前藏相にと直接談判を開始し真に血眼になつてその眞劍味を示しこの一言如何によつて臺銀總會が流會になるかと危惧はれた問題であつたが大藏大臣の諒解を得て島田頭取は昭和四年の下半期から配當する事に努力すると云ふ約束の下に總會は通過したもので此間滿四ケ年半を經過してゐる今日而も斯る歴史を持つ臺銀と實業會が前期に於ても總會に臨み配當問題を提議し次回を約した事は獨り島田頭取ばかりでなく前井上藏相とも約束してゐる問題であるのでこの問題を今期に於て實行して貰ひたい考へで皆さんの意見を徴し實行に移りたいと本會を召集したのだから皆さんの隔意なき意見を述べられたい……と云ふや各評議員は待つてましたとばかりに歴史ある本問題を今日迄臺灣銀行が實行しない事は甚だ

不誠意 である、宜しく島田頭取に辭任を勸告すべしと云ふのが切つかけでパニツク當時我實業會始め商工會各種團體が臺銀に援助し閉店に至らなかつた事や島田頭取が約束を無視した事乃至四分の一に資本を縮し尚ほ且つ十期間も無配を續けて今日に至つた事は臺銀自體の責任問題である、宜しく臺銀當局に向つて配當を要求し且つ督府當局を動かし中央要路の援助及東京本島關係有力者の努力を請ふて此際初志

貫徹に 向つて非常努力する秋であると議論百出或は激論も出て議場は近頃にない活氣を呈した、斯くて本問題の解決如何は本島產業經濟に及ぼす影響甚大にして獨り株主の利益のみでなく惹いて臺灣金融統制上にも波及し更に臺灣統治にも影響する重大問題である宜しく此際平塚新長官新任の土產として本問題の解決方を依頼し極力本問題の達成に努むる秋であると

議論は 益々沸騰し何日果つるとも見られない眞劍さに中辻座長は結局本問題は委員を選び直に運動を開始し且つ目的の貫徹に努めたい—と云ふに對し實行委員四、五名を會長指名にしたいと云ふ動議により會長は村崎長昶、吉岡德松、[illegible]之助、田俊吉、中辻喜次郎の五氏を指名した、右實行委員は二十六日集合し取敢へず平塚

新長官 の都合を伺つて直ちに事情を具申し更に太田總督を訪問し臺銀その他關係方面に陳情する筈で一方内地へは大藏大臣、拓務大臣外要路及東京臺灣關係の有志に打電し極力本問題の達成に努め初志貫徹に向つて猛進する事に決定した、時に午後二時半、尚ほ委員は臺銀總會迄に充分手配し臨機の處置を取り運動を續ける筈である

配當はしたいが

内外事情が許さぬ

滿洲事變でも片付てから臺銀も配當が出來やう

荒木臺銀理事談

臺銀配當問題に關し荒木臺銀理事は次の如く語る

今期の配當實行可能性？ 今の所何とも云ひ得ない、何となれば前期迄

無配の 理由としては獨り臺灣の事情ばかりでなく世界的經濟界の狀勢が惡いのと內地財界の安定せざる等謂ゆる大局から見て多少の利益があつても配當が出來なかつたのであつて當時の事情と今日の狀態とは別段變化がないから大藏省としても之等の點を顧慮してゐる事と思ふ、銀行自體としては今期も大體に於て前期と變りない

業績を 收めてゐるので之が臺灣の如き安定したる地に於て考ふると配當の如きは何等問題でないが世界的經濟界の不況は未だ安定せず滿洲事變あり更に爲替は暴落する等諸般の點に於て不安狀態にあるから大藏省が如何に考へてゐるかである、我々としては永らく無配を續けてゐるので何とか此際配當を實行したいが前述のやうな事情であるので今の場合何とも云へないと云ふより外ない、然し滿洲事變でも

一段落 を告げ且つ爲替關係及び內地の財界が安定する事によつて配當する事が出來得るものと思ふ、尤も今の業績から見ると決して配當し得ない狀態ではないが之等種々なる事情で大藏省が何とも云ひ得ないので何とも云へないと云ふのである、故に臺灣の事情のみによつて行くなれば何等問題ではないが臺銀としては對外關係その他直接間接種々

雜多な 事情があるので配當してないが此際大いに考慮する必要があると思ふ、要するに金があつて配當が出來ないと云ふ事情にあるのだからこの事情を取去るだけの材料があれば、進んで配當を實行したいと考へてゐる

東京株式

大活躍

【東京二十五日發電通】市場に於ける人氣の中心は[illegible]となり買氣入市に[illegible]となる[illegible]

シャム米の輸入採算

蓬萊米より二圓以上安い

外米の輸入制限は米價取の增加と總選擧に對する政府の政策から見て當分解除される模樣もなく唯だ條約上輸入制限の出來ぬ暹羅米のみが多少輸入されるものとみられてゐるが最近の入電によると同一條白の其餘沖渡値に四圓八十錢で之に關稅二圓を加へて六圓八十錢一石當り十七圓六十錢となり北部各地に持來りて十八圓十錢內外となる、又內地倉渡値段もその邊であるから一石內地米二十圓に相當する蓬萊米は右シャム白米から見ると割高であるが產地が强張れば益々內地から買つて來るであら

清酒愈々元値上

原料高で大樽一挺四圓高

金の再禁止前まで不景氣と値下りの爲め酒造米の仕入れを見送つてゐた酒造家は再禁止後米價の暴騰に狼狽し成行にて原料の仕入に掛り結局前年よりも著しく高い酒造米を手に入れ仕込みに掛ることとなつたが此の原料米暴騰に加ふるに樽代、樽、箱其他の材料が總て高くなつて來たこと及財界の好轉に連れ酒金消費も增加する見込であるので酒造界も漸く春色漂ひ今度迄値下げ一方であつた酒價は今度久し振りに値上げを行ふこととなり一升に付十錢上げ、四合入瓶詰一箱に付十錢上げ一升瓶詰二十四本入一箱に付二圓上げ一圓四十錢大樽一挺に付四圓方の値上げを本月十日より實行した旨臺北支所へ入報があつた、總督府專賣局の買上値段は茲數年來殆ど引下げ一方であつた

臺灣酒行脚隨感

酒が旨く飲めるやうに

貯藏法を研究せよ

西邑末吉（高砂合名會社支配人）

今度四年振りの視察であつたので何もかも目新らしく感じたが一般的の事は他人に譲るとして

酒造家 の立場として豫想外に思つた事は樽酒の意外に好評であり且つ旨く感じた事であつた。從來內地に居て新聞紙上で樽酒の人氣の宜い事は知つてゐたのであつたが、まさかた樣に急き立てる程でもなく一種の宣傳！位に思つてゐたのであつた、ところが[illegible]地殊に京阪神地方の[illegible]樽酒本場[illegible]けないもの[illegible]

民衆が 歡迎するのも無理はない永久的に樽酒を希望するのが當然であると思つた、なぜ左樣に樽酒を賞美するかは云ふ迄もない所であるが之等は所謂活物が新しいのと、丁度飲み頃の酒である事と今一つ見逃すべからざる事は酒に最も適當な氣候の關係も然らしめる譯であらう、酒と氣候との關係によるよい國柄な環境は譯々持つてゐる、近い例では昨年四月に宗[illegible]

一冬過 した「白鶴」を飲んで[illegible]

北海道 の冬期は四氣が多いが滿洲はそれと反對だから何ん共云へぬと杞憂を抱いてゐたものであつたが、事實行つて飲んで見ると如上の旨い酒を飲まれた其旨さは近畿地方で飲む酒よりもより以上旨いものであつたから尚更北海道迄に氣候が酒に影響するかを知つたものであります、だから臺灣の樽酒もあの溫度では到底旨く飲めないものだと考へてゐた所がすつかり豫想外であつたのに甚の行つた當時が丁度內地の冬の氣候に違ひない所へ丁度

船に搖 られて行つて飲み頃[illegible]

に低下してくる氣候も出臥となると尚更旨くなるから早く飲むべしであると思つた。それならば此旨い酒を永く持たせる方法がないものかと云ふ質問もあらうが我輩は確にあると信じてゐる、樽と云はず樽詰でも永く旨まく飲ませることは滿洲なり北海道の氣候と迄行かない迄もせめて

零度位 の氣溫室內に貯藏せば少々永くなつても品質が低下しないのみならず反て旨くなるものと思つてゐた。酒は此溫度以下になると調熟程度が非常に遲々たるものになる、それと反對に溫度が高まる程其調熟度が早くなるのみでなく調熟度が過ぎると反對に低下してくるのである事は當業者の永い經驗によつて知悉せられてゐるのであります、其一例を示しますと古酒が不足して新酒を早く賣出さうとする時には早く火入をしてそして大樽の周圍を[illegible]

臺灣へ 來る酒は既に調熟が終つて調熟の必要がなくなつてゐる酒である、其調熟の必要のない酒が臺灣に來てあの氣候で熱されては旨くなる譯がないのであります。殊に惡鉛好きの倉庫などに二三ケ月も貯藏される事があつたとしたら其酒は非常に損くなるのは當然であるから斯樣な倉庫に酒が置かれてゐる所があつたら直ちに他の冷やかな倉庫に移轉へ貯藏をするのが目下の急務だと私は感じたのであります、それが

專賣酒 を優良化せしむるには其貯藏酒を冷藏する事であつて、冷藏によつて其目的を達し得られ一部人氣がよくなるであらう事を信じて居ります、冷藏と云ふ事と非常に高價の設備費を要する樣に考へる人もあらうが我々の云ふ冷藏は[illegible]

天井戸前等に炭化コルクを以つて張り廻し戸締りを充分にして開放せない樣にせば絕えず攝氏の六十度位の溫度となるであらうと思つてゐる、其處へ貯藏する樣になれば酒の調熟は或程度迄防ぎ得られると思ふ、それで尚低溫が必要となれば四五百圓掛ければ電氣冷凍器があるそれを据付ければ充分だと思ふ

斯樣な 簡單な設備で專賣酒を[illegible]と思はれてならぬ、京阪神地方で飲む白鶴と臺灣のそれと餘程違ふ、暑いから防腐劑でも多く入れてゐるのであらうから多るのだ頭へ上るのだと云ふ人があつたらそれは間違つてゐる氣候の暑い所で二三ケ月或はそれ以上陳列される樣な酒があつたら夫は決して旨いものとは云へない、氣候から來る低下に就ての貯藏法を研究しないでは

旨い酒 が飲めないと云ふ事を感じたのが今回の旅行の一大收穫であつた、まだ他に云きたい事があるが此程度で止めます

不良秤が多い

檢米所の衡器檢査の結果

米穀檢査所では缺斤米防止從つて臺灣米聲價維持を圖る一つの對策として此程商所に依頼して本島各地の衡器檢査を行つたがその結果不正不良の衡器多數を發見し夫々區分修理をなした而して最近蘭陽方面のトランケン所有の衡器檢査成績を示せば次の如し

	合格數	不合格數	計
頭圍	一	三	四
礁溪	〇	一	一
四結	〇	三	三
宜蘭	五	六	一一
二結	一	〇	一
羅東	一〇	七	一七
計	一七	二〇	三七

右に上れば不合格數は總數三十七の中二十即ち五割以上に相當するが幸にも不正秤は一もなく修理の利く不良秤のみであつた、既報の如く本島に不良秤の多きは把握衡所にかける經費と人手の不足から來る衡器の定期檢査制の確立してゐないこと及び衡器使用者側に於ける使用保存に關する知識が缺けてゐることに原因するものである

商船專務

一名增員

堀遠洋課長を起用

【大阪二十五日發本社特電】大阪商船取締役木村清氏（現阪和電鐵社長）が辭任したので來る二十八日の定時總會においてこれが改選補充を行ふが商船首腦部では過般來後任者詮衡中の所社內から起用する事に決し現遠洋課長堀新氏を推擧し現在三名の專務を四名とし堀氏は專務として遠洋課長事務を取扱ふ事で同社ではこれを總會に付議し選任を行ふ段取である

正貨現送三回に

三千數百萬圓

弗賣の決濟完了

【大阪二十五日發本社特電】正金銀行では二十三日橫濱出帆の[illegible]で一千六百萬圓を現送したが更に來る二十六日秩父丸で一千萬圓を現送する事に大藏省の認可を得た、尚引續いて一千數百萬圓を現送しこれをもつて弗賣決濟額全部の決濟を完了する筈

東株商盛

後場臨休

政府黨必勝見越人氣

【東京二十五日發電通】東株市場は金再禁止に依る財界好轉を根本買材料とし總選擧においても政府黨[illegible]

上海形勢險惡

紡績業者の大緊張

或は工場一齊閉鎖か

【大阪二十五日發本社特電】上海の形勢險惡となり二十三日在華日本紡績同業會より大阪支部への入電によれば我海軍に支那側が排日團體、民國日報の陳謝等我要求を容れざる場合には艦砲擬勢のため斷乎たる措置をとるべき旨司令官より聲明あり一般邦人も極度に興奮してゐる折柄、紡績工場の一齊閉鎖も止むなき場合あらんとあり、開電には目下同工場への影響はないが時局重大につき當局と諮合中と傳へがあり緊張した、併し工場一齊閉鎖については尚各社の意見一致せざる模樣であるが形勢惡化すれば斷乎たる措置も止むを得ず[illegible]

上海惡化と

在華紡績業者

臨機處置を一任

【大阪二十五日發本社特電】在華日本紡績同業會では二十三日大阪紡業會館で定例委員會を開き上海方面の排日狀況惡化に伴ふ對策につき協議したが豫ねての方針通り工場閉鎖其他一切の臨機の處置は上海本部に一任することとなし此の旨打電した尚船津總務理事は二十三日大阪發北海に歸任する筈

豆粕强し

銀高に連れ

新春以來豆粕は銀相場の騰勢につれて小反撥の末一圓二十五、六錢見當にて暫く落付いてゐたが二十五日は銀の昂騰につれて豆粕も昂騰し一圓三十三錢見當を唱へてゐる此の昂騰は一期米手當か未だ相當殘つてゐる今日農民にとつて可成の痛手と見られてゐる

期米高に逆行

丸糯暴落

當限九圓六十錢臺となる

各地期米は前期米第三次買上說に東京市場を中心として政商筋の猛烈な買あふりで暴騰してゐたが二十五日朝東京株式の暴騰から依然强氣の買煽ひに大阪先二十六圓一〇錢の新高値を見せ後場では小反落となつてゐるが[illegible]丸糯は[illegible]方がりも十円[illegible]四三〇錢前の八四二〇錢買唱へであるが除り出來ない、之に反して丸糯米は市場に於ける大取組が物を云ひ買疲れの折柄當限手當終了入註薄く先限在庫九萬七千餘袋に增加するなど弱材料山積で三十一方暴落前場で當限九圓十三錢の安値あり後場でも同樣であつたが引跡は更に十寸方弱い中は一〇圓一〇錢買なる全然買氣なくまだ一つものと見られてゐる

過燐酸

一期作と小口買が殆どない

過燐酸石灰は五割の減産協定が勵行されてゐる上金の再禁止に伴ふ段替安、一般肥料界の好轉に市價は商盛して十五%十貫五百目入葉は一圓〇五錢、十九%一圓二十錢を唱へ安値より四十錢高を告げ今や共販一杯のところまで持直したので各製造家も漸く愁眉を開いてゐるが、本島では米作用として農民の購入以外に小口買は殆どなく珍らしい事とされてゐる、還は安值當時に買ひ込んで市價の惡騰に遊び全く手出しが川米ぬからでもあるが、一期米の植付時期も切迫してゐるので市價が落付けば多少の小口買も出るべく尚之に代る合成肥料も賣れるものと見られてゐる

肥料の

輸移入高

昨年四月以降の

臺灣肥料輸移入組合調査による昭和六年四月より同年十二月迄の肥料輸移入高は次の通りであるが昨年度の輸移入高は多少增加してゐると見られる商肥料輸移入商組合は未だ第三回の總括を迎へたのみで前年度の輸移入高との比較は出來ない

品名	數量
大豆粕	四、七一〇、八七五枚
過燐酸石灰	七六一、二六五叺
調合肥料	二七七、八〇九叺
窒素化成肥料	二、八一一八袋
硫酸アンモニア	八〇、一四三噸
ロイナホス	八、七一二袋
アンモホス	二三、八三四袋
石灰窒素	一一〇、六二六瓩
ニトロホスカ	八〇〇袋
燐安肥料	一〇四、一〇三叺
アンモニア	二〇、四〇〇袋
硫酸加里	九、四三三〇袋
鹽化加里	五、三三〇袋
加里	五四二袋
骨粉	三〇袋
智利硝石	三三〇袋
豐年豆粕	一、一八〇叺
菜種油粕	二〇叺
魚肥	[illegible]
花粕	一、〇九三叺 七〇叺

東西南北

財界の根本事情好轉の像今尚くそれに[illegible]で政府當局の[illegible]を衝する[illegible]は尚くそれに[illegible]近く實現するとも見られ出廻りの株式は休日明け更に百八十五圓の新高値を調出し新東當限百七十三圓、先物も[illegible]、公債も[illegible]政友會の勝利は[illegible]となり市場に資金が流れ込むことになるから金融は緩和となり金利も低落しやう▲金利が下れば株式界は一層賑かるし物價騰貴の大勢は動かぬものと見てよい▲米價、糖價には[illegible]あり[illegible]の高値を出すことは難ひなく、株式も米も[illegible]に[illegible]した[illegible]の形勢[illegible]上海の形勢が[illegible]となつても[illegible]とはならぬと見て[illegible]か、之も一寸皮肉な[illegible]界的經濟の動搖と見てゐるのか▲今年は時局に係から道路自覺の[illegible]が新年宴會が少い、鐵道ホテルの利用が存外寂寥であるのも何かを意味してゐるやうだ▲言いもの屋の出前が特に多いのも時局柄家庭本位の小宴が多い爲めではないかと思はれる

臨時休會して根株整理を爲した

商況

二十五日

米況

臺米相場

（基隆岸車乘渡百斤）　前日對比

品名	相場	前日對比
北部一期在來米	六、二五	一、二高
北部一期蓬萊米	七、二三	五高
南部二期蓬萊米	七、七五	五高
中部二期蓬萊米	七、九三	八高
北部二期九糯米	七、六八	一〇安
中部二期九糯米	九、七〇	二〇安
南部長糯米	九、九三	二高
[illegible]	七、三〇	二高

正米市場

品名	限月	公定相場	出來高
二期蓬萊	當	七、九九	五五車
	中	七、九九	五五
	先	八、一八	七八
二期九糯	當	九、九三	三四
	中	九、二一	[illegible]
	先	一〇、六一	三一九

臺中米價（二十五日）

蓬萊米三等七、九五錢、九糯三等九、七五錢、出米高蓬萊米一〇、一四三袋

基隆在庫米

（二十五日現在）

品名	數量
總出米高	七〇三〇車
一期蓬萊米	一、二一九袋
二期蓬萊米	五三、三三二
一、二期蓬萊白米	二〇、七〇七
二期九糯米	九、七、四二六
一、二期九糯白米	五、二八
二期長糯米	四四
一同白米	二、三七三
一、二期在來白米	二、三七三
其の他	九四
合計	一六一、八九三

高雄在庫米

（二十五日現在）

品名	數量
二期蓬萊米	六〇五、四八八袋
同在來米	五、〇五〇七
同九糯米	三七、九八一
同長糯米	[illegible]
到着米	一、〇車

正米市況（後場）

期米蓬萊は弱く九糯依然弱し

	當限	中限	先限
▲二期蓬萊	七、八四	八、〇四	八、二〇
	〇三	〇二	[illegible]
▲二期九糯	九、七五	一〇、一三	不申
	七三	一〇	[illegible]

各地期米は依然底堅い所を見せてゐるので當市場の蓬萊も强く當限十七車、中限二十七車、先限三車出來、引跡尚く丸糯は入註薄在庫同に弱落で當限二十八車中限三十九車出來その他不申引跡弱し

大阪期米

▲後場

	寄	引
當	二四、一〇	二四、八三
中	二四、一〇	二四、八四
先	二五、[illegible]	二五、八〇

東京期米

	前	寄	引
寄	二三、九五	二四、九五	二六、一九
止	二三、九九	二四、八二	二六、〇〇
高	二三、九九	二四、九九	二六、一〇
安	二三、九三	二四、七五	二五、九七

神戶期米

	前	寄	引
寄	二四、〇〇	二五、〇一	二六、〇七
止	二三、九〇	二四、九五	二五、九三
高	二四、〇五	二五、一八	二六、〇九
安	二三、九五	二四、九五	二五、九三

各地正米

大阪中の島一、二十錢高、近畿不變、神戶一、二十錢高、深川二、三十錢高、東京、田川十錢高

堂島兩建採除俵合

當限	三六、三〇〇石	賣方北川以下十五店 / 買方水野以下十七店
中限	一三七、一〇〇石	賣方北川以下十二店 / 買方根本以下二十五店
先限	二四二、〇〇〇石	賣方廣商以下十二店 / 買方商船以下二十八店

堂島別建銘柄別清算前場

全廢北道石抜三等二月來着 寄 二三、六四 引 二三、三八 出來高 一、四〇〇石

大阪中の島正米市場

深中濃蓬萊米三等 八、二五

堂島米況後場

【大阪二十五日發電通】後場は株式の活況に連れ人氣良く當中新[illegible]に先も正米筋資出場[illegible]に買進り一十六圓と寄り一圓十錢に九十錢と割り鞘り安の八十錢と付け八十一錢と下ちへ[illegible]八十錢と引け本日出來高五十四萬四千

株況

大阪短期

▲後場

銘柄	寄	引
東洋紡	一四四、四〇	一四四、七〇
日綿	一五九、四〇	一五九、〇〇
日紡	六四、九〇	六四、八〇
鐘紡	一〇五、六〇	一〇五、九〇
日毛	四〇、五〇	四〇、七〇
同新	一四四、〇〇	一四四、〇〇
東新	[illegible]	[illegible]
大株	一八五、八〇	一八六、四〇

堂島別建銘柄別後場

全廢北道石抜三等二月來着 寄 二三、五〇 引 二三、三九

昨日の市況

- 株式 昂騰
- 綿絲 暴騰
- 期米 底堅し
- 砂糖 保合

大阪長期

▲前場

銘柄	寄	引
新株	一八五、九〇	一八五、四〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲後場

銘柄	寄	引
新株	一八二、九〇	一八〇、七〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京長期

▲前場

銘柄	寄	引
郵船	四六、一〇	同新 一二、一四
[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京株後場臨時休會

東京株式取引所は商況人氣高騰したので後場は臨時休會

絲況

大阪綿絲

▲後場

	寄	引
二限	一三六、五〇	一三六、三〇
七限	一四七、三〇	一四六、七〇

大阪棉花

	寄	引
二限	三〇、一〇	三〇、二五

橫濱生絲

	寄	引
六限	六八〇、〇〇	六八〇、〇〇

穀肥

大連取引所

	寄	引
大豆現物	五、三四	五、三七
一月物	五、三〇	五、三二
二月物	五、二七	五、三〇
三月物	五、四〇	五、四七
四月物	五、五九	五、五七
五月物	五、五九	五、六四
豆粕現物	一、八五五	一、八七五
二月物	一、八六五	一、八八〇
三月物	一、八八五	一、九一五
四月物	一、九〇〇	一、九二五
五月物	一、九二〇	一、九四〇
六月物	一、九三五	一、九五〇
豆油現物	一一、三〇	一一、四〇
二月物	一一、三五	一一、五〇
三月物	一一、四五	一一、五五
四月物	一一、七〇	一一、八五
五月物	一一、八〇	一一、九〇
六月物	一一、四〇	一一、四〇

神戶豆粕

▲後場

	寄	引
一限	二、九二	二、九七
四限	二、九二	二、九二
四限	三、〇二	[illegible]

神戶市中相場

- 大豆現物 四、六〇 同先物 三、八五
- 豆粕現物 一、三七 同先物 二、〇五
- 小麥內地 四、二〇 米國物 三、八五
- 麥粉百合 二、八四
- 鯨油滿洲物 二、七〇 上海物 二、八〇
- 硫安內國 二、七〇 外國物 七、三〇
- 過燐酸 一五% 一、〇六
- 同 一九%物 一、三〇
- 硝石現物 八、〇〇

醬油は

更に値上か

關東醬油は組織より値上げをなし關西醬油も本島では一月初めから値上げを實行したが、其後原料大豆小麥等は益々騰貴し一般景氣も漸次立直らんとするので內地醬油は近く更に第二回値上げを行ふ意向であるが、その程度は前回通り大樽一挺一圓二十錢、小樽三十錢位の程度であると云はれてゐる、因に昨年中本島へ移入されたる內地醬油は一萬六千六百四十七石、價額八十八萬一千二百四十六圓にして前年同期に比し一千四百八十七石十三萬一千九百四圓の減少を示してゐる尖張り地方農村の不況で本島人側の消費が減退したのと打續く値下げに商人の買溜めが極度に手控へられた結果であらう

魚類卸商相場（廿五日）

臺北市中央卸賣市場魚部（百斤相場）

魚名	最高	最低	平均
マダヒ	三六、〇〇	二四、〇〇	三〇、〇〇
生スダヒ	二五、〇〇	二〇、〇〇	二三、〇〇
鯖（シビ）	一二、〇〇	一〇、〇〇	一一、〇〇
カジキ	一三、〇〇	一〇、〇〇	一二、〇〇
丸サワラ	二六、〇〇	一八、〇〇	二二、〇〇
大フカ	一三、〇〇	—	一三、〇〇
ソウダ鰹	一六、〇〇	一〇、〇〇	一三、〇〇
ボラ	一二、〇〇	一〇、〇〇	一一、〇〇
カレイ	一二、〇〇	—	一二、〇〇
アラ	一八、〇〇	一〇、〇〇	一四、〇〇
クルマ鰕	二〇、〇〇	—	二〇、〇〇
白エビ	一二、〇〇	—	一二、〇〇
ブリ	六〇、〇〇	—	六〇、〇〇

（乾物相場）一月二十五日手續船

品名		
高雄丸	一二〇〇個	
棘鯛	六、〇〇	四、〇〇	五、〇〇
モチ	二〇、〇〇	一四、〇〇	一七、〇〇
甘タヒ	一六、〇〇	一二、〇〇	一四、〇〇
小甲イカ	一〇、〇〇	八、〇〇	九、〇〇
エイカ	一〇、〇〇	八、〇〇	九、〇〇
小フカ	一〇、〇〇	八、〇〇	九、〇〇
高砂丸	一二〇〇個		
小キクチ	一〇、〇〇	八、〇〇	九、〇〇
クチ	一〇、〇〇	八、〇〇	九、〇〇
サツ	一〇、〇〇	—	一〇、〇〇
十二、十三福州丸	一四〇個		
マタヒ	一〇、〇〇	六、〇〇	七、〇〇

青物卸相場表（廿五日）

臺北市中央卸賣市場青物部（百斤相場）

[illegible]

事業—一．公債株式現物賣買—

事業—一．長期精算取引代行—

取引員 東京一般取引員 鈴木由郎商店

臺北市西門町三ノ一九 財界研究倶樂部 電話二三一一番

支部 臺中市綠川町一ノ六 電話五一一番

婦人と家庭

來る春の「パリ流行便り」

色彩と、型の變化いろ／＼

王子高等女學校顧問 鹽澤洋裁講習所長 **鹽澤沙河**

昨年來臺して本島はおなじみの洋裁界講師鹽澤沙河子女史が婦人每日新聞社主催の講演會一行に加つてこの月末に來臺する事になつた、女史は再び來臺する機會を非常に喜んで左の如き通信を寄せられた

◇

冬とは云へ一月も末になりますと唄の文句ではありませんが「パリの大空薄がすみ」暖かい小春日和が二三日續くやうになつて參ります

× ×

お寒い時の御洋裝は兎角趣味の調はぬ勝ちのものです、それと申しますのは御洋裝に未だ充分慣れ切られぬ御婦人方は、永い間和服を着慣れた習慣から矢張に下著を重ねたり、厚地の服紗物をお使ひになる傾きがあります爲、どうしても全體にぶく／＼した感じを與へどう贔屓目に見ましてもすつきりした洋裝美など見當らぬといふ結果になるもので御座います

× ×

伊達の薄著では御座いませんが多少御自分の洋裝の型を考へ美しさを念頭に留かれるならば眞冬でも富士絹やクレプ、デシンの下著を召され、メリヤスやフランネルなどはなるべくお避けになる位の心がけは必要で御座います

× ×

幸ひに臺灣に住んで居られる御婦人方は此の點薄著が出來ますのでパリ好みの伊達の薄著でスマートの型が望られる譯です。まづ本春のトップを臺灣の御婦人に御紹介いたしませう

春の流行色

ブルークレール（空色の淡い物）クレーム（クリーム色）ローズ（ローズ色淡い物）ヴイオレット（スミレ色）マロン（栗色）ボルドー（ホートワインの淡い色）などが此の春を迎へる色の部です

此の春の目立つた特色といたしましては今までは朝の洋服の色は茶かオリーブ、黒等の原色が主でしたが、今年になり朝の服の色とスポーツの服の色と午後の服の色が一緒になり總て淡い色が喜ばれる樣になりました

× ×

自然色で差別が無くなりますと布地も可なり皆近い物を使つてをりますが、まづ朝はラシヤ地か、やはらかいカアシヤ地類の物でスポーツ服はこれにメリヤス織が盛んに入つて參りました

× ×

それと同時に今まで午後の御洋服やスポーツ服に二色か三色の色の取り組みをいたしました物ですが、本春になりめつきり姿を見せなくなりました。主に單色で襟やカフスに用ゐるのが種々です、又洋服屋なかせの細かく折つたヒダが、盛んに用ゐられる樣になりました

× ×

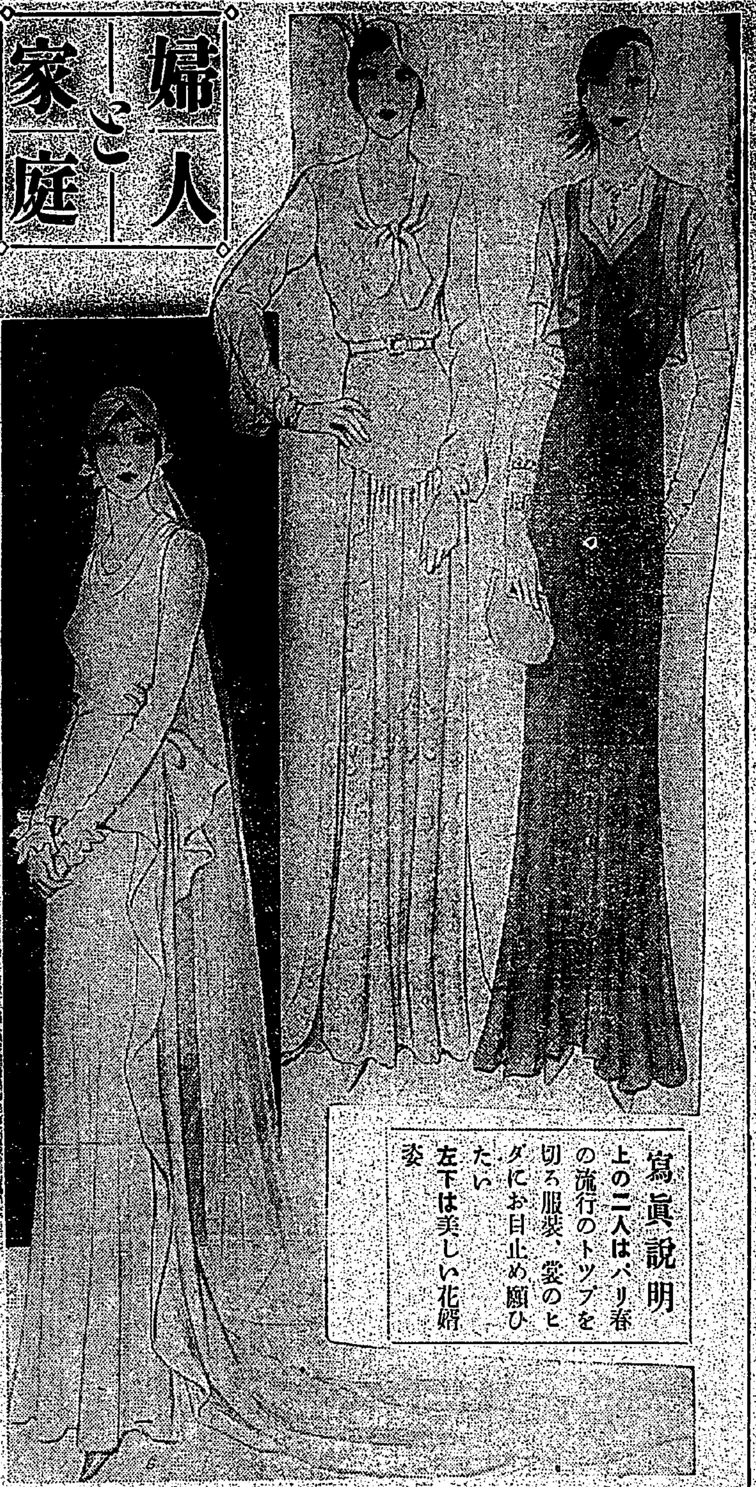
此の細かいヒダは今からフランスでは七、八年前に流行つた物が又此の春に一枚の洋服に此の細かいヒダも大きいヒダを取り合はせて盛んに流行つてをります

× ×

次にレース類、之が又盛んに流行のトップを切つてをります、これは相當高い物なので夜會服などには可なり用ゐました物ですが、此の春は午後の服の巾にも可なり幅を利かして出てをります。少し豫想外の事はスポーツの服と午前の服のスカートが心持ち短かくなつた事です、これに反して相變らず夜會服はます／＼長い物になり背巾はます／＼大き目になつて居ります。次に帽子、これがマルキイ帽と言ひナポレオン時代に流行つた帽子にほんの少しの變つた所を見せて生れ變つて來ました

× ×

これはまるで頭の凹ん巾にチヨツボりのせてあるだけで頭の毛の半分は見える樣になつてをります又布地もビロードやラシヤ地が流行り出しました飾りにはこれも何年前に流行つた大きなダチヨウの羽根や、大きな造花や大きなリボンなどが出て參りました、なか／＼可愛らしい帽子です、日に日に中世紀の型に近づいて參ります。



寫眞說明 上の二人はパリ春の流行のトップを切る服裝、姿のヒダにお目止め願ひたい 左下は美しい花婿姿

內臺結婚の體驗を語る（二）

五人の子福者で家庭圓滿 殆んど日本式の生活ぶり

醫學士 **許章氏の家庭**

進んで內臺結婚を行つて內臺融和の實を示して居られる人々、それら人々に就いて、結婚生活の感想、本島人の家庭生活や本島人婦人に對する觀察及び將來改善すべき點等に就いて意見を聽いて見ることにしました（記者）

◇

大稻埕――太平町三丁目に內科醫院を開業してゐる許章氏（[illegible]）は醫學士で幼い時分內地の教育を受けて來た人、夫人ウノエさん（[illegible]）との間には長男清鄕（[illegible]）、次男維二（[illegible]）、三男裕（[illegible]）、四男[illegible]、長女和惠（[illegible]）の五人のお子さんがある、それ程にも圓滿な家庭を持つてゐられる、許章氏のお宅を訪ふと夫人は臺灣服を著た隱健な姿で早速記者を二階の座敷へ案內してくれた、部屋は **純日本式** で床の間には色々な掛物がかけてあり、椅子ではなく矢張り座蒲團が敷いてある、お話中に何かの用で時々本島人の方と流暢な臺灣語でお話してゐるのにはすつかり感心させられた、夫人は大要次のやうに語つた

◇ ◇

私に[illegible]來てから足掛け五ケ年になりました、[illegible]一寸も反對致しませんので自分のすきなやうに結婚致しました

主人には 今兩親もなければ兄弟も御座いません、主人一人だけで小さい時から小學校や中學校、專門學校までは皆內地の學校で御座います、そして私達の家庭も御覽の通り全部日本式になつて居りますから本島人の御家庭や御婦人についての長所や短所も餘り存じません唯私の目に映りましたのは本島人の婦人は內地人の婦人のやうに自分の主人に對して餘り尊敬してゐませんやうに見えます、何故かと申すと旦那樣が **藝妲の所** へ行つたと言つて人樣の前を構はずどしどしと突つ込んで行くのは餘りよくはありません、もう少し優しくして上げたらどうかと思ひます、私も二三人しか本島人の婦人と交際してゐませんから皆さうとは思ひません、本島人の旦那樣がよく遊びに出掛けると聞いてゐますが若しも內地人の奧樣のやうに大事にして上げれば旦那樣も妾を持つことも少いのではないかと思ひます、私達の結婚でも世間の人々が色々な怪しい目で見てゐます、[illegible]結婚するのには **お金に憧** [illegible]

[illegible]けては居りません、一體に本島人は唯風俗や言葉が違ふだけで本島人の精も內地人と少しも變りはありません、私は內臺人の結婚は好い事だと考へて居ります、私も臺灣語は餘り上手ではありませんが親戚の伯母さんが時々遊びにいらつしやいますので出來るだけ親切にして上げてゐますから一度も喧嘩をした事は御座いません、何時も **面白く話** して居ります、そして私は臺灣服が一番すきです、經濟上から考へますと臺灣服は經濟であるし、和服は非常に不經濟と思ひますから私はずつと臺灣服を著て居ります今は五人の子供の母として何の不自由もなく每月幸福に暮して居ります（終）

（寫眞は許氏夫妻令息たち）

身上相談

近親の娘との結婚を恐れて

私がまだ幼い時父は或る人の娘と私とを許婚にしました、その女は私と同年齡で每日私の家に遊びに來てゐて仲よくしてゐました。私が渡臺する時其の女を殘して來る事が氣掛かりで之を彼女に話すと彼女も同感でしたが然し經濟的に獨立もしてゐないので將來を固く約束して單身渡臺しました、爾來五年の歲月が流れました、然し其の後私は彼女との結婚を好ましく思ひません、殊に二人は近い血族なのです、然し父がききません、結婚するにしても尙五年は猶豫したいのですが此際私としては如何いたすべきでせうか（二十四歲男）

よく諭し慰めて破約になさい

固く契つてゐる二人でありながら今になつてさういふ心持を持つのは無責任です、然し此の結婚をあなたが回避する動機が本當に血族結婚といふ事であり子孫の將來を慮うての事であれば中絕するも宜しいでせう、それなら其の理由を正々堂々と父親にも本人にもよく判る樣に申し送り、あなたとして本人に盡すべき義務は別に盡す樣になさい五年も故鄕であなたとの結婚を待ちわびてゐた人に對しては納得できる樣な理由を以てよく諭し且つ慰めねばならぬと思ひます（係）

▲萬なかだち▼

電話三ツ番 商用家に好適安く讓る 基隆市幸町北川安信電話五五二番

貸家 大和町四ノ二 住宅臺八六 電話一六八三 栗田

貸家 大正町六條中程十八八六 電話七一三三 池上信託商會所

生徒募集 二月一日補缺入學許可 北門町二丁目 シンガー裁縫女學院

生徒募集 二月一日より新四生 [illegible] 講習所

助人學生 [illegible] 研究會

キユーピーマヨネーズ
不意の御來客に
毎日の御食膳に

仕事 製品買受す申込次第案內 男女自宅で永久に出來る手仕事 見本進呈 ●特約店募集● 大阪港區九條北通三 博信社

運動具の御用は 臺日運動具へ

東京獸醫學校 獸醫科 蹄鐵科 生徒募集 ○入學資格・獸醫科高等小學卒又ハ中學二年以上修了・蹄鐵科尋常小學卒業 ○申込期日・四月七日マデ ○詳細ハ郵券封入問合スベシ ○特典・各科共無試驗開業免許・獸醫科ハ此外ニ中學校ノ有スル特典總テ有シ高等獸醫學校ニ優先入學セシム ○東京市外駒澤町下馬

橫濱專門學校（橫濱市六角橋） 貿易科 高等商業科 法學科 生徒募集 試驗地 橫濱京都廣島京城福岡名古屋仙臺東京大阪 詳細ハ切手二錢封入校則ヲ請求スベシ

三重高等農林學校 學生募集 ○募集人員＝農學科、農業土木學科、林學科各約四十名宛 ○試驗地＝津、東京、京都、福岡 試驗期日＝三月二十三日、二十四日、二十五日 詳細ハ郵券貳錢封入照會セラレタシ

財團法人 東洋音樂學校 東京府下雜司ケ谷六百番地 ●豫科百名本科高等師範科男女生徒募集●入學試驗四月四日● 新設普通科入學試驗三月廿五日●別科受驗科隨時入學許可●

流感襲來
一、暴飲暴食するな
一、夜更し、夜氣にあたるな
一、ねつ、頭痛にはスグ手當を怠るな

ハカリ印のヘプリン丸

かぜの事と名が付けば、何でもよいと思ふのは大きな間違です、胃腸を害せず、心臟を保護し、頭痛を鎭め、副作用なく、爽やかにねつを下げるハカリ印のヘプリン丸こそ眞のかぜ藥であります

二十錢（三日分）より、各藥店にあり

大阪市北區堂島濱 參天堂株式會社

チフス・赤痢にダイモール（常備豫防）
（說明書寄贈呈） 東京日本橋區本町 株式會社鳥居商店

注射に優る 內服新藥ネオヘクトン 喘息 効果百% [illegible] 醫學博士實驗證明 本舖 小林商事商會

赤ちやんに一番いゝ國產の粉ミルク
キノミール
ここまでおいで キノミール進じよ
特色 純國產・初めて新鮮で母乳に等しい榮養を含み、貯藏中變質せず誰にでも容易く飲ませられます
說明書見本進呈
全國各藥店食料品店にあり
株式會社 和光堂

びみ あまい ぶどう酒
うまくて 而かも效くのです うまいが一時の歡びなれば 效くは一生の歡びです あなたに一時と一生の歡びさゝげる赤玉です!
赤玉ポートワイン
261

敵の猛射を浴びて
我飛行機墜落す
搭乘者二名は戰死
北鎭の北方で匪賊を攻撃中

（溝帮子二十四日發電通）二十四日午後一時北鎭の北方西安堡上空で熱河山脈に向つて遁走する敵匪を攻撃中平壤飛行隊花澤大尉田中曹長の搭乘機は敵の猛射を受け墜落名譽の戰死を遂げた右墜落機は舊東北軍より押收した爆撃機で搭乘者の死體は二十四日午後四時同方面に進出中の我軍に收容された（寫眞は戰死した花澤大尉）

我空軍最初の犧牲
戰死した花澤大尉、田中曹長

【溝帮子二十五日發聯合】我空軍の精鋭獨立飛行第〇中隊花澤大尉、田中曹長搭乘の飛行機は二十四日午後西安堡西方二キロの地點で優勢な敵匪の集團を發見し、これに爆撃を加へたが敵は頑強に抵抗し、陸、空の間に猛烈な戰鬪開始されたが遂に同機は敵彈の集中を受けて墜落し兩氏は名譽の戰死を遂げた、これは我空軍最初の犧牲である

花澤大尉の弔ひ合戰
愛國號第一、二號機出動

【奉天二十五日發電通】花澤大尉、田中軍曹の戰死を聞き奉天飛行隊は之が弔ひ合戰をなすべく二十五日正午より出動したが愛國號一、二號機も之に參加した

陸軍の內臺飛行に
最初に成功した花澤大尉
酒は少し飲んだが小唄は上手
死を惜しみ乍ら野間大尉は語る

【屏東電話】滿洲で勇敢名譽の戰死を遂げた花澤友男大尉は屏東飛行聯隊と共に赴任、既に飛行[illegible]した川崎大尉と當時中尉で花澤と[illegible]いはれた青年將校である、この度の報を聞き[illegible]聯隊長外「よく奮戰にやつた」と讃へながらも將來を囑望されてゐただけに大尉の死を惜しんだ、陸軍航空の

八八機 による內臺飛行が昭和四年十月決行された時同大尉はその一番機を操縦、中村[illegible]三大尉同乘で花蓮港方面から屏東飛行場へ飛んで來た、[illegible]の歡呼はいふまでもない、二番機[illegible]加藤大尉操縦（今回愛國機操縱者）[illegible]同乘で佃路には多少時間を要したが陸軍の內臺飛行には

最初の 成功を示した人である、同大尉と當時よりの親友野間大尉は語る
花澤大尉は千葉縣の人で夫人も同縣で長男は小學校二年生、長女三歲があります、出身は久留米騎兵聯隊の少尉から航空に轉じ中尉に昇進したもので昭和六年四月朝鮮第六聯隊に

三中隊長として行つて途中で八八偵察機に乘つたものと思ひます、同大尉は

酒は大 してのみません[illegible]小唄が上手で、[illegible]今日の飛行[illegible]をなしてゐます、[illegible]陸士の[illegible]には

[illegible]るりを入れた、二十九期生で今年三十六、七歲と思ひます

錦州攻撃の
空の殊勳者
事變發生と共に出征

【所澤二十五日發本社特電】名譽の戰死を遂げた花澤友男大尉は昨年九月滿洲事變發生と共に平壤飛行六聯隊附から獨立飛行中隊長に選拔されて出征し錦州攻擊の際は空中一番乘の殊勳をたてた勇士で昨年八月までは所澤飛行學校教官として在職その間所澤太刀洗間の開拓飛行に參加した家族は夫人との間に二男一女あり目下平壤に住んでゐる

基隆署で消防
研究座談會

【基隆電話】基隆署では最初の試みとして二十九日午前九時から署內道場に於て司法主任以下消防係巡查、消防組幹部、市役所係員等の參集を求め
一、昭和六年の回顧
二、下田町の火災を基礎としての研究
三、損害を最少限度に留めるには
四、防火思想普及
五、避難方法
等の五項目を議題に消防研究座談會を開催するが成績の如何により今後引續き行ふと

敵匪襲來して
大凌河の鐵橋を爆破
錦州への列車、電信電話不通

（溝帮子二十五日發聯合）今朝四時大凌河の大鐵橋は襲來せる敵匪賊のため爆破せられ電信電話線切斷され當地錦州間列車電信電話とも全部不通となつた

手榴彈を投げて交戰
大凌河驛孤立に陷り
中村大尉は遂に戰死

【奉天二十五日發電通】大凌河と雙羊店間の電信電話線全部切斷され大凌河橋梁、鐵道線破壞され大凌河驛は孤立となり我部隊は今朝七時半敵に手榴彈を投げて交戰中である隊長中村大尉、諫山滿鐵社員戰死し我兵二名負傷した

官民有志主催の
平塚長官歡迎會
廿五日鐵道ホテルで
盛大に開催

臺北市の官民合同平塚新長官歡迎會は二十五日午後四時二十分から鐵道ホテルに於て開催、臺北市は勿論のこと近接郡部の主なる人々並に全島各地から集つた有志等合して六百餘名出席

音樂の 合圖で一同會場たる[illegible]場に入り、席定るや長官は內海臺北市尹の案內にて壇上正面に著席、發起人總代として臺銀理事荒木正次郎氏は一同を代表して歡迎の辭を述べ次で平塚長官は悠揚迫らずしかも[illegible]二寸の[illegible]を見せて音吐朗々と

今回當府總務長官の命を拜して一昨日著任致しましたが當日は基隆官民多數の歡迎を受け、本日は官民お[illegible]かく多數御列席の下に歡迎の宴をお催し下され只今は私にとつて過分の

御言葉 を頂き、臺灣著任の第一歩に於て斯くの如き御厚情を忝うしたことは寔に感謝感激に堪へない次第であります臺灣は言ふまでもなく歷代總督一視同仁の御聖旨を體して官民協力一致、世界文化の粹を取り入れて本日の盛なる發達を來したことは寔に國家の爲めに喜びに堪へません私は永らく地方行政に携つてはゐましたが、拓務行政は今回が初めてであります私は東京府知事として加藤、若槻、田中の各內閣に歷任し民政、政友と經て來たのでありますが、併し機會があつたならば拓務行政をやつて見度いといふ希望があつたのでありますが今回この希望が實現して當府勤務を命ぜられたことは愉快に感ずる所であつて、今又皆樣の斯くの如き

歡迎を 忝うして感激して皆樣の御期待に添ひ度いと期してゐる次第であります、併し私は事業には至つて不慣れであります、今日の時務を見まするに我國は明治大帝の御鴻業を爲し遂ぐべき時に際會してゐると考へるものであります、東洋に於る我國の地位世界に於る我國の地位に鑑みて益々我國の發展を計らねばならぬと考へます、皆樣の御後援と腹藏なき御指導に依つて永らく

島の爲 めに盡し度いと思ひますから從來の長官と同樣私に御同情御後援を寄せられんことを希ふ次第であります。臺灣の各種の問題に就ては改めて御意見をお伺ひすることとして本日のこの盛宴に對して重ねて御禮を申上げます

と鄭重なる謝辭を述べ終つて大食堂と演藝場とに分れて開宴、歡談の後荒木臺銀理事の音頭にて一同杯を擧げて長官の健康を祝し長官は一同の爲めに乾杯し午後五時十五分閉宴した

平塚長官の歡迎會 （上）挨拶を述べてゐる平塚長官（下）は鐵道ホテルの歡迎會場――壇上は平塚長官と、歡迎の辭を述べてゐる荒木臺銀理事

督府會議室での
長官の挨拶
全島官吏に呼びかく

二十五日午前十時督府會議室に於ける府內高等官及び在北各官衙長に對する平塚新長官の挨拶は左の如くでこれが長官の全島官吏に呼びかくる第一聲である右に對して[illegible]長が一同を代表して答辭を述べた

私は今回當府總務長官の拜命を致しまして一昨日著任を致した次第であります、茲に皆樣と初めて相會しまして御挨拶を申上げることは私の洵に欣快とし光榮として居ることの出來ない第一步であると信ずるのであります、私は御承知の通りに多年府縣の所謂內務行政には關與致して居りました次第でありますが、植民地の

行政に 關係を致しますることは今回初めてであります、從つて自分と致しましては此の新領土に其の行政の局に當ると云ふことは洵に喜びであり、愉快であると考へて居るのであります。併しながら初めてのことでもございまするので、全く經驗がないのであります、殊に臺灣の地は初めてであります、此の總務長官の重任を全うすることが出來るか否かと云ふことに就きましては衷心甚だ[illegible]たるものがあるのであります、然し諸君の如き多年本島の事情に精通致されまして克く實地の經驗を積まれました方々が多數おいでに相成りまするので私は總督閣下御指導の下に皆樣の御後援を得まして其の職責を全う致したいと思ふのであります、之が爲に自分が著任を致しました上に於て力強く考へる點であります。皆樣方各自の御所管の事務に就きましては追々忌憚なき御意見を拜聽致したいと考へまするが、私は皆樣の正しい御意見に對しましては之を容るるに決して吝なるものではないのでありますから、何卒充分御腹藏のない御意見を披瀝致されまして共に倶に所謂

衆智を 聚め工夫を凝らしまして力を竝せて本島の爲に最善の努力を致したいと考へる次第であります、蓋し施政の根本方針は改隸以來終始一貫して變らんことは申す迄もないのであります。即ち本島は帝國の一部分でありまして殊に南方發展南國防の上から考へまして重要なる地位にありまするとは之れ亦申す迄もないのでありまするから其の新附の民たると否とを問はず齊しく 陛下の赤子として一視同仁の 聖旨の下に本島文化の向上と福利の增進とを圖りまして、さうして國運の進展に寄したいと考へるのであります此の一旦致しました所の方針の下に歷代總督を初め先輩の各位が本島統治の爲に盡されました所の結果として領臺三十有餘年の今日にかきまして諸般の施設が着々として整ひ文化の向上に或は產業の

開發に 長足の進步を致しまして、今日の如き立派なる治績を見るに至りましたことは之は獨り本島に居られる方々のみでなく我が國民全體の齊しく感謝致して居る所であると信ずるのであります。然し翻つて考へて見ますると云ふと未だ開發されざる所の資源も或は尠くないのではなからうか、又時勢の進運に伴ひまして科學の研究を基調として改革を要するものがあるのではないかと思ふのであります。願くば皆樣と共に日進の研究を以ちまして不斷の努力をして邦家の爲又本島の爲に一層の奮鬪を致したいと希望する次第であります。終りに一言致しますことは、愉快に而も明るい氣持ちを以ちまして

仕事を 致しますことは能率を增進する所以であります又自分の仕事が如何なる關係を有して居るかと云ふことを絕えず考へますことは親切が依つて生ずる所以であると思ひます。一般[illegible]されざる所の多くの力が偉大なる效果を來す所以であると云ふことを考へて居る次第であります。又官紀は常に嚴肅を保たなければならんことは申す迄もありません、[illegible]共に供に事に當りますならば公正なる政治の實果を納め得ると私は信じて居る次第であります。之等の點は申す迄もないでありますが唯私の微衷の存する所を御諒承を得ましたならば幸であると信ずる次第であります、之を以ちまして所感の一端を述べまして此の御挨拶と致します。どうか何分將來宜敷御願を致します

平塚新長官の
市內巡視日程
平山知事以下隨行

平塚長官の臺北市內巡視の日程は左の如く決定、隨行者は平山知事、深川文書課長代理、山下、高木兩屬である

△二十七日 午後一、〇〇總督府發一、〇五法院着（高等法院、同檢察局、地方法院、同檢察局に四十分）一、四五法院發、一、五五臺北州廳著、二、二五同發、二、三〇臺北市役所著、二、五〇同發、二、五五臺北[illegible]著、三、二五同發、三、三〇稅關著、三、五〇同發、四、〇〇官邸著

△二十八日（臺灣神社月並祭、御眞影奉戴式、軍司令官出迎の爲め市內巡視は行はず）

△二十九日 午前九、〇〇官邸發、九、〇五遞信部著、九、二五同發、九、三〇專賣局著、一〇、二〇同發、一〇、二五刑務所著、一〇、四五同發、一〇、五五營[illegible]著

△三十日 午前九、〇〇官邸發、九、一〇大學著、九、四〇同發、九、五〇高校著、一〇、二〇同發、一〇、二五高商著、一〇、四五同發、一〇、五〇醫專著、一一、一〇同發、一一、一五臺北醫院著、一一、四五同發、一二、五〇官邸著

事務報告日程

新長官に對する事務報告の日程は左の如くである

▲二十六日 午前十時官房各課長、十一時內務局長、十一時半文教局長、午後一時財務局長、一時半殖產局長、二時營林所長、二時半警務局長

▲二十七日 午前九時中研所長、十時遞信局長、十時半專賣局長、十一時稅關長

新長官の
行事日程

平塚長官は臺北での新任の行事がすみ次第地方初巡視へ出かけ度い意向であるが、二十八日には新任の阿部軍司令官が著任するのでこれとからみ合ひ、臺北での行事に今週一ぱいはつぶれるが行事日程は左の如くである

△二十六日（火） 午前九時から午後二時半ごろまで事務報告を受け、午後三時より在北官民主なるものを鐵道ホテルへ招待

△二十七日（水） 午前九時中央研究所に到り所長として挨拶を述べ十時歸府、更に事務報告を受く、午後市內巡視

△二十八日（木） 御眞影奉戴式、蓬萊丸で來任の阿部軍司令官を基隆まで出迎へ

△二十九日（金） 午前十一時まで市內巡視、午前十一時歸府、軍司令官の督府來訪につき會見、午後は只今の所豫定なし

△三十日（土） 午前中市內巡視（學校關係）

以上で大體臺北の行事を終り三十一日又は一日より地方巡視へ出かけることとなる筈

神戶埠頭の
盛んな見送り
阿部軍司令官出發

【神戶二十五日發本社特電】新任臺灣軍司令官阿部中將は二十五日午前八時半大阪ホテルから自動車で大阪驛に向ひ同驛に集まる第四師團管下諸兵の見送りを受けつつ大阪驛發九時三十五分發列車にて神戶著、少憩の後大阪オーナードライバークラブの自動車で埠頭に向ひ少年航練隊一千六百名の歡迎を受け十二時蓬萊丸に乘船した、サロンには寺內第四師團長、各聯隊長、齋藤大阪衛戍病院長等の金モールで埋まりその間を右往左往するミチ子夫人の知り合の將校夫人それぞれに夫君の[illegible]祝と送別で一緒に[illegible]稻田氏夫人とその友達等の見送りで一杯だが外に白根知事、黑瀨市長等多數の見送りの中で司令官は晴れやかに語る

臺灣へは一度も旅行したことがないので全く未知の所だ從つて豫想もないわけだ向へ行つてから大いに勉强するのだ

と至極朗らかに云つて正午萬歲聲裡に赴任した

石川畫伯の畫會

石川欽一郎氏は近く退職東京へ行くので在臺十五年間の師範教育に或は本島美術の啓發に寄せた功勞を酬いるため官民有力者發起となり同氏の畫會を起す事となつた、

[illegible]募を行ふと

新竹市の
建國祭行事

新竹市役所にては二月十一日の建國祭當日意義ある建國記念日を一般に印象づける爲祝賀式は小公學校上級生の旗行列を行つて建國歌を高唱せしめ夜間は山本市尹始め市の吏員を以て建國の意義を宣傳する外宣傳ビラの配付等を[illegible]

二七齒科醫
引致さる
北署の手で

[illegible]希望者は二月二十日迄に臺北第二師範三年[illegible]太郎氏宛に申込まれたいと

二十五日午後三時頃臺北北署[illegible]刑事は二七齒科醫として臺北[illegible]北投三四二番地[illegible]を引致取調べを續けてゐるが右は齒科醫としての免許なくして以前より密かに齒科醫を開業し北署より數回の罰金に處せられてゐるにもこりずに二十四日午後八時頃市內建成町一の五七[illegible]氏の[illegible]（三〇）に對し四圓五十錢で齒の治療をした事を[illegible]に探知されて署へ引致されたものである目下嚴重取調中

殉教血史の試寫

臺北の基督教青年會では殉教血史日本二十六聖人の大作フヰルムを一般に紹介することとなり二月五日より五日間新世界館で上映するがこれに先ち來る三十日教育會館で試寫をやると

臺北福岡縣人會

臺北福岡縣人會では二十八日午後五時から市內[illegible]の家で[illegible]會を開くが會員多數の出席を希望して居る、當日の會費は三圓で婦人にして入會希望の向きは同縣人會幹事（電話六五四番）に申込まれ度いと

厄除開運星祭り

市內西門町弘法寺にては例年の通り來る二月四日（節分）午後六時より厄除開運星祭りを執行する

荊妻河內[illegible]儀永々病氣の處養生不相叶一月二十五日死去致候此段[illegible]葬儀は二十六日午後四時西門町弘法寺に於て佛式を以て相營み可申候

夫　勝次
長女　ハル江
親戚　中野金太郎
同　中野繁藏
同　木下七郎
同　後藤正男
友人　山口德三郎
同　有田甚吉

▲場所 北投温泉星の湯ノ上一帶ニ五萬餘坪 ◉整地シアリ◆上水及温泉ノ引込ミ容易
住宅及別莊地
●住宅及別莊地トシテ北投ノ[illegible]
▲分讓 一時拂並ニ月賦拂ノ方法ニテ分讓
●詳細ハ[illegible]商會ニ付キ御問合セ下サレ度
臺北市榮町一丁目一番地 電話七一三番 池上信託商會
土地分讓

日活不朽の特作 原作[illegible]田六郎 監督 辻吉郎
主演 片岡千惠藏 酒井米子 山田五十鈴 嵐川路三郎
[illegible]木心中
日活 主演 熊谷久虎 佐久間妙子
動員令
幻の花嫁
世界 2 館

●都湧き上る 華やかで、美しい六十有餘名の大英集團スズラン座の歌劇
スズラン座歌舞劇團
●京阪神各地にて絕讚を博したる
大レビュー 忠臣藏
オペレット劇のカフエー・オンパレード
歌劇 若[illegible]子殺（一幕）
舞踊
來る一月卅一日限り
於 榮座

漢文臺灣日日新報

大淩河驛大匪賊襲來
我軍被圍苦戰中

二十四日奉天電。北寧線北淩河驛。昨夜來受大集團匪賊包圍。與我軍激戰中。至今朝兵匪似未退却。我部隊目下苦戰中。

中國回答若不滿足 當卽時決裂
村井總領事發表

二十五日上海電。二十五日午前。村井總領事。訪市長吳鐵城氏。促中國回答。若回答于日本不能滿足時。卽欲決裂云。

金澤大尉搭乘 飛機去處不明

二十五日奉天電。二十四日朝。打虎山滿帮子。奉天飛行隊活躍。二十四日夕刻歸還。金澤大尉。田中軍曹搭乘一機。至二十五日朝。猶未歸來。目下搜查中。金澤大尉。乃優秀飛行技術獲得者云。

花澤機受敵射墜 搭乘二名戰死

二十五日滿帮子電。二十四日午後一時。北鎭北方西安堡上空。平壤飛行隊花澤大尉。田中曹長搭乘機。攻擊向熱河山脈逃走之敵匪。受敵猛射墜落。名譽戰死。右墜落機。乃押收舊東北軍之爆擊機。搭乘者死體。二十四日午後四時。爲同方面進出中之我軍收容。

抗日義勇軍決死隊 兩名爲放火犯

二十四日上海電。襲公使官邸之抗日決死隊員二名。午後六時四十五分。越裏門牆塀。潛入邸內。乃國民自勵抗日義勇軍決死隊員郭斐文。張南生二名。現場遺留證據品。有赤[illegible]、石油等之外。且有耐記隊名記入之藍色木綿上衣二著。抗日會員徽章。拳銃二挺。

山海關方面 我軍用電線被切斷
我軍嚴重抗議

二十五日天津電。最近山海關方面。我軍用電線。屢被切斷。我守備隊苦之。二十三日夜。秦皇島東方五粁地點。電柱六本。長五百八十米之電線。亦被切斷。守備隊卽向何柱國嚴重抗議。中國若不負責任時。我軍通告欲適宜之行動也。

事比國交斷絕更甚 口頭文書已不足用
陸戰隊首腦部談

二十四日上海電。公使館燒打事件。陸戰隊首腦部語左。事至于今。乃國交斷絕宣布以上大事件。口頭文書。已無用也。

若拒絕不可侵條約 則有侵略的意志
勞農機關紙高唱締結

二十四日莫斯科電。二十四日勞農機關紙。高唱日俄不可侵條約之締結。謂日本若拒俄提案之不可侵條約。日本有侵略的意志。日本新聞。擁護軍閥。反對此條約之締結。實不可解。某國在南[illegible]。欲得漁夫之利。望日俄戰爭起事。然俄之平和政策。于此回滿洲事變。可以明之

公使愛犬 最先發見

二十四日上海電。重光公使官邸放火。最初發見者。爲公使愛犬。見火焰炎上。卽大聲而吠。警備者急往消防。幸得無事云。

定例閣議 擬積極的保護僑民

二十五日東京電。二十五日臨時閣議。午前十時開會。除大角海相以外。犬養首相以下。全閣僚出席。左近司海軍次官。關上海事件。報告最後狀況。芳澤外相更補足之。且就今後對策。交換意見。結局避消極對策。今後依與中國交涉結果。積極的保護僑民。將適宜措置。十一時散會。

至少可得二百五十名
政友會豫想

二十五日東京電。政府及與黨。欲期必勝。嚴選候補者。尊重言論。久原幹事長。當候補者之銓衡。一切力排情實。執當選第一主義。尊重地方支部意向。置本部支部連絡。又與內務省之間。以松野政務次官。與內閣之間。以森書記官長爲連絡係。至一月二十七八日。可發表第一回公認候補。其當選豫想數二百六十名。又最惡時基本數如左。

	解散前	當選豫想
關東	三一	四七
東北	三二	四一
北信	一五	二四
東海	一六	二五
近畿	二一	二〇
中國	一六	三三
四國	一〇	一六
九州	三〇	四四
合計	一七一	二五〇

南雅社廿三回月例會
兼爲市村博士餞別

南雅會例會。去十九日。會於園山四時美棧。會者十餘人。市村器博士將歸東京。仍兼爲餞別席上聯句如左。

東洲故壤入新正。器堂
東風吹度綠始萌。天隨
梅花綴玉瑞色明。耆南
柳染鵝黃千縷輕。壺溪
餘霞如綺輪晚晴。成軒
四望蒼景時未成。陵村
百尺劍潭波色清。排雲
一翠鼓殘斜照傾。地庵
隔水華表倚崢嶸。思齊
橋姿勞虹影橫。潤菴
斜岸泊舟暮潮平。天籟
滿煙團樹神鴉鳴。古村
此夕何堪別離情。成軒
明日行舟浮大瀛。排雲
北顧爲君算歸程。陵村
柳枝一曲薦行觥。耆南
他年重訪[illegible]鷺盟。潤菴
相思千里隔帝城。天籟
回頭風雲幾變更。壺溪
久矣遊蓬進天兵。地菴
夜傳民撤魂夢驚。思齊
閩越々看殺氣生。器堂
氷天雪客試遠征。古村
欲跨東海居長鯨。天隨

外報續揭不敬記事
使館決意交涉廢刊

二十四日北平電。北京外報。續揭不敬記事。公使館當局憤激。決使廢刊。嚴重抗議張學良氏。該報爲中央政府排日機關。張氏難以獨力處理。公使館。堅持到底。或要求限期回答云。

高昌廟火藥爆發
反露軍事行動

二十五日上海電。火藥爆發。華人謠傳日本軍已占高昌廟火藥庫。本日午後。急欲運入龍華警備司令部。以相對抗。遂至於此。中國軍事行動。[illegible]端公露云。

我軍空陸兩方攻擊
匪賊損傷多大

二十四日滿帮子電。宝〇關各部隊。漸縮兵匪包圍線。午後二時頃。村井〇關。進石頭堡。閭屯。正安堡線。湯村〇關。進西方地區。北間村井〇關小林枝隊。於拉拉屯東方北羅前江盤。破兵匪三百名。一部武裝解除兵匪。漸見壓迫於西方山屯。我軍飛行隊。亦出動與之。敵匪大損害。愛國第一號爆擊機。此役亦參加。三時餘飛翔。應援中島枝隊苦戰。機體中敵彈四發。多少破損。又愛國第二號機。赴打虎山飛行場。今後合當奉天飛行隊直接指揮命令云。

民政黨
至少可得
二百廿八名

二十五日東京電。今回總選擧。民政黨以維持現有勢力二百六十一名爲目標。然有干涉壓迫等。最少豫想二百二十八名。安達一派並無產黨、革新其他中立當選。豫想二十名。則政友會當選數二百十八名。以十名之差。歸民政黨勝利。結局比現有勢力之二百六十一名。減三十三名。爲二百二十八名。

欲求高橋藏相蹶起
使委員上京交涉

二十五日盛岡電。岩手縣第一區。欲求高橋藏相蹶起。使委員上京交涉。

二緊急勅令案
回附精查委員會

二十五日東京電。滿洲事件費及減債基金一時繰入停止所關。財政處分緊急勅令案。二十五日豫行審查。附諸金子堅太郎子爲委員長之精查委員會。

吳佩孚氏
抵包頭鎭

二十五日天津電。吳佩孚氏。二十四日午後五時二十分。與參謀長以下高級隨員二十餘名。並夫人及九歲孫同伴。以自動車抵綏遠省包頭鎭。俟部下至。擬以綏平線。月末入北平。

太田總督
勤務滿一年
得敍勳一等

太田總督。自去年正月廿六日。拜命以來。以本日滿一年。據某消息通言。總督現勳二等。從此很限敍勳一等。且總督恩給加俸則亦居云。

新軍司令官
抵任順序

阿部新軍司令官。豫定二十八日下午二時五十分抵臺北驛。著北儀式。有步兵第一聯隊儀仗隊及其他兵隊。堵列驛前迎接。軍司令官。自驛前乘馬。偕幕僚及各部隊長。受儀仗及堵列奉迎。同三時三十分在偕行社受在北各部官伺候式。

來月四日
巡視新竹

阿部新軍司令官。豫定來月初四日。初巡視新竹方面云。

平塚長官初登廳
對府內高等官在北官衙長
述禮辭披瀝所信

平塚長官。二十五日午前十時。出官邸。受官房各課長。及各局長出迎。初入督府。由角田會計課長代理。導入公室。旋到會議室。對府內高等官。在北官衙長。述禮辭。闡于臺灣統治。披瀝所信。對此。幣原帝大總長。代表一同。述答辭。至同十時四十分告終。由是長官。再由角田會計課長代理前導。一巡府內。巡視各局課。十二時歸公室。因新長官登廳。府中各局課。俄呈活氣。緊張辦理事務。

外國領事團
訪問長官

外國領事團。二十五日午前十一時。往督府。訪問平塚新長官。述新任祝辭。領事團。卽中華民國總領事林紹楠。及英、美兩領事。荷蘭名譽副領事。民國副領事袁家達。美國領事館松尾通譯諸氏。在長官公室會見。平塚長官。介文書課超村氏通譯。起述鄭重禮辭如左。此次本官。就任臺灣總督府總務長官。抵任之時。獲諸位來訪。非常光榮。深表謝意。臺灣。自日本帝國。始政至今。迄三十七年。此間因殖產工業之非常發達。通商貿易。自然與貴國。益有密接關係。余得總督閣下指導。就本府對貴領事館問題。欲圖十分協調。希貴前任各同樣援助。對此。領事團首席之林氏國總領事起言。余昨日由本國歸台。茲承長官閣下。敍述鄭重禮辭。余等一同。欣喜不啻。我領事館。對與貴府間之問題。倘如所云。亦希十分協調辦事。由是入雜談。長官對各領事。言任臺灣。行幾年。倘若互有不便之處。則請告語。余此回[illegible]到任。亦與夫人交際。余在神戶時。曾受貴國領事十分照料也。右領事團。於同十一時二十分辭去。

新春雜述　久保天隨

戶々松筠瑞氣多。春回偏惹曉風和。[illegible]函卷引紅日。酉客門頭投刺過。
無復人亭顏闔居。錦雲[illegible]
[illegible]回瑞煙浮。願贈北閩瓶稜迦。蔣宦天涯易白頭。
豹虎跳梁殺氣雄。將軍一擊穩成空。王師屯在烏桓地。應拜扶桑出日紅。
將游只合樂餘生。歲首心間病亦平。省識壺荒風七異。明朝行李又南征。
前程誰得著思量。身世浮沈願自傷。只願編年添一卷。新春祇續詩忙。
[illegible]

[illegible]夢。祗知銷恨有詩篇。
長橋舟過蓉淵漲。古寺疎殘斜照昏。眠食從今須更穩。兩京耆舊幾人存。
送君悄立水之涯。昨共琴尊今別離。分手偏先歸雁時。傷心恰值夕陽時。[illegible]臺花木韶光早。大海魚龍濶信遲。旣是入山游賞足。乘槎莫嬾看梅期。

新年所感　尾崎古村

[illegible]門日麗旭旗斜。[illegible]

時評

○國交斷絕。不特無補大局。荷雨强行。反動大矣。孫灣諸硬派。勉順大勢。讓步作罷。於兩國關係上。不無一線光明乎。

○外長陳友仁君。主張不見容。決然告退。昔非毅然大丈夫哉。願君皆來朝訪察。乃亦出此舉者。謂之豈不知己彼可矣。

○上海抗日會員。潛入重光公使官邸。放火。登時發見撲滅。此等舉動。在人無損。在己爲賤。徒成國際問題。累國府忽忙手耳。

○寧漢兩地。兩國軍隊。相將配置。果爲戰備耶。目下謠言四起。華人欠通識者。不知若何爲危耶。

○一二年來。山村茶戶。爲不景氣影響。茶價慘跌。爲生計維艱。淡水郡石門信川組合。特設販賣機關。以救燃眉之急。宜也。

○苑裡老媼洪氏。爲新竹州下製帽功勞者。今也。該州管內。年出三百萬圓。而媼孤老。三餐且不繼。地方官。原始錄功。表彰救濟。不當優厚乎。

新竹信組總會平穩
監事重任僅選擧評定委員

新竹信川組合第十九回通常總會。去二十四日午後一時四十分。開於新竹公會堂。有李勸業課長。王手州府金融課長。稻川州產業主事其他關係々員及來賓多數列席。一同起立禮。新原組合長。奉讀詔書。次述開會辭。移入議事。監事代表鄭大明氏。報告監查顚末。清水專務理事。詳細說明事業經過。由三三組合員。關於未收損害補償金。役職員退職慰勞金。組合員新加入。信川評定。貸付金回收等質問百出。由專務理事。一一回答。迨至午後四時過。結局承認事項三件。照原案承認。次移入決議事項。附議借入金最高限度定二十萬圓。及一組合員貸付金。決定一萬圓。兩件組合員中。有提議貸付限度額降下。議論紛々。暫時休憩後再開。結局。借入金。照原案。而組合員貸付金。決定爲七千圓。繼而決議置常任監事之定款改正。並報酬。移入監事五名。信用評定委員二十名改選。有主張投票選擧。有提倡重任。一時甲論乙駁。監事五名。終決定重任。僅就行信用評定委員之選擧。宮本金助氏。外十九名。選。至午後七時半。平穩裡閉會。

長官訪司令部
敍新任禮

平塚總務長官。去二十五日午前十一時半。訪軍司令部。與小杉參謀長以下各部長。敍著任禮辭。

臺北驛初試驗
設手小荷物
荷造所

道部臺北之臺北驛。自久木川驛長就任以來。就旅客之辦理。銳意注意。極力圖改善。昨年來。在驛入口右側。設案內所。對不熟識之旅客。不論何事。悉親切應其質問。雖卽座不能應答事項。亦調查答之。頗博好評。而此次更在手小荷物辦理所之側。新設手小荷物荷造所。到臺北驛之荷物。荷造不完全。或受取荷物不完全之時。若一受囑託。立爲荷造。又包有荷札。木札。蠅。油紙等荷造必要物。其常便利。希望一般利用之云。

高雄興業總會

高雄市興業信川組合。[illegible]月二十四日午前十一時頃。假澎湖公會館。開第十五回通常總會。組合員六百零九之中。二百六十三名出席。首由組合長黃慶雲氏。述開會詞。次常務理事滿課氏。報告經過。繼入議事。一瀉千里。通過原案。時已正午。卽一同進入懇親宴。歡敍至午後一時半散會。

臺北藥業組合
定期總會

臺北藥業組合。來二十七日午後三時。欲在大和町竹乃家旅亭。開定期總會。凡組合員提案。須于開會前日。提出組合。總會後。續開新年宴會云。

北斗郡鹽糖區霜害
會社發表蔗價過酷
蔗農擧代表抗議

降霜。北斗郡下。蔗害狀況。曾誌本報。蔗農之悲苦。實出於極度。去十九日午後三時。鹽糖會社。慶原料係長。再到二林駐在所。招集各原料委員。發表甘蔗割取方法及價格。對於糖分十二度以下者。不割取。十二度以上。至十八度。止扣二成。十二度以下。甲當十萬斤以上之原料者。補助金二百圓。十萬斤以下。七萬斤以上者。補助金一百五十圓。七萬斤以下者。補助金一百圓。對此平均。實不及肥料工資。至於園租金。更全部烏有。以鹽糖會社區域內。二林新千餘甲。就中二林。占最多數。爲六百三十餘甲。其不成糖之純粹被害者。約有七成之數。卽四百四十餘甲。以當時每千斤四圓二十錢。甲當十千斤換算。則此全額。約十九萬餘圓。若全區域之損害。其金額。約逾三十萬餘圓之多。際此不景氣之今日。蔗農備受滿二箇年間苦辛。方待收穫。不期天災突降。糊口無方。且會社川此時極力法對待。卽蔗農。向來對會社所借金及肥料。對抵尚不足者。應支出金項返還。故蔗農聞之。立派代表抗議交涉。懇請會社匡濟蔗農苦衷。要求相當救濟。及善後策。倘會社側不容納。恐生出地方下大問題。而代表亦要再出州郡當局陳情。以促會社反省云。

中鐵百圓獻金

新營郡鹽水街鹽水豆粕肥料卸商。元同街組合書記蔡金君。各年中對鹽水港信用組合。購入割增二千圓之勸業債券一枚。本月抽籤發表。蔡氏當籤百圓。全部持向鹽水兵器獻金募集乾班長之處。聲明寄附。美舉也。

芭蕉移出
改由高雄港
省費十數萬圓

高雄青果同業組合。豫定二月中旬起。移出芭蕉于內地。從來移出于關門。神戶。長崎。金澤。名古屋方面。藉基隆直航船輪送。本期由該組合理事者盡力。決定自高雄港移出。省却移出經費。約十二三萬圓云。

新長官夫人
任愛婦支部長
巡視職業學校

平塚新長官夫人。就任愛婦臺灣支部長式。去二十五日午前十時半。在同支部樓上。有小栗副長、幣原、殖田、河村、小寺、竹內、村上、大島、望月、中瀨、白勢諸評議員出席。在支部會議室。對一同敍新任禮辭。次三浦主事。報告概況。後巡視同支部之職業學校。臺北園等。同十一時半。歸

總務長官歡迎會
官民八百餘名會於鐵道旅館

既報由臺北官民主催之新總務長官平塚廣義氏歡迎會。二十五日下午四時。開於鐵道旅館。來會者可八百餘名。先一同集會於餘興場。由臺銀荒木氏。代表發起人一同。朗讀歡迎詞。歷敍長官。自明治三十五年東大畢業後。仕官到處有聲。殊如當加藤高明內閣時。任東京府知事。其政績猶在人心目間。今値對外多事之日。何幸迎此人格崇高。頭腦明斷。裁斷如流之名長官。不勝爲全島民之福祉增進慶幸云々。其對於是新長官。則謙遜不敏。言臺灣歷代總督。奉體皇室一視同仁聖旨。各般施設。採外來文化之所長。但有今日。余雖仕宦各地。並任東京府知事。經加藤、若槻、田中、濱口四內閣。在任凡四年間。然於之拓務之經驗。余此後當粉身碎骨。受總督指揮。而致輔佐之職。倘新官民各位。奉體明治大帝所築之鴻猷。並顧念我國今日東洋地位。及國際關係。內而對於島內文化之建設。官民協力內臺人間融和諸問題。不惜如對從前長官。加以懇切同情援助。是所切禱。余昨日到任。辱承遠路迎接。今又叨設盛筵寵招。眞無限光榮。感佩莫措。旣而各就食堂。開宴席間。荒木氏發聲。擧杯爲長官壽。長官更由大食堂。到南北各食堂。互祝健康。五時散會。

詩壇

水航途上　天隨　久保得二

食程心急訝車遲。鴉背紅霞夕照移。驀地平臨山缺處。一泓磨出碧琉璃。

涵碧樓曉起

倚欄偏怕曉風過。水閣寒更冷。殘月半沈湖。魚龍棲穩波無波。忽驚湖心搖櫓催。曉煙開。日光亂射樓。穿破前山紫翠來。好景如仙。却是[illegible]

英美滙水 三弗四三仙 [illegible]
上海金塊行情 六七四兩
倫敦銀塊現物 一九片[illegible]
同 先物 一九片八分
紐育銀塊現物 二七仙七五
同 先物 三一仙四〇

[illegible]
臺南 [illegible] 旅館
雜件
[illegible]

內外第一☆標準煉乳
森永ミルク

會葬御禮
林朝慶

優於濕布
衛氣保壽
濕布に優る
エキホス
優良國產品　咽喉痛、肺炎、筋肉痛、腰痛、打撲
價格低廉　傷、運動後筋肉疲勞、肩背拘急、火傷
百瓦(四十五錢) 二百五十瓦([illegible])
五百瓦(一圓五十錢) [illegible]
(全國知名藥店販賣之)
發賣元 株式會社 武田長兵衛商店
株式會社 鹽野義商店
製造元 二巴合名會社
(大阪市東區道修町)